EPSON

LIVINGSTATION

地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン 液晶プロジェクションテレビ

ELS-47S/57S シリーズ
ELS-55GL/65GL シリーズ


ELS-47S/57S シリーズ


ELS-55GL/65GL シリーズ

取扱説明書 2

操作・機能編

『設置・接続・設定編』をお読みになり本機の準備が終ったら、『操作・機能編』(本書)をお読みください。
テレビを見る、ビデオ機器と連動させデジタル放送を録画するなど、操作や機能について記載しています。












お買い上げいただきありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を正しくお使いください。
読んだ後は、いつでも見られるところに保証書とともに大切に保管してください。
なお、本製品をお使いになる前には必ず、『設置・接続・設定編』の「安全上のご注意」をお読みください。

本書の見かた

本製品をお使いになる前に必ず、取扱説明書をお読みください。
取扱説明書は下記のような構成になっています。用途にあわせてお使いください。



設置･接続･設定編

・安全上のご注意
・本機の設置
・アンテナ/外部機器の接続
・お使いになる前の設定

など、ご使用前に準備する内容を記載しています。



操作･機能編

・選局、予約など、日常でお使いになるための操作
・困ったときは

など、ご使用時の操作やトラブルに関する内容を記載しています。



クイックガイド

・番組を見る
・番組表で見る
・お手入れのしかた

など、基本的な操作やお手入れの方法など使用頻度の高いものを記載しています。



GLシリーズをご使用の場合

フォトビューワ編

・メモリカードなどの画像を見る
・音楽を聞く
・プリントする

など、フォトビューワに関する内容を記載しています。

取扱説明書の見かたは下記のようになっています。

タイトル
このページの内容を表しています。

どの放送でできる機能かを、アイコンで表しています。

このページに記載している機能の概要を説明しています。

インデックス
使いたい項目や内容をカンタンに探せます。

ポイント
本機をお使いになる場合に知っておくと便利なことや、制約事項などについて説明しています。

ご注意
本機をお使いになる場合に、注意していただきたいことを説明しています。

お使いの機種によって操作やお買い上げ時の設定などが違う場合は、シリーズごとに記載しています。お使いのシリーズをご確認の上、お読みください。

リモコンイラスト
操作するときに使うボタンを表しています。

操作手順
基本的な操作の方法を表しています。

補足操作
用途によって操作できます。

補足操作あり
用途にあわせて操作を行うことができます。操作方法は参照先に記載されています。

取扱説明書について

- 取扱説明書に記載しているテレビの画面表示は、実際に表示される画面と、イラスト・文章表現などが異なる場合があります。画面表示については実際のテレビ画面でご確認ください。
- この取扱説明書はSシリーズ、GLシリーズ共用です。取扱説明書中のイラストは、断りのない限りSシリーズです。機能や操作が異なる場合は、シリーズごとに説明しています。
- 受信画面などに記載されている番組名などは架空のものです。
- 記載されている機能の中には、放送サービス側がその運用をしていないため使用できないものがあります。
- 特にデジタル放送に関連した部分で、専門的な用語が使われている場合があります。用語については、P.134をご覧ください。
- 画面に表示されるアイコン(絵文字)については、「情報アイコン一覧」(➡ P.133)をご覧ください。

本機の特長

地上デジタル放送受信

地上デジタル放送対応のUHFアンテナを使用することにより、地上デジタル放送をお楽しみいただけます。
地上デジタル放送は、2003年末から地域ごとに順次放送が開始されています。
地上デジタル放送について、詳しくは(➡P.2)をご覧ください。

BSデジタル、110度CSデジタル放送受信

BS・110度CSデジタル用アンテナのご使用により、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送をお楽しみいただけます。

薄型大画面で、自然な色、高精細な映像を再現

デジタルハイビジョンの時代にふさわしい、高精細でリアルな色彩を再現。最先端の3LCD方式(HTPS-液晶3板式)で生成された高精細映像を大画面でご覧いただけます。

デジタルならではのリアルサウンド！

マルチチャンネルサラウンドを前方に配置した２つのスピーカーのみで再現する「SRS TruSurround XT」を採用。音に包まれるような自然の音場が創生されます。

カンタン操作、カンタン選局！

- 番組表(➡P.19)や番組チェック(➡P.29)、お気に入り(➡P.23)、ジャンル検索(➡P.26)などにより、デジタル放送をカンタン操作で選局できます。
- 付属のビデオコントロールケーブルを使って、テレビ画面に表示される番組表から、デジタル放送番組の録画予約がカンタンに行えます。(➡P.50)
- 入力切換 を押すと、機器を接続している「ビデオ入力」の映像を映します。複数の機器を接続している場合は、入力切換 を押すたびに、接続していない「ビデオ入力」を飛ばして切り換えますので、カンタンに選ぶことができます。

期待が高まるデータ放送に対応

デジタル放送のデータ放送に対応。(➡P.68)

i.LINK対応

D-VHSビデオなどとi.LINK接続することで、デジタル放送番組の録画などがカンタンに行えます。(➡P.92)

ユニバーサルデザインリモコン

- 底面と背面をカーブさせた3Dラウンドグリップデザインで、手の小さな方から大きな方まで誰にでも握りやすいリモコンです。ユニバーサルデザイン(できるだけ多くの人が利用可能になるように設計されたデザイン)を考慮しています。
- よく使うボタンをリモコン中央部に配置しました。ボタンを探す煩わしさがなくなります。
- 地上A 地上D BS CS のそれぞれの放送切換ボタンは、ボタンを押したときやチャンネルを切り換えたときに、赤く光って現在ご覧になっている放送をお知らせします。
- ダイレクト選局ボタン(1 ～ 12/#)は押しやすい横長の大きめのボタンにし、数字を大きく印刷しています。

デジタル放送の基礎知識

本機は、従来の地上アナログ放送、および3つのデジタル放送(地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送)をご覧いただけます。
CSデジタル放送、BSアナログ放送は本機内蔵のデジタルチューナーを使ってご覧いただくことはできません(ご覧になる場合は、専用チューナーが必要です)。

アナログテレビ放送からデジタルテレビ放送への移行について

地上デジタルテレビ放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されます。該当地域における受信可能エリアは、当初、限定されていますが、順次拡大される予定です。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログテレビ放送は2011年7月までに、BSアナログテレビ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。



デジタル放送の種類別の特長

地上デジタル放送

地上波のUHF放送の周波数帯域を使って、各放送局から送られます。テレビ放送(番組)、データ放送の2種類があります。地上デジタル放送の電波はお近くの放送局から送られてくるため、各放送局独自の地域に密着した情報をデータ放送から入手できるようになります。

また、与えられた周波数帯を有効利用するので、通常放送では同時間に最大3番組を同じチャンネルから放送することが可能です(右図参照)。ただし、放送が開始されたばかりの現在では、実際に運用されているケースは少ないようです。今後、さまざまなニーズに合わせた放送が展開されていく予定です。



- 地上デジタル放送は、地域によって放送開始時期や受信チャンネルが異なります。そのため、はじめて受信されるときは、お住まいの地域で放送されているチャンネルをスキャンするなどチャンネルの設定が必要です。
(➡『設置·接続·設定編』「はじめての設定をする」)

BSデジタル放送/110度CSデジタル放送

- BSデジタル放送：放送衛星(Broadcasting Satellite)を使ったデジタル放送です。
  無料放送と有料放送があります。
- 110度CSデジタル放送：通信衛星(Communication Satellite)を使ったデジタル放送です。
  テレビ放送(番組)、データ放送の他にラジオ放送の3種類があります。日本全国どこでも同じ番組を受信でき、有料視聴放送をご覧になることが可能です。ご覧になる場合は、視聴契約が必要です。

データ放送について

データ放送には次の２種類があります。

- 番組連動データ放送 ‥‥デジタル放送の番組に関連したデータ放送(野球放送中に他球場の速報を放送する、旅番組放送中に紹介されている宿の詳しい情報を放送するなど)
- 独立データ放送‥‥‥‥ 番組とは無関係の独立したデータ放送(道路情報・天気予報など)

また、データ放送には、アンケートに答えたり、クイズ番組に参加したりすることができる双方向通信サービスがあります。双方向通信サービスを楽しむためには、各放送局への会員登録が必要な場合があります。(➡P.68)本機ではこのサービスを受けるために電話回線を使用します。(➡『設置·接続·設定編』「電話回線の接続」)

デジタル放送のメリット

次のような多彩なメリットがあります。

- デジタルハイビジョン放送は、アナログ放送に比べ映像や音声をデジタル化して大容量の情報を扱うことができます。そのため、きめ細かい高精細なハイビジョン規格の画質でお楽しみいただくことができ、大画面でご覧いただいても画質が悪いなどの問題がなくなりました。
- 番組表、ジャンル検索などの機能を使うことで、ご覧になる番組を簡単に探すことができます。さらに、放送時間の延長などにより番組の変更があった場合などでも、常に最新の情報に更新することができます。
- 天気予報や道路情報、お料理のレシピなど暮らしに役立つデータ放送をいつでも見ることができます。
- 字幕放送や解説放送がより充実しています。また、今後開発される技術としては、聴き取りにくい音声の速度を遅くする、点字操作ができるようになるなどがあります。目や耳の不自由な方や高齢者の方にもやさしい放送が開始されれば、誰もがテレビ放送をよりいっそう楽しめるようになります。

デジタル放送の画質/音質

デジタル放送には、デジタルハイビジョン放送、プログレッシブ放送、通常放送の3つがあります。特にデジタルハイビジョン放送の1125i放送は、通常放送の約５倍の高精細な解像度の画質を誇ります。また、原音に近い高品質な音質が特徴で、デジタルオーディオ：MPEG-2 AAC方式の音声や5.1chステレオのサラウンド放送も行われています。

	デジタルハイビジョン放送		プログレッシブ放送	通常放送
放送フォーマット	1125i(1080i)放送	750p(720p)放送	525p(480p)放送	525i(480i)放送
走査線の数	1125本(有効1080本)	750本(有効720本)	525本(有効480本)	525本(有効480本)
走査の方式	インターレース（飛び越し走査）走査線を約1/60秒ごとに奇数ラインと偶数ラインを交互に流します。	プログレッシブ（順次走査）走査線のすべてを順番どおりに描きます。画面や文字のちらつきが少ないため、静止画像に適しています。	プログレッシブ（順次走査）走査線のすべてを順番どおりに描きます。画面や文字のちらつきが少なくなります。	インターレース（飛び越し走査）走査線を約1/60秒ごとに奇数ラインと偶数ラインを交互に流します。
画面サイズ	16：9	16：9	16：9	16：9、4：3

- デジタル放送は、アナログ放送とは違い、送られてきた電波を本機でデジタル処理します。そのため、衛星から電波を受信するBS、110度CSデジタル放送は、上空に厚い雲が発生するなど電波が正常に届かない、または、不正な電波を受信したなどの場合には、デジタル処理できない部分が発生します。このようなときは、ブロックノイズ(映像が小さなブロックの集まりで表示される)として映し出されたり、映像が止まってしまうなどの症状が起こることがあります。電波の状態が回復すると、元の映像でご覧いただけます。

デジタル放送を視聴する場合や録画する場合の注意

デジタル放送をご覧になる場合は、必ず本機にB-CASカードを装着してください。B-CASカードを装着しないとデジタル放送はご覧いただけません。その他にも、有料放送･ペイ･パー・ビュー番組の購入、双方向通信サービスなどを行う場合には、必ずB-CASカードを装着してください。

また、本機にはデジタル信号を双方向通信できるi.LINK端子が付いています。録画機能があるD-VHS、HDDレコーダーなどとi.LINK接続すると、映像をデジタル録画でき、劣化することなく保存することが可能です。ただし、デジタル放送の録画には、著作権保護などの目的でコピーが規制されている場合があります。具体的には、番組にCCI(Copy Control Information)という情報が付加されており、D-VHS、HDDレコーダー、DVDレコーダーなどへの録画をする場合に制限(コピー自由、1回だけのコピー許可、コピー不可)を設けています。予約録画する場合にも、必ず本機にB-CASカードを装着してください。

もくじ

電源を入れる

リモコンに電池をセットする方法と、本機の電源を入れる/切るの方法を記載しています。

番組を見る

アナログ放送やデジタル放送をご覧になる場合の操作方法を記載しています。

便利な機能

番組をご覧になる場合に便利な機能(画面サイズの切り換えや2画面表示など)の操作方法を記載しています。

オプション機器・外部機器の映像を見る

接続した外部機器からの映像を、本機でご覧になる場合の操作方法を記載しています。

番組を予約する / 録画する

視聴予約(ご覧になる番組をあらかじめ予約して時間になると自動的にチャンネルが切り換わる)、録画予約(ビデオ機器と連動させて番組を予約録画する)、一発録画(ビデオ機器と連動させて簡単な操作で録画する)の操作方法を記載しています。

放送サービスをお楽しみいただくために

データ放送やペイ・パー・ビュー放送など、放送サービスをお使いになる場合の操作方法を記載しています。

i.LINK 接続した機器の操作

ｉ.LINK端子付きの機器を接続して本機からｉ.LINK機器を操作する場合に、本機の画面に表示される操作パネルからの操作方法を記載しています。

映像・音声設定を切り換える

番組や外部機器からの映像や音声を、お好みで調整する場合の操作方法を記載しています。

困ったときは

本機をお使いになり、困ったことがおきた場合の対処法とサポートのご案内を記載しています。

お手入れのしかた

本機の掃除しかたやランプ交換の方法を記載しています。

ふろく

オプション品の一覧と、デジタル放送をご覧になっている場合に表示される情報アイコンの一覧を記載しています。

各部の名称とはたらき

リモコン

GLシリーズをご使用の場合
フォトビューワ機能で使用するリモコンのボタンについては、『フォトビューワ編』で説明しています。

リモコン送信部
リモコンの信号を送信します。

[電源]ボタン(➡P.12)
本体の電源を入れる/切るときに使用します。

[入力切換]ボタン(➡P.49)
ご覧になる外部機器の映像を切り換えます。

[番号入力]ボタン(➡P.18)
デジタル放送の3桁チャンネル番号を入力します。

[メディア(削除)]ボタン
ご覧になっているデジタル放送のメディアを切り換えます。(➡P.16、P.24)
文字入力の画面で文字を削除します。(➡P.75)

[ダイレクト選局/数字]ボタン(➡P.14、P.73)
チャンネルを選んだり、文字入力、数字入力します。

[メニュー]ボタン
調整や設定などのメニューを表示します。

[戻る]ボタン
設定などをしているときに、1つ前の操作に戻ります。

[決定]ボタン
設定を決定します。

[クイック]ボタン(➡P.33、P.38、P.39、P.64)
クイックメニューを表示します。

[番組表]ボタン(➡P.19、P.51)
デジタル放送の番組表を表示します。

[2画面]ボタン(➡P.35)
映像を2画面で表示します。

[音量]ボタン
ご覧になっている映像の音量を調整します。
[🔊]音量を大きくします。
[🔈]音量を小さくします。

[消音]ボタン
ご覧になっている映像の音声を消します。もう一度[消音]ボタンを押すと音声が出ます。

[オフタイマー]ボタン(➡P.43)
オフタイマーを設定します。

[番組説明]ボタン(➡P.31)
現在ご覧になっている番組の情報を表示します。

[画面表示]ボタン(➡P.31、P.33、P.38、P.39、P.68)
現在ご覧になっているチャンネルや番組などの情報を表示します。

放送切換
ご覧になる放送の種類を切り換えます。
[地上A]ボタン
地上アナログ放送に切り換えます。
[地上D]ボタン
地上デジタル放送に切り換えます。
[BS]ボタン
BSデジタル放送に切り換えます。
[CS]ボタン
110度CSデジタル放送に切り換えます。

[i.LINK]ボタン(➡P.92)
[i.LINK]端子に接続された接続機器を操作します。

[データ放送 d]ボタン(➡P.68)
番組連動データ放送を呼び出す場合や、画面上に「ⓓボタンを押してください」などと表示されたときに使用します。

[静止(文字)]ボタン
ご覧になっている映像を一時静止します。(➡P.41)
文字入力の画面で文字入力モードを切り換えます。(➡P.73)

GLシリーズをご使用の場合
静止した映像をプリントすることができます。(➡『フォトビューワ編』「テレビの映像をプリントする」)

[終了]ボタン
メニュー表示などを終了して、通常の画面に戻ります。

[︿/﹀/《/》]ボタン
項目や設定内容を選びます。

[選局プラス]ボタン(➡P.23、P.26、P.28)
お気に入り、ジャンル検索、チャンネル一覧でご覧になる番組を選びます。

[選局]ボタン(➡P.16)
ご覧になる番組をチャンネル順に切り換えます。

[映像メニュー]ボタン(➡P.102、P.108)
ご覧になっている映像の画質を「映像メニュー」から選びます。

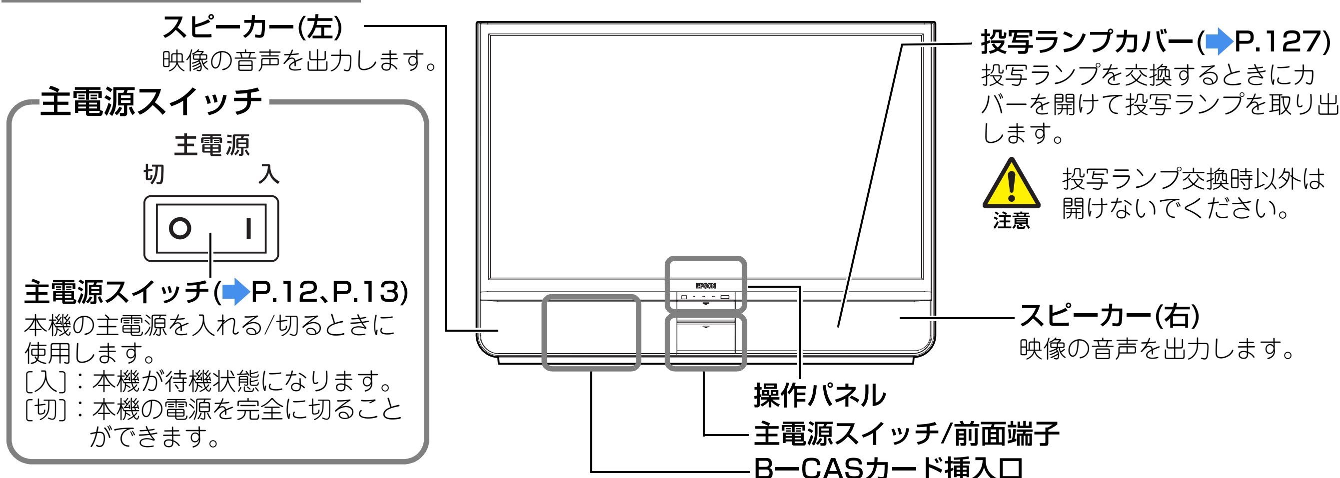
[画面サイズ]ボタン(➡P.32)
ご覧になっている映像のサイズを切り換えます。
押すたびに次の順で切り換わります。(映像によっては切り換わらない場合もあります。)

[番組チェック]ボタン(➡P.29)
番組チェック機能でご覧になる番組を選びます。

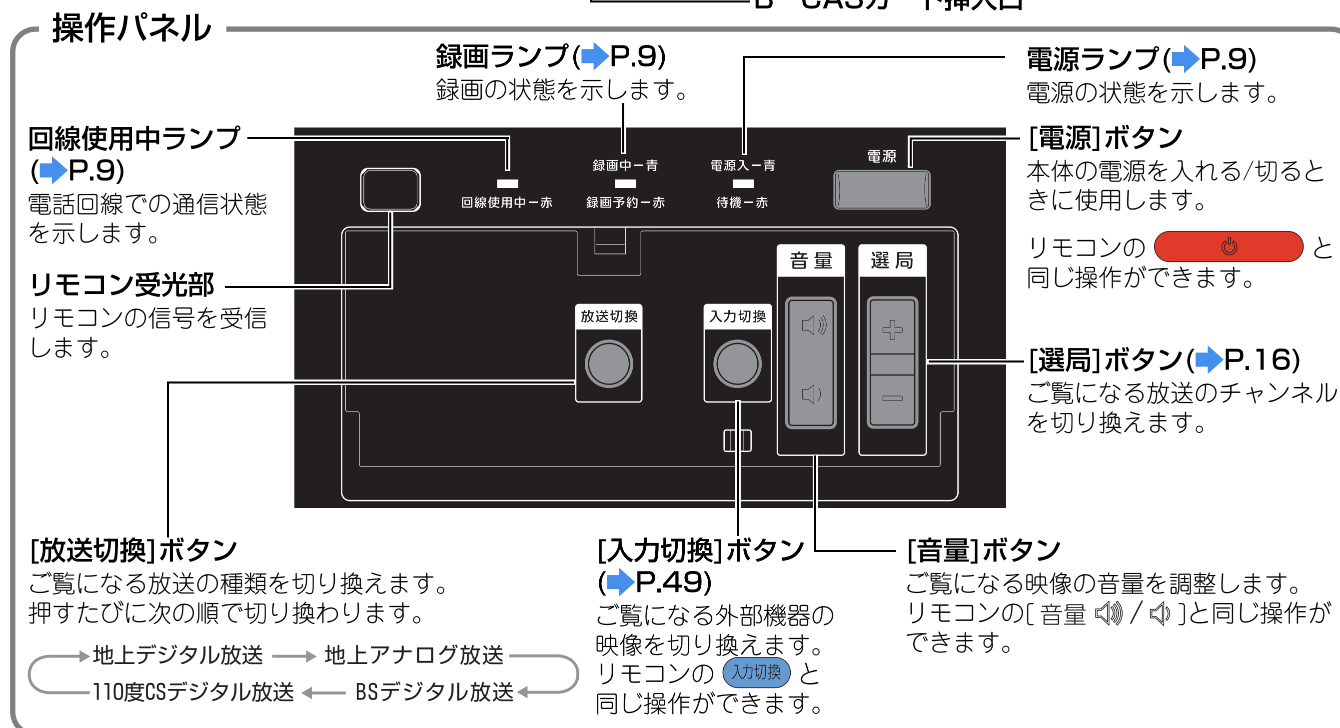
[青]ボタン [赤]ボタン
[緑]ボタン [黄]ボタン
番組情報の取得やデータ放送などで使用します。

前面

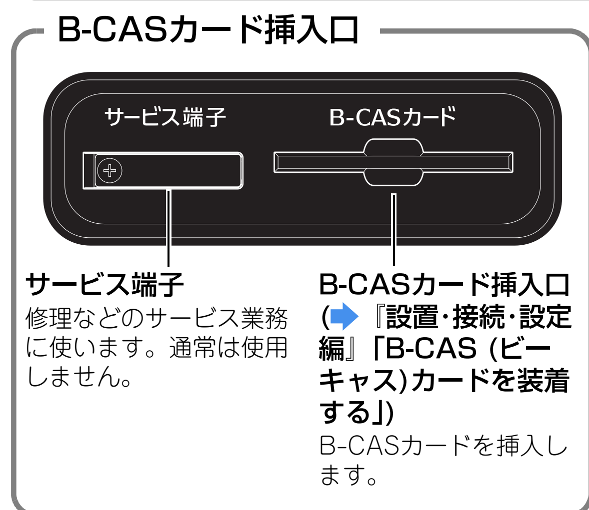
Sシリーズをご使用の場合



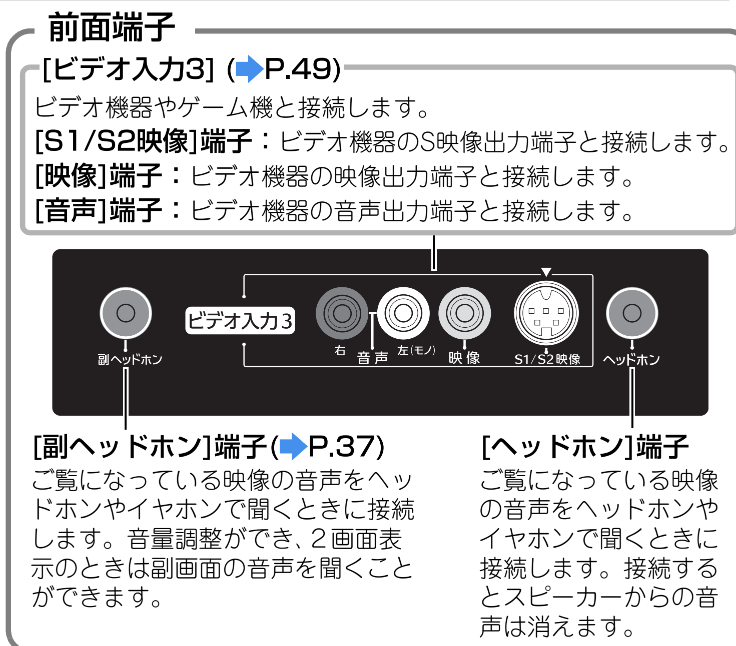
操作パネル



B-CASカード挿入口



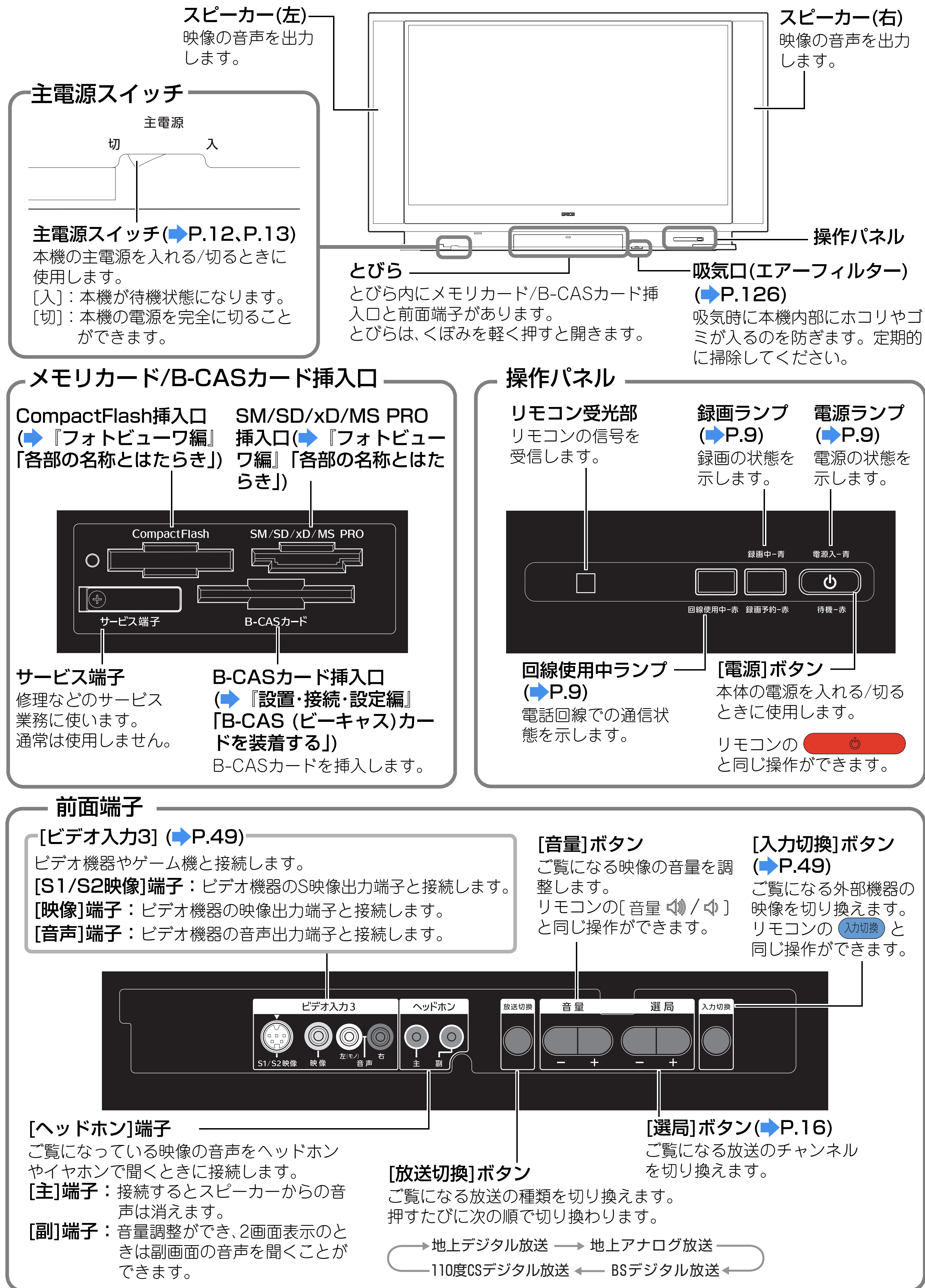
前面端子



各部の名称とはたらき

GLシリーズをご使用の場合

フォトビューワ機能で使用する端子やボタンの説明は『フォトビューワ編』でご確認ください。



LEDランプの見かた

本機前面には、3つのLEDランプがあります。(P.7、P.8) LEDランプの点滅・点灯で、本機の状態を知ることができます。

本機が正常に動作している場合

LEDランプの状態			状態	説明・対処方法
回線使用中ランプ	録画ランプ	電源ランプ		
消灯	消灯	青点滅	ウォームアップ中	そのまましばらくお待ちください。約20秒後に映像が表示されます。
消灯	消灯	青点灯	電源ON	映像が表示されている状態です。
消灯	消灯	赤点滅	電源OFF クールダウン中	電源を切った後、待機状態になる処理の途中です。約1分間お待ちください。
消灯	消灯	赤点灯	電源OFF 待機状態	待機状態です(主電源スイッチが「入」の状態)。 [電源ボタン] を押すと電源が入ります。
消灯	消灯	消灯	電源未供給	電源が完全にOFFになっている状態です(主電源スイッチが「切」の状態)。
赤点灯	ー	ー	回線使用中	電話回線で通信接続中です。 (録画ランプと電源ランプは、そのときの本機の状態によって表示が異なります。)
消灯	赤点灯	ー	録画予約中	接続された機器の録画予約が設定されています。 (電源ランプは、そのときの本機の状態によって表示が異なります。)
消灯	赤点灯	青点滅	電源OFF時からの録画開始	待機状態から、予約された録画を開始します。 電源ランプが約5秒間青点滅したあと、録画中になります。
消灯	青点灯	ー	録画中	接続された機器の録画中です。 (電源ランプは、そのときの本機の状態によって表示が異なります。)
消灯	消灯	青点滅 ↓ 赤点灯	番組情報取得中 自動ダウンロード開始時	放送局からの番組情報を取得しているか、放送局からの自動ダウンロードデータの取得を開始しています。約5秒後に電源ランプが赤点灯になります。

本機に異常が発生した場合

LEDランプの状態			状態	説明・対処方法
回線使用中ランプ	録画ランプ	電源ランプ		
消灯	赤点滅	赤点滅	・内部高温異常 ・ファン異常 ・センサー異常	投写ランプが自動的に消灯し、待機状態になります。約5分間は、そのままの状態でお待ちください。約5分後、主電源スイッチを「切」にして、しばらく待ってから、次の2点を確認します。 ・エアーフィルター・排気口がふさがれていないか、壁際に設置されていないか。 エアーフィルター・排気口がふさがれている場合はふさいでいるもの取り除いてください。壁際に設置している場合は、壁から離してください。 ・エアーフィルターが目詰りしていないか。 エアーフィルターが目詰りしている場合は、掃除してください。(➡P.126) 確認後、主電源スイッチを「入」にした後、 を押して、電源を入れ直してください。 上記の改善を行っても、繰り返し内部高温異常の状態になったり、電源を入れ直したときに電源ランプが異常を示したときは、ご使用を中止して、主電源スイッチを「切」にしてください。その後、エプソンダイレクトリビングステーションサポートセンターにご相談ください。(➡P.123)
消灯	消灯	緑点滅	・投写ランプ異常 ・投写ランプ点灯失敗	本体内部の投写ランプにエラーが発生しています。 主電源スイッチを「切」にして、しばらく待ってから、主電源スイッチを「入」にしてください。その後、 を押して、電源を入れ直します。それでも同じエラーが発生する場合、エプソンダイレクトリビングステーションサポートセンターにご相談ください。(➡P.123)
消灯	消灯	緑点灯	投写ランプカバー異常	投写ランプカバーが確実に取り付けられているか確認してください。確実に取り付けられていない場合は、投写ランプが点灯しません。
消灯	赤点滅	緑点滅	画質自動調整機能異常	自動的に本体内部で画質を調整する機能にエラーが発生しています。 主電源スイッチを「切」にして、しばらく待ってから、主電源スイッチを「入」にしてください。その後、 を押して、電源を入れ直します。それでも同じエラーが発生する場合、エプソンダイレクトリビングステーションサポートセンターにご相談ください。(➡P.123)
消灯	消灯	赤点滅	高速冷却中	「内部温度が上昇しています。」とメッセージが表示されるので、次の対応を行ってください。 ・エアーフィルターの掃除をします。(➡P.126) ・エアーフィルターや排気口の周りを確認して空気の通りがよくなるように設置し直してください。 ・本機の周辺温度が35℃以上になっている場合は、室温を下げてください。 ※インジケータの表示が正常にもかかわらずメッセージが表示される場合は、「メッセージ一覧」(➡P.119)でご確認ください。

注 意

■本機に異常が発生した場合は

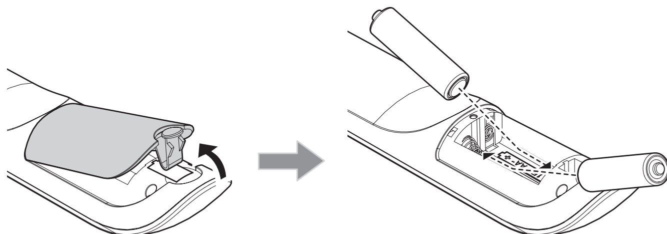
ただちにご使用を中止し、リモコンの 、または本体の[電源]ボタンを押します。クールダウン終了後に主電源スイッチを「切」にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、エプソンダイレクトリビングステーションサポートセンターにお問い合わせください。(➡P.123)

リモコンの準備

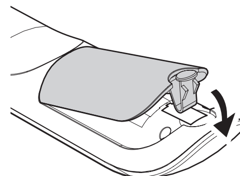
リモコンを使うには以下の準備が必要です。

リモコンに乾電池を入れる

1 リモコン裏側のカバーを開け、乾電池をセットする



2 カバーを閉める



ポイント

- 電池の交換には、単3型アルカリ乾電池2本をご用意ください。
- 放送切換ボタンは、押した後に3回点滅します。このボタンが光らなくなったら乾電池の交換をおすすめします。

タッチ音について

有効な操作を行った場合は1回、無効な操作(誤操作したとき)は3回、音が鳴ります。
お買い上げ時にはタッチ音が出るように設定されています。音を消すこともできます。

リモコンボタンのタッチ音を消す/出す



1 [メニュー]を約2秒以上押す

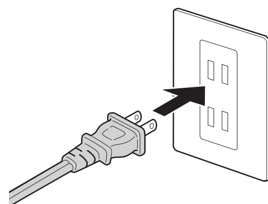
現在選択されている放送切換ボタンが点灯します。

2 [音量 🔊/🔈]で切り換える

タッチ音を出す場合：[🔊]を押す。
タッチ音を消す場合：[🔈]を押す。

電源を入れるには

すべての接続が終ったら、本機の電源プラグを壁のコンセントにつなぎます。



電源を入れる

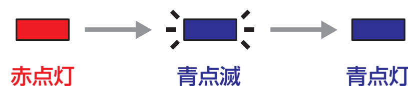


1 本機前面の主電源スイッチを「入」にする

2 本機前面の電源ランプが赤色に点灯していることを確認する

3 リモコンの 、または本体の[電源]ボタンを押して、電源を入れる

約 20 秒後に映像が表示されます。
本機前面の電源ランプは、右のように変わります。



- 本機は光源として投写ランプを内蔵しています。電源を入れたとき、点灯に失敗することがあります。この場合、約15秒間隔でランプの再点灯を最大5回試みます。5回点灯に失敗した場合はクールダウン後に待機状態になります。再度リモコンの 、または本体の[電源]ボタンを押して電源を入れてください。
  本体前面にある「回線使用中ランプ」、「録画ランプ」が消灯していて、「電源ランプ」が緑点滅している場合は、「LEDランプの見かた」(P.9)で対処法を確認してください。
- 本機の電源を入れ、「電源ランプ」が青点滅した後で、画面に映像が表示されずに赤点灯(待機状態)になってしまう場合があります。その場合は、再度リモコンの 、または本体の[電源]ボタンを押して電源を入れてください。
- 本機の電源ランプが青点滅しているときは、 、または本体の[電源]ボタンを押しても電源を切ることはできません。電源ボタンが青点灯に変わってから操作してください。

はじめて電源を入れたときは、「はじめての設定」を行ってチャンネルなどの設定をする必要があります。本機に接続した機器によって、設定を行う必要もあります。

電源を切る



リモコンの（電源ボタン）、または本体の[電源]ボタンを押して、電源を切る

画面が消えたあと、内部の投写ランプをクールダウンさせるため、冷却ファンが約1分間作動し続けます。その後に電源が切れ、待機状態になります。
本機前面の電源ランプは、右のように変わります。



- （電源ボタン）を押してから15秒以内に再度（電源ボタン）を押すと、すぐに画面が表示されます。
  （電源ボタン）を押してから約15秒間経過するとクールダウンになり約1分後でないと画面は表示されません。

ご注意

■本機の電源を切る場合は

以下の内容にご留意いただき、操作してください。
リモコンの（電源ボタン）、または本体前面の[電源]ボタンを押します。
本機はクールダウン後に待機状態になります。（待機状態のときには、1W 程度ですが、電力を消費しています。）
本機の電源を完全に切る場合には、本機前面の電源ランプが赤点灯になっているのを確認してから主電源スイッチを「切」にします。（クールダウン中は電源ランプが赤点滅しています。この状態で主電源スイッチを「切」にしないでください。）
ただし、次のような場合には、主電源スイッチを「切」にせず、必ず本機を待機状態にしてください。本機が正しく動作しません。

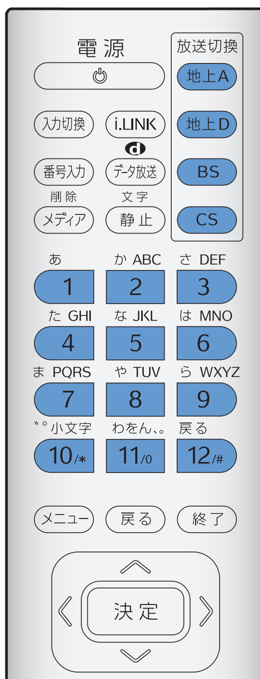
- 番組を録画予約している場合(本体前面の録画ランプが赤点灯になっています。)
- 番組表などで表示される最新の番組情報を取得する場合（ 本体前面の電源ランプが青点滅した後、赤点灯になります。）
- ソフトウェアのダウンロード中(本体前面の電源ランプが青点滅になっています。)

また、「自動ダウンロード」の設定を「ダウンロードする」に設定している場合は、本機を毎日2 時間以上、待機状態にしておくことをおすすめします。
主電源スイッチを「切」にすると、電源ランプ、録画ランプ、回線使用中ランプはすべて消灯します。
この状態は、電源プラグをコンセントから抜いたのと同じ状態です。
通常は、電源プラグをコンセントから抜くのではなく、主電源スイッチで操作してください。

- 主電源スイッチを「切」にした後、再び「入」にする場合は、約10秒間待ってから操作してください。本機が正しく動作しない場合があります。
- 電源ランプが赤色の点灯に変わるまでは、主電源スイッチを「切」にしないでください。スピーカーから「ボッ」という大きな音がでます。また、故障の原因になります。
- 録画中は映像は消えますがクールダウンせずに電源ランプが赤色の点灯に変わります。録画が終了し、クールダウンが終了するまで主電源スイッチを「切」にしないでください。
  録画が終了しても次の録画予約がある場合は投写ランプが点灯している場合があります。ファンの音を確かめ、停止しているのを確認してから主電源スイッチを「切」にしてください。

ダイレクト選局ボタンで選ぶ

あらかじめチャンネル設定してあるダイレクト選局ボタン(1 ～ 12/# のボタン)を押して、ご覧になる番組を選びます。



1 放送切換ボタンを押して放送の種類を選ぶ

地上A：地上アナログ放送
地上D：地上デジタル放送
BS：BSデジタル放送
CS：110度CSデジタル放送

選んだ放送切換ボタンが点滅します。

2 ダイレクト選局ボタン(1 ～ 12/# のボタン)を押してチャンネルを選ぶ

選んでいる放送切換ボタンが光ります。

●デジタル放送の場合

録画予約や一発録画実行中のときなど、チャンネルを変更できない場合があります。



ダイレクト選局ボタンに設定されているチャンネルについて

地上アナログ放送の場合

- ダイレクト選局ボタンは、「はじめての設定」や「チャンネル設定」で設定した内容になっています。設定内容は、「地上アナログ放送の放送一覧」で確認できます。(➡『設置・接続・設定編』「はじめての設定」「チャンネル設定」「地上アナログ放送の放送一覧」)
- 地上アナログ放送の場合、各ボタンを押しても、画面上に番組名は表示されません。
- 設定を変更する場合は、「地上アナログ放送(VHF/UHF/CATVC13～C63)の手動チャンネル設定」を行ってください。(➡『設置・接続・設定編』「地上アナログ放送(VHF/UHF/CATVC13～C63)の手動チャンネル設定」)

地上デジタル放送の場合

- ダイレクト選局ボタンは、「はじめての設定」や「チャンネル設定」で設定した内容になっています。設定内容は、「地上デジタル放送の放送(予定)一覧」で確認できます。(➡『設置・接続・設定編』「はじめての設定」「チャンネル設定」「地上デジタル放送の放送(予定)一覧」)
- ダイレクト選局ボタンに放送メディアが設定されている場合は、ダイレクト選局ボタンを押すたびに、設定されている放送局のメディアが順に選局されます。
- 新たに放送局が開局したり、中継局が新設されるなどしてチャンネルが増えたなど、放送に変更があった場合は、「再スキャン」を行ってください。(➡『設置・接続・設定編』「再スキャン」)
- 「自動スキャン」(➡P.90) や新しい放送の開始、放送の変更などにより、本機で受信できるチャンネルが自動的に変更される場合があります。受信できるチャンネルについては「チャンネル一覧で選ぶ」(➡P.28)でご確認ください。

BS、110度CSデジタル放送の場合

- (BS デジタル放送の場合) ダイレクト選局ボタンに放送メディアが設定されている場合は、設定されている放送局のメディアが順に選局されます。
  例)(WOWOW)の場合
  9 を押すごとに 191 → 192 → 193 と選局できます。
- 設定を変更する場合は、「BSデジタル放送の手動チャンネル設定」「110度CSデジタル放送の手動チャンネル設定」を行ってください。(『設置･接続･設定編』「BSデジタル放送の手動チャンネル設定」「110度CSデジタル放送の手動チャンネル設定」)
- ペイ・パー・ビュー番組は、購入しなければ視聴できません。(P.76)
- お買い上げ時の設定内容は、下表のとおりです。(放送名は変更される場合があります。)

BSデジタル放送

リモコンのボタン	放送	チャンネル
1	NHK BS1	101
2	NHK BS2	102
3	NHKハイビジョン	103
4	BS日テレ	BSテレビのチャンネル
5	BS 朝日	
6	BS-i	
7	BSジャパン	
8	BSフジ	
9	WOWOW	
10/*	スターチャンネル	
11/0	—	—
12/#	—	—

110度CSデジタル放送

リモコンのボタン	放送	チャンネル
1	CSプロモーションCH	001
2	CSプロモーションCH	100

チャンネル順に切り換えて選ぶ

［選局 ＋/－］でチャンネルを順番に切り換えて、ご覧になる番組を選べます。



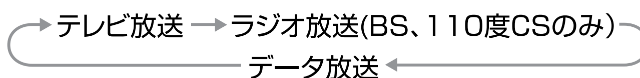
1 放送切換ボタンを押して放送の種類を選ぶ

地上A ：地上アナログ放送
地上D ：地上デジタル放送
BS ：BSデジタル放送
CS ：110度CSデジタル放送

選んだ放送切換ボタンが点滅します。

2 地上D 、BS 、CS のいずれかを押した場合、メディア を押して放送メディアを選ぶ

押すたびに、以下のように切り換わります。



・本機は、地上デジタル音声放送には対応していません。

3 ［選局 ＋/－］でチャンネルを選ぶ

チャンネルを切り換えるたびに、選んでいる放送切換ボタンが点滅します。

→放送の種類によって選ぶ（以下）

→放送の種類によって選ぶ

地上アナログ放送を選んだとき

1 ～ 12 に設定されているチャンネルが順次切り換わります。
CATVチャンネルを設定している場合は、CATVチャンネルも順次切り換わります。



地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル放送を選んだとき

放送メディアの受信可能なすべてのチャンネルを選ぶことができます。



ポイント

- スキップ設定されたチャンネルは選局できません。（➡『設置・接続・設定編』「チャンネルスキップ設定」）
- デジタル放送で１つの放送局が同じ番組を複数のチャンネルで放送しているときは、代表チャンネルだけの選局となります。
- 本体の[選局＋／－]では、テレビ放送のチャンネルだけが選局できます。ラジオ放送、データ放送に切り換えることはできません。切り換える場合は、リモコンの メディア で操作してください。
- ペイ・パー・ビュー番組は、購入しなければ視聴できません。（➡P.76）
- 録画予約や一発録画実行中には、チャンネルを変更できない場合があります。
- 「自動スキャン」（➡P.90）や新しい放送の開始、放送の変更などにより、本機で受信できるチャンネルが自動的に変更される場合があります。受信できるチャンネルについては「チャンネル一覧で選ぶ」（➡P.28）でご確認ください。

GLシリーズをご使用の場合

コンピュータの映像を表示している場合に[選局＋／－]を押すと、コンピュータ映像に切り換える前にご覧いただいていたチャンネルを表示します。

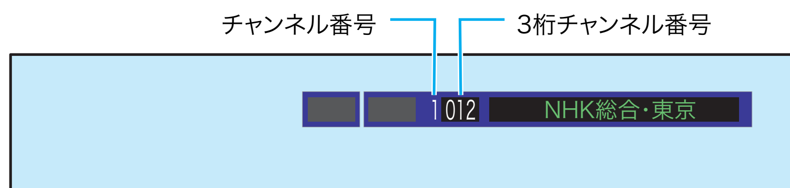
地上デジタル放送の場合

■枝番について

- 地上デジタル放送の場合のチャンネル番号は、リモコンの番号(1～12)ですが、これとは別に3桁チャンネル番号があります。チャンネル番号(1～12)は放送局を指定し、3桁チャンネル番号は、その放送局が行っている個々のチャンネルを指定します。
- 3桁チャンネル番号は、域内放送(お住まいの地域で放送されている地上デジタル放送)の中で重複することはありません。しかし、域外放送(お住まいの地域では放送されていない地上デジタル放送)も受信している場合には、3桁チャンネル番号が重複することがあります。その場合は、3桁チャンネル番号の次に付く、枝番と呼ばれる1桁の番号で区別して選局します。
  (通常選局する際には枝番は表示されません。枝番は「チャンネル一覧で選ぶ」(➡P.28)で確認できます。)

■[選局＋／－]で選局するときのチャンネルの順番について

- 域内放送（お住まいの地域で放送されている地上デジタル放送）のみを受信している場合は、3桁チャンネル番号の順番になります。
- 域外放送（お住まいの地域では放送されていない地上デジタル放送）も受信している場合には、3桁チャンネル番号の順番にならない場合があります。（このときの順番は、放送の運用規定の順番になっています。）



地上デジタル放送を選局したときの画面

3桁チャンネル番号を指定して選ぶ

3桁チャンネル番号を指定して、ご覧になる番組を選ぶことができます。



1 放送切換ボタンを押して放送の種類を選ぶ

地上D ：地上デジタル放送
BS ：BSデジタル放送
CS ：110度CSデジタル放送
選んだ放送切換ボタンが点滅します。

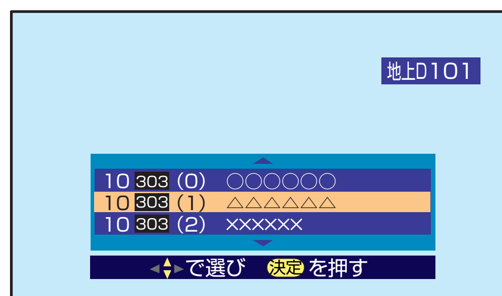
- 番号入力 を押して選ぶこともできます。ボタンを押すごとに放送が切り換わります。

2 番号入力 を押し、続けて数字ボタンを押して、チャンネルを選ぶ

例：BSチャンネルを選んでいる状態でBS103チャンネルを選ぶ場合
番号入力 1 11/0 3 と押す
•存在しないチャンネルは選べません。

●放送一覧が表示された場合

地上デジタル放送の場合、同じ3桁チャンネル番号で異なる放送局の放送がある場合があります。その場合に放送一覧が表示されます。
[／]でご覧になりたい放送を選び、決定 を押してください。
(リモコンの 1 ～ 12/# で枝番(画面のカッコ内の数字)を指定して選ぶこともできます。)



●見たいチャンネルの3桁の番号がはっきりとわからない場合

10/* を使って、次のように選ぶことができます。
例：BSデジタル放送を選んでいる状態で、300番台のBSチャンネルを見たいとき
番号入力 3 10/* と押す
300番台で放送されている一番小さい番号のBSチャンネルが選局されます。
300番台で放送されているチャンネルがない場合は、その上の400番台、500番台のチャンネルから選局されます。

ポイント

■本機の出荷後、新たに追加されたり変更された110度CSのチャンネルを選局する場合

お買い上げ直後や『設置･接続･設定編』「お買い上げ時の状態に戻す(設定内容を初期化する)」を行った後などには、3桁チャンネル番号を指定して選局できない場合があります。その場合には、次の操作を行ってください。操作後は3桁チャンネル番号を指定して選局できるようになります。
① CS を押す(現在、110度CSデジタル放送をご覧になっている場合は、この操作は不要です。)
②[選局＋/－]を押して、受信したい放送の種類(ネットワーク)のチャンネル(どのチャンネルでも構いません)を選んで数秒間待つ

- ペイ・パー・ビュー番組を選んだ場合は、購入しなければ視聴できません。(P.76)
- 録画予約や一発録画のときなど、チャンネルを変えることができない場合があります。

■地上デジタル放送を選局する場合

「自動スキャン」(P.90)や新しい放送の開始、放送の変更などにより、本機で受信できるチャンネルが自動的に変更される場合があります。受信できるチャンネルについては「チャンネル一覧で選ぶ」(P.28)でご確認ください。

番組表で選ぶ

デジタル放送では、放送局からデジタル放送電波の中に含まれて番組情報が送られてきます。この番組情報を元に、放送ごとに番組表を表示できます。
地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送のそれぞれの番組表から、ご覧になる番組を選ぶことができます。

ポイント

- 毎日２時間以上主電源スイッチを「入」にしておけば、最新の番組情報が取得できます。番組表の更新には電源が待機状態で２時間ほどかかる場合があります。
- 番組表では、指定したジャンルの番組が色分け表示されます。お買い上げ時には、映画、スポーツ、音楽が色分け表示されています。色分け表示されるジャンルをお好みのものに変更することができます。（➡P.22）



1 放送切換ボタンを押して放送の種類を選ぶ

地上D：地上デジタル放送
BS：BSデジタル放送
CS：110度CSデジタル放送
選んだ放送切換ボタンが点滅します。

2 番組表 を押す

選んだ放送の番組表が表示されます。



●他のデジタル放送の番組表に切り換える場合
切り換えたい放送の放送切換ボタンを押します。
※主電源を「入」にした直後や、ネットワーク（地上デジタルの各チャンネル、BSデジタル、110 度 CS デジタルのネットワーク）を変えた直後は番組が表示されるまでに時間がかかることがあります。

3 [︿/﹀/《 / 》]で番組を選ぶ

[《 / 》]　：チャンネルを選べます。
[︿/﹀]：先の（次の）時間帯に進む、前の時間帯に戻ることができます。（現在の日時よりも前の時間帯には戻れません。）

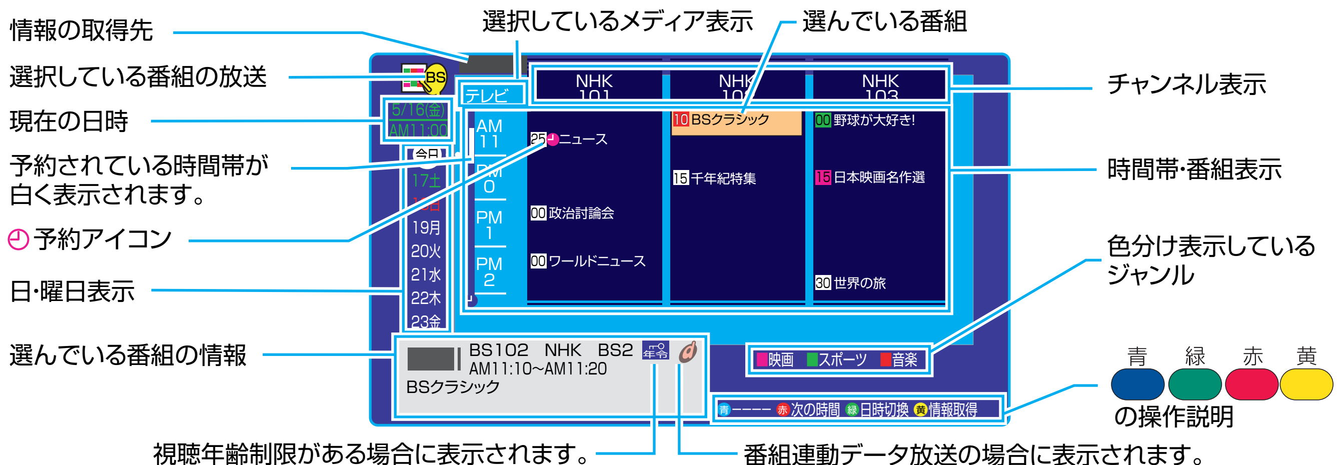
→その他の番組表の操作 (P.20)

4 決定 を押す

●現在放送中の番組を選んだ場合
選んだ番組が選局されます。

●今後放送となる番組を選んだ場合
予約画面になります。予約の設定をしてください。（➡P.51手順2以降の操作）予約する場合は「見たい番組を予約する / 番組の録画を予約する」（➡P.50）もお読みください。
すでに予約している番組を選んだときは、予約内容確認/取り消しの画面になります。（「予約を取り消すとき」（➡P.58））

番組表の見方



→その他の番組表の操作

番組表の内容を更新するには

番組表画面の右下に「黄 情報取得」アイコンが表示されているときに、黄 を押す。

- 現在、カーソルで選んでいるチャンネルのネットワークについて、番組情報を取得して番組表の内容を更新します。詳しくは「ポイント」の「番組表やリストの更新について」(➡P.21)をご覧ください。
- 番組表の更新には、時間がかかる場合があります。
- 情報取得中は、映像、音声が出力されない場合があります。
- 番組情報取得中に、もう一度 黄 を押すと、番組表の更新を中止します。

番組表の時間帯を切り換えるには

赤 ：先の(次の)時間帯の番組表に切り換わります。

青 ：前の時間帯の番組表に切り換わります。(現在の日時よりも前の時間帯には戻れません。)

指定した日時の番組表を見るには

番組表を表示直後は最後に番組表を表示していた日・時間帯が表示されます。(現在の日時よりも前の時間帯の番組表は表示されません。現在の時間帯の番組表が表示されます。)
現在の日時を表示するには 緑 を押して「今の時間」を選択します。

① 緑 を押す

②[︿/﹀]で日付を選ぶ
放送メディアがテレビのときは7日後まで、それ以外のときには2日後まで選ぶことができます。

③[《 / 》]で時間帯を選び、決定 を押す
選んだ時間帯の番組表が表示されます。



番組についての説明を見るには(詳しくは➡P.31)

①[番組説明]ボタンを押す
②説明画面を消すには、決定 を押す

→その他の番組表の操作（つづき）

指定した3桁チャンネル番号の番組表を見るには

番号入力 を押し、続けて数字ボタンを押して、チャンネルを選ぶ

枝番のあるチャンネルの場合は、チャンネルリストが表示されますので、画面の指示に従ってチャンネルを選んでください。

放送メディアを変えるには

メディア を押し、放送メディアを選ぶ

放送メディアについて(➡P.16)

ポイント

■番組表やリストの更新について

放送の方式が異なるため、放送の種類によって取得できる内容が次のように異なります。

- BSデジタル放送の場合：BSデジタル放送全体の番組情報を取得し、番組表(リスト)の内容を更新します。
- 110度CSデジタル放送の場合：SKY PerfecTV!110 P、SKY PerfecTV!110 Sの2つの放送(ネットワーク)のうち、カーソルで選んでいる放送(ネットワーク)について番組情報を取得し、番組表(リスト)の内容を更新します。
- 地上デジタル放送の場合：カーソルで選んでいる番組の放送局について情報を取得し、番組表(リスト)の内容を更新します。

■番組表に表示されるチャンネルの順番について

BS、110度CSデジタル放送の場合：3桁チャンネル番号の順番に表示されます。

地上デジタル放送の場合：以下の順番に表示されます。(3桁チャンネル番号順には表示されない場合があります。)

- 域内(お住まいの地域で放送されている地上デジタル放送)の放送の運用規定の順番
- 域外(お住まいの地域では放送されていない地上デジタル放送)の放送の運用規定の順番

域内放送が表示される順番については、『設置･接続･設定編』「地上デジタル放送の放送(予定)一覧」をご覧ください。

「自動スキャン」(➡P.90)や新しい放送の開始、放送の変更などにより、本機で受信できるチャンネルが自動的に変更される場合があります。受信できるチャンネルについては「チャンネル一覧で選ぶ」(➡P.28)でご確認ください。

■その他

- データ放送を実行しているときは、番組表に切り換わらない場合があります。その場合は、データ放送を終了してから操作してください。
- i.LINKモード、録画予約、一発録画のときなど、番組表 がはたらかないモードがあります。
- 臨時放送サービス、事前蓄積用データ放送サービス、蓄積専用データサービス、エンジニアリングサービス、部分受信サービスは、番組表に表示されません。
- 番組表データのないチャンネルの場合は表示されません。
- 番組表で表示できるのは、最大7日後までですが、チャンネルや放送メディアによって異なる場合があります。
- 番組情報取得中に次の操作を行うと、番組表の更新を中止します。
  番組説明の表示、日時切換、番組指定予約の設定、放送や放送メディアの切り換え
- 番組が予告なく変更されると、番組表の内容が実際の番組と異なってしまう場合があります。
- 移動体受信サービスについては、数番組しか表示されない場合があります。

番組表の色分けジャンルを変更する

番組表で色分け表示されているジャンルを変更したい場合は次の操作をしてください。

■お買い上げ時の状態
赤：映画
緑：スポーツ
橙：音楽



1 メニュー を押し、[︿/﹀/《/》]で「設定メニュー」を選び、決定 を押す

設定メニューが表示されます。

2 [《/》]で「視聴設定」を選んだあと、[︿/﹀]で「番組表色分け設定」を選び、決定 を押す

ジャンル色分け設定画面になります。

3 [︿/﹀/《/》]で登録したいジャンルを選び、決定 を押す

未登録のジャンルの中から選んでください。

●ジャンルの色分け表示を取り消したい場合

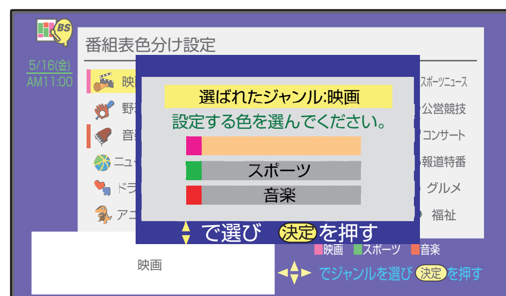
①色分け表示を取り消したいジャンル（登録済みのもの）を選び、決定 を押す
②[《/》]で「はい」を選び、決定 を押す
選んだジャンルの色分け表示が取り消されます。
③設定メニューに戻るには、戻る を押す



4 [︿/﹀]で設定する色を選び、決定 を押す

- 選んだ色が設定されます。
- すでに他のジャンルが設定されている色を選んだ場合、選んだジャンルに入れ換わります。

●他のジャンルを登録する場合
手順3〜4を繰り返します。



5 終了 を押して、設定を終了する

次に 番組表 を押したときから、登録内容が番組表に反映されます。

ポイント

- 同じジャンルを複数の色に登録することはできません。
- 各色に設定できるジャンルはそれぞれ1つです。
- 設定した色分けは、地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送のそれぞれの番組表に反映されます。

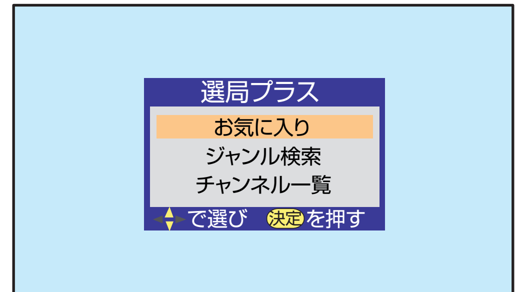
お気に入りで選ぶ

お気に入りのチャンネルを登録して、ご覧になる番組を選ぶことができます。



1 選局プラス を押す

選局プラスメニューが表示されます。

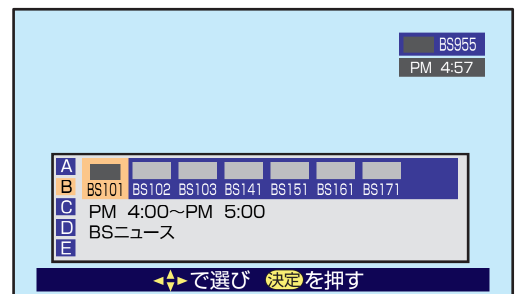


2 [︿/﹀]で「お気に入り」を選び、決定 を押す

画面の下部にお気に入りチャンネルリストが表示されます。

3 [︿/﹀]でグループを選ぶ

5つのグループ(A·B·C·D·E)のいずれかを選びます。
お買い上げ時に、登録されているのは、Aグループのみです。
登録していないグループを選択することはできません。

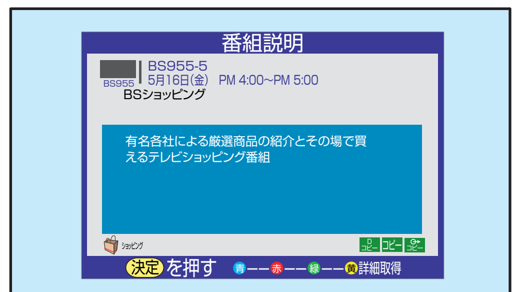


4 [《/》]でチャンネルを選ぶ

●番組についての説明を見たい場合

①[番組説明]ボタンを押す
選んでいる番組の説明を見ることができます。
(詳しくは➡P.31)

②お気に入りチャンネルリストに戻るには、決定 を押す



5 決定 を押す

お気に入り画面を終了して、通常画面に戻ります。

ポイント

- i.LINK操作中、録画予約、一発録画のときなど、お気に入り選局ができない場合があります。
- チャンネル設定の初期化や初期スキャン、再スキャン、自動スキャンなどの結果、チャンネルがなくなったときには「－－－」が表示されます。選局はできません。
  その場合は、登録し直してください。（➡以下）

■地上デジタル放送の場合

「自動スキャン」（➡P.90）や新しい放送の開始、放送の変更などにより、本機で受信できるチャンネルが自動的に変更される場合があります。受信できるチャンネルについては「チャンネル一覧で選ぶ」（➡P.28）でご確認ください。

■お買い上げ時に設定されている内容

お買い上げ時には、グループA（下表）の内容が設定されています。（B～Eには何も設定されていません）

	1	2	3	4	5	6	7	8
A	日本BS放送 (BS999ch)	メガポート放送 (BS900ch)	日本データ放送 (BS940ch)	DCI放送 (BS933ch)	日本メディアアーク (BS963ch)	ウェザーニューズ (BS910ch)	ー	ー

登録のしかた

5グループに8チャンネルずつ合計40のお気に入りチャンネルを登録できます。
地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル放送のチャンネルを混合で登録することができるので、簡単な操作でご覧になる番組を選べます。



1 **［メニュー］を押し、［︿/﹀/《/》］で「設定メニュー」を選び、［決定］を押す**

設定メニューが表示されます。

2 **［《/》］で「視聴設定」を選んだあと、［︿/﹀］で「お気に入り選局設定」を選び、［決定］を押す**

「お気に入り選局設定」画面が表示されます。



3 **［選局 ＋/－］を押して登録したいチャンネルを選ぶ**

同じグループ内に同じチャンネルを複数登録することはできません。
他のデジタル放送でお気に入り登録を行う場合は、登録したい放送の放送切換ボタンを押します。

●放送メディアを変えたい場合

［メディア］を押し、放送メディアを選ぶ
放送メディアについて（➡P.16）



4 [︿/﹀]でグループを選んだあと、[《/》]で登録する場所を選ぶ

5つのグループ(A･B･C･D･E)のいずれかを選びます。

5 決定 を押す

●すでに他のチャンネルが登録されている場所を選んだ場合
登録されていたチャンネルが削除され、未登録になります。もう一度 決定 を押すと、新たに選んだチャンネルが登録されます。

●いくつものチャンネルを登録する場合
手順3～5を繰り返します。

6 登録を終了するときは、終了 を押す

ジャンルを指定して選ぶ

映画、スポーツなど、お好みのジャンルを指定して番組を探し、ご覧になる番組を選ぶことができます。

- 地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送をまとめて一度に検索することはできません。
- 毎日2時間以上主電源スイッチを「入」にしておけば、最新の番組情報が取得できます。それにより、最新の番組情報でジャンル検索を行うことができます。

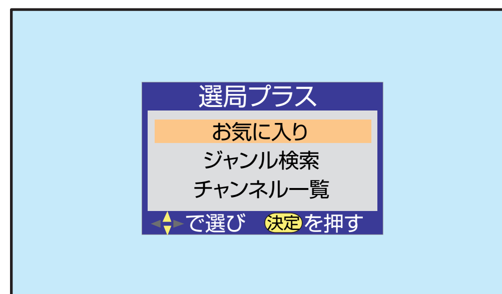


1 放送切換ボタンを押してジャンル検索する放送の種類を選ぶ

地上D ：地上デジタル放送
BS ：BSデジタル放送
CS ：110度CSデジタル放送
選んだ放送切換ボタンが点滅します。

2 選局プラス を押す

選局プラスメニューが表示されます。



3 [︿/﹀]で「ジャンル検索」を選び、決定 を押す

ジャンル指定画面になります。
終了する場合は 終了 を押します。
ジャンル検索ができるのは最大7日後までですが、チャンネルによって異なります。ジャンルについての情報が送られていない番組については検索されません。



●放送の種類を切り換える場合
検索したい放送の放送切換ボタンを押します。選んだ放送について、ジャンル検索が行われます。

●放送メディアを変えたい場合
メディア を押し、放送メディアを選ぶ
放送メディアについて(➡P.16)

4 [︿/﹀/《/》]でジャンルを選び、決定 を押す

ジャンル検索が始まり、今日の検索結果が表示されます。

→その他のジャンル検索の操作 (P.27)



5 [︿/﹀]で番組を選び、決定を押す

●**現在放送中の番組を選んだ場合**
選んだ番組が選局されます。

●**今後放送となる番組を選んだ場合**
予約画面になります。予約の設定をしてください。
(➡P.51手順2以降の操作)
予約設定が終わると検索結果の画面に戻り、予約アイコンが追加されます。
すでに予約している番組を選んだときは、予約内容確認/取り消しの画面になります。
(「予約を取り消すとき」(➡P.58))



予約アイコン

▲･▼マークがある場合は、[︿/﹀]でページを切り換えることができます。

●**ジャンル検索を終了したい場合**
終了を押します。

→その他のジャンル検索の操作

ジャンル検索結果を切り換えるとき

赤：翌日の検索結果に切り換わります。

青：前日の検索結果に切り換わります。(今日より前の日には戻れません。)

ジャンル検索結果を更新するとき

①黄を押す
確認画面が表示されます。

②更新を行う場合は、[《 / 》]で「はい」を選び、決定を押す
ジャンル検索の更新を行います。
更新には、時間がかかります。特に地上デジタル放送では、40分程度かかる場合もあります。
- 更新中は、映像や音声が出ない場合があります。
- 更新を途中で中止したい場合は、黄をもう一度押してください。

番組についての説明を見るには(詳しくは➡P.31)

①[番組説明]ボタンを押す
②説明画面を消すには、決定を押す

ポイント

- お買い上げ後はじめて電源を入れた場合や、長時間本機の主電源を「切」にしていて主電源を「入」にした直後は、検索される番組が少ないことがあります。また、放送の種類(地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送)を変えた直後も、検索される番組が少ないことがあります。これは、本機に記憶されている番組情報の量が少ないためです。
- 番組情報を取得して検索結果を更新するには、「その他のジャンル検索の操作」(➡上記)をご覧ください。
- 録画予約、一発録画実行中など、ジャンル検索ができない場合があります。
- 臨時放送サービス、事前蓄積用データ放送サービス、蓄積専用データサービス、エンジニアリングサービス、部分受信サービスは検索されません。

■地上デジタル放送の場合
「自動スキャン」(➡P.90)や新しい放送の開始、放送の変更などにより、本機で受信できるチャンネルが自動的に変更される場合があります。受信できるチャンネルについては「チャンネル一覧で選ぶ」(➡P.28)でご確認ください。

チャンネル一覧で選ぶ

チャンネル一覧で視聴可能なチャンネルを表示させ、その画面からチャンネルを選んで番組をご覧になることができます。
チャンネル一覧はご覧になる放送ごとに表示されます。

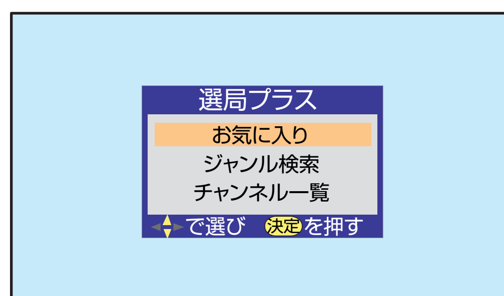


1 放送切換ボタンを押して放送の種類を選ぶ

地上D ：地上デジタル放送
BS ：BSデジタル放送
CS ：110度CSデジタル放送
選んだ放送切換ボタンが点滅します。

2 選局プラス を押す

選局プラスメニューが表示されます。



3 [︿/﹀]で「チャンネル一覧」を選び、決定 を押す

直前に視聴していたデジタル放送のチャンネル一覧が表示されます。

4 [︿/﹀]でチャンネルを選ぶ

他のデジタル放送のチャンネル一覧を表示する場合は、表示したい放送の放送切換ボタンを押します。

●**放送メディアを変える場合**
メディア を押し、放送メディアを選ぶ
放送メディアについては(➡P.16)をご覧ください。

(例)地上デジタル放送のテレビの場合
設定されているリモコンのボタン



- 地上デジタル放送のすべてに枝番の表示があり、地上デジタル放送のチャンネル一覧の場合には、3桁チャンネル番号の次に枝番がつきます。(➡P.17)

枝番表示	内容
(0)	域内の放送
(1)〜(9)	域外の放送

5 決定 を押す

- 選んだチャンネルが選局されます。
- 終了 を押して、設定を終了します。

ポイント

- デジタル放送の種類によって、チャンネル一覧表示は異なります。
- 受信可能なチャンネルの一覧を表示します。
- 臨時放送サービス、事前蓄積用データ放送サービス、蓄積専用データサービス、エンジニアリングサービス、部分受信サービスはチャンネル一覧には表示されません。
- 手順4のときに数字ボタンを押すと、この設定に入る前に最後に選局した放送が選局されます。
- 複数のボタンに同じチャンネルが登録されているときは、手順4の画面では小さい番号のボタンが表示されます。

現在放送されている番組の一覧から選ぶ

地上デジタル、BSデジタルなど放送ごとに、現在放送されている番組のリストを表示させることができます。リストからご覧になる番組を選ぶことができます。

- 毎日2時間以上主電源スイッチを「入」にしておけば、最新の番組情報が取得できます。それにより、最新の番組情報でリストを表示させることができます。



1 放送切換ボタンを押して放送の種類を選ぶ

地上D ：地上デジタル放送
BS ：BSデジタル放送
CS ：110度CSデジタル放送
選んだ放送切換ボタンが点滅します。

2 [番組チェック]ボタンを押す

画面の下部に現在放送されている番組リストが表示されます。

●他のデジタル放送の番組に切り換える場合
切り換えたい放送の放送切換ボタンを押します。



3 [︿/﹀/《/》]で番組を選ぶ

[《/》]：リストの種類を選ぶ
[︿/﹀]：チャンネルを選ぶ

→その他のリストの操作 (P.30)

4 決定 を押す

選んだ番組が選局されます。

●次の番組リストで選んだとき
予約画面になります。予約の設定を行ってください。(➡P.51 手順2以降の操作)
予約設定が終ると番組リストに戻り、予約アイコンが表示されます。
すでに予約している番組を選んだときは、予約内容確認/取り消しの画面になります。「予約を取り消すとき」(➡P.58)



→その他のリストの操作

リストの内容を更新するには

画面下部に、「黄 で情報取得」が表示されているときに、黄 を押す

- 現在、リストに表示されているチャンネルのネットワークについて番組情報を取得して、リストの内容を更新します。
  詳しくはP.21の「ポイント」の「番組表やリストの更新について」をご覧ください。
- リストの更新には、時間がかかる場合があります。
- 番組情報取得中に、もう一度 黄 を押すと、番組表の更新を中止します。
- 情報取得中は、映像、音声が出力されない場合があります。

番組についての説明を見たいとき(詳しくは➡P.31)

①[番組説明]ボタンを押す
放送局名リストでは[番組説明]ボタンは、はたらきません。
②説明画面を消すには、決定 を押す

ポイント

- 番組情報取得中に次の操作を行うと、番組表の更新を中止します。
  番組説明の表示、番組指定予約の設定、放送や放送メディアの切り換え
- 臨時放送サービス、事前蓄積用データ放送サービス、蓄積専用データサービス、エンジニアリングサービス、部分受信サービスは番組のリストおよび放送局名リストには表示されません。
- 番組情報を取得するタイミングによっては、「今の番組」と「次の番組」表示が、現在時刻表示に対して合わなくなるときがあります。
- i.LINKモード、録画予約、一発録画のときなど、〔番組チェック〕ボタンがはたらかないモードがあります。

■地上デジタル放送の場合

「自動スキャン」(➡P.90)や新しい放送の開始、放送の変更などにより、本機で受信できるチャンネルが自動的に変更される場合があります。受信できるチャンネルについては「チャンネル一覧で選ぶ」(➡P.28)でご確認ください。

番組の情報を見る

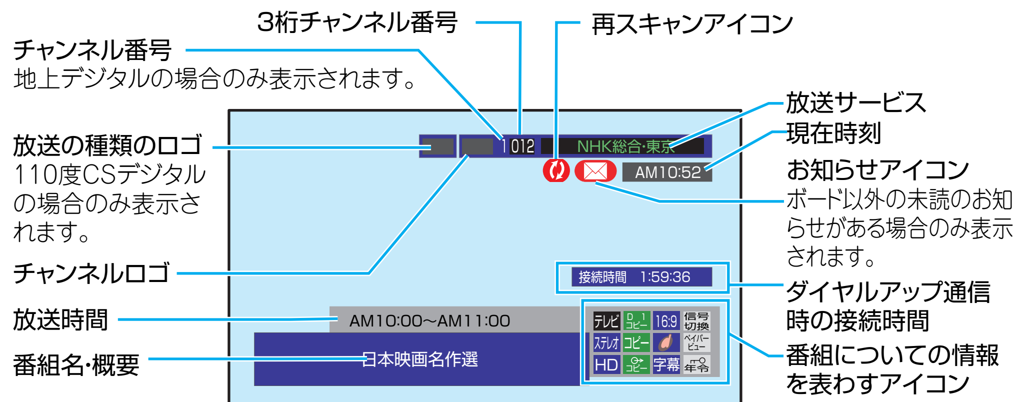
現在受信しているチャンネルや番組の情報を見ることができます。
i.LINK機器からのデジタル録画した番組の情報も見ることができます。

番組についての情報を見るには



[画面表示]ボタンを押す

情報が表示されます。
- 表示は数秒後に消えます。表示されているときに[画面表示]ボタンを押しても消えます。
- 選局時にも、チャンネルや番組の情報が表示されますが、一部省略された状態で表示されます。



番組についての説明を見るには

1 [番組説明]ボタンを押す

現在ご覧になっている番組の概要が表示されます。
- 地上アナログ放送では番組についての説明を見ることはできません。

●さらに詳しい説明を見るには

[﹀]を押す
詳細情報が表示されます。
- 詳細情報のデータをまだ取得していない場合は、画面右下に「黄 で詳細取得」が表示されます。（詳細情報がない場合には、表示されません。）
  黄 を押してデータを取得してください。
- 詳細情報取得中は、映像、音声は出力されない場合があります。
- 詳細情報取得中に、もう一度 黄 を押すと詳細情報の取得を中止します。



▲･▼が表示されている場合は[︿/﹀]で進める/戻すの操作ができます。

2 決定 を押して、番組説明画面を消す

ポイント

- 番組情報や番組説明の画面に表示されるアイコンの詳細は、「情報アイコン一覧」(➡P.133)をご覧ください。
- デジタル録画された番組は、再生時にも番組の情報を見ることができます。ただし、再生機器によっては、番組の情報が表示されない場合があります。
- 番組の情報を表示させることや、番組の詳細情報取得を行うのに、時間がかかる場合があります。
- 番組情報を取得するタイミングによっては、番組情報の表示が、現在の時刻表示と合わなくなるときがあります。

■録画や録音が制限されている場合

- 番組情報や番組説明の画面でアイコンを表示してお知らせします。(➡P.133)
  B-CASカードが挿入されていない場合などで制限が判定できないときは、アイコンは表示されません。
- デジタル録画が制限されている番組のときは、i.LINK端子に信号が出力されない場合があります。
  i.LINKによる録画はできません。

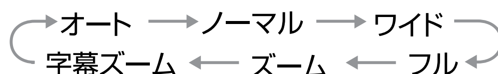
画面サイズを切り換える

ご覧になる映像に合わせて、画面サイズを切り換えることができます。より迫力のある映像をお楽しみいただけます。

- デジタル放送受信の場合、通常画質(525i)の放送以外では画面サイズを切り換えることはできません。



[画面サイズ]ボタンを繰り返し押して、画面サイズを切り換える



GLシリーズをご使用の場合

コンピュータの映像をご覧の場合は、次のように切り換わります。

ノーマル ←→ フル

オート	入力信号によって、次のように最適な画面サイズに切り換えて表示します。 4：3の信号→ノーマル スクイーズ信号→フル レターボックス信号→ズーム 信号に何も情報がない場合は、「ノーマル」に切り換わります。
ワイド	中央部の縦横比を保持したまま、画面を横いっぱいに拡大して表示します。
ズーム	縦横比を変えずに横方向を画面いっぱいに拡大して表示します。 映像によっては画面の上下が切れる場合があります。
字幕ズーム	字幕が入った横に長い映像を表示するときに選択します。 映像によっては画面の上下が切れる場合があります。 その場合は、映像の上下の位置を調整することができます。(「字幕ズーム位置調整」(➡P.105))
フル	4：3の信号の場合は、画面いっぱいになるように横方向に拡大して表示します。 16：9の信号の場合は、画面いっぱいに表示します。
ノーマル	4：3の信号の場合は左右に黒い帯が入ります。 16：9の信号の場合は、信号のサイズそのままに表示します。

デジタルハイビジョン放送やプログレッシブ信号などの元々が16：9の信号が入力されたときは、「ノーマル」モード固定になります。画面サイズを切り換えることはできません。

ご注意

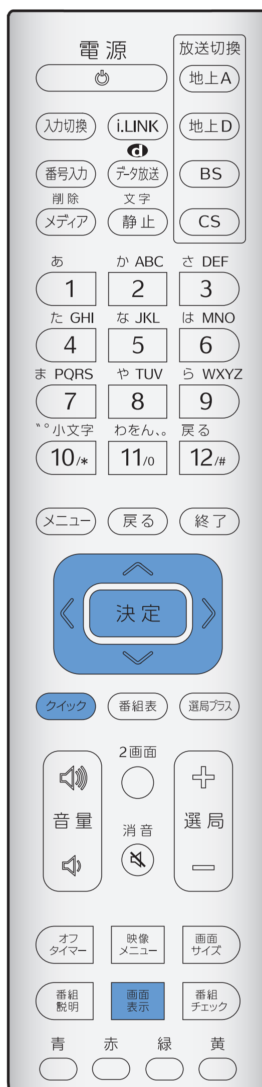
- 「ズーム」、「字幕ズーム」に切り換えているときに(メニュー)を押してメニューを表示すると、上下が多少切れる場合があります。
- 著作権を侵害するおそれがありますので、営利目的、または公衆に視聴されることを目的として、喫茶店、ホテルなどで画面の大きさを変えるなどの特殊機能(送られてくる映像の縦横比を変えるなど)は使用しないでください。

ポイント

- 設定によっては、映像の上下や左右が一部欠ける場合があります。
- 「ワイド」モードのとき、放送内容によっては画面の左右にノイズや黒い帯が出ることがあります。

お好みの映像、音声、データに切り換える

デジタル放送では、１つの番組の中に複数の信号(映像や音声、データ)がある場合があります。お好みに応じて切り換えることができます。



1 [画面表示]ボタンを押して、アイコンを確認する

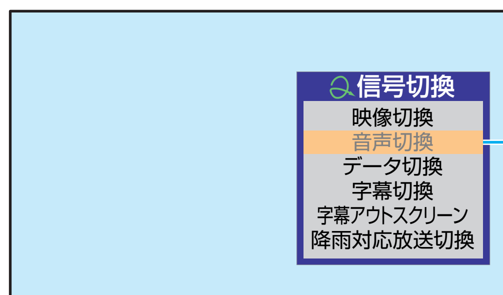
複数の信号がある場合は、画面にアイコンが表示されます。



2 クイック を押し、[︿/﹀]で「信号切換」を選び、決定 を押す

3 [︿/﹀]で切り換えたい項目を選び、決定 を押す

●切り換えられる項目
- 「映像切換」
- 「音声切換」
- 「データ切換」

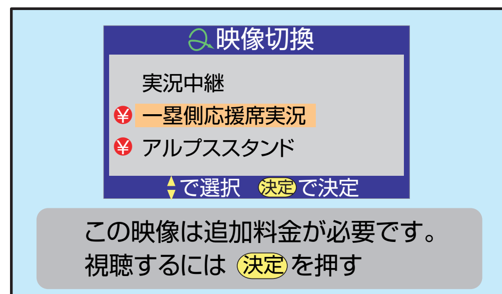


選択できない項目は、文字が薄く表示されます。

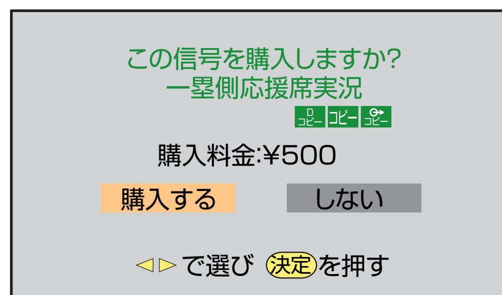


4 [︿/﹀]でお好みの信号を選ぶ

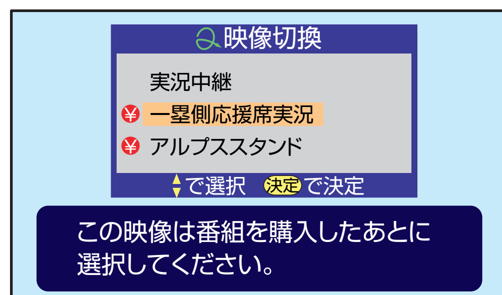
●¥ が表示されている信号について
視聴するためには料金が必要です。



① 決定 を押す
右の画面が表示されます。
②[《/》]で「購入する」を選び、決定 を押す
選んだ信号が購入されます。
- 購入金額が、あらかじめ設定してある限度額を超えた場合は、暗証番号の入力画面になります。
- 購入する場合は、0〜9 (11/0 〜 9)で暗証番号(4桁)を入力してください。
- 購入しない場合は 終了 を押します。



●ペイ・パー・ビュー番組を購入していない場合
右のメッセージが表示されるので、終了 を押します。
通常画面に戻ります。
ペイ・パー・ビュー番組を購入してから、映像や音声データを購入してください。(P.76)



●音多切換で「主:副」(二重音声)を選んだ場合
スピーカーからの音声出力を切り換えることができます。
(P.38)

5 決定 を押す

ポイント

- 映像、音声、データの切り換えは、放送の受信時と、i.LINK入力時に行えます。
- 映像を切り換えると、それに伴って音声が自動的に切り換わる場合もあります。(これをマルチビューサービスといいます。)
- 別の番組を選局すると、設定された映像や音声データは取り消されます。
- アナログ方式(VHSやS-VHSなど)で録画予約、一発録画を実行中のときなど、信号切換ができない場合があります。

2画面で映像を楽しむ

2つの画面に切り換えてご覧になれます。左右の画面には、以下のように表示されます。
左側の画面：地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送
右側の画面：地上アナログ放送、アナログCATV放送、ビデオ入力
2画面を表示したままで、それぞれの画面のチャンネルを変えることもできます。
左側の画面にアナログ放送やビデオ入力、右側の画面にデジタル放送を表示することはできません。



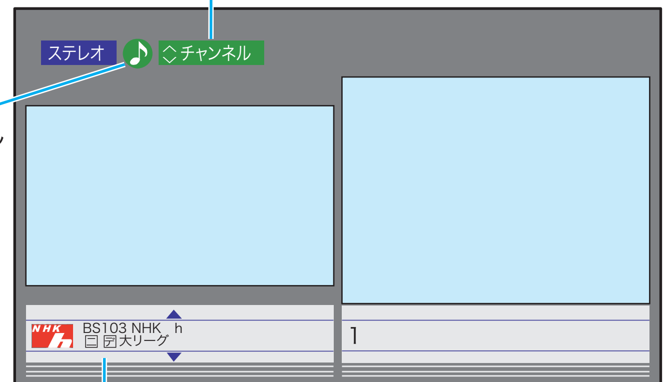
2画面 を押す

2画面表示の現在の状態が表示されます。〔画面表示〕ボタンを押して現在の状態を確認することもできます。

もう一度 2画面 を押すと、1画面表示に戻ります。

画面のチャンネル切り換えができることを表しています。この場合は左側の画面を切り換えることができます。

画面の音声が出ていることを表しています。この場合は左側の画面の音声が出力されています。



番組情報表示
何も操作しない場合は、数秒後に消えます。

ポイント

GLシリーズをご使用の場合
- コンピュータの映像を２画面で表示することはできません。
- フォトビューワで表示している映像を2画面にして表示することはできません。

2画面の表示方法を選ぶ

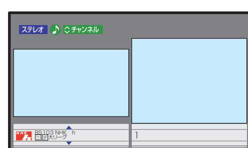
一方の画面のチャンネルを変更したり、ビデオ機器の映像に切り換えることができます。また、スピーカーからどちらの音声を出力するか選択したり、一方の画面だけを大きく表示させることができます。

[《／》]で表示画面を選ぶ

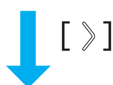
チャンネルや音声を切り換える操作 (P.37)

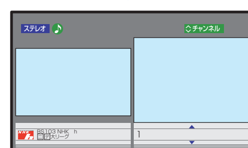
例:[《／》]をつづけて押した場合

最初に2画面にしたとき
※最後に視聴していたテレビチャンネルが操作画面になります。

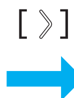


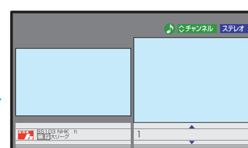
チャンネル切換:左画面
音声出力:左画面



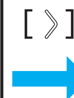


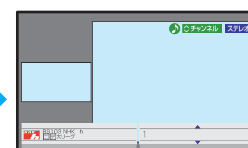
チャンネル切換:右画面
音声出力:左画面
※ この画面のまま数秒間操作がないと一操作前の画面に戻ります。



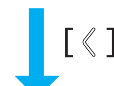


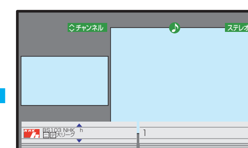
チャンネル切換:右画面
音声出力:右画面



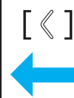


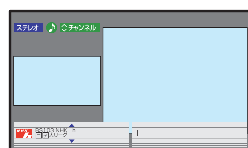
右画面が大きくなる



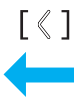


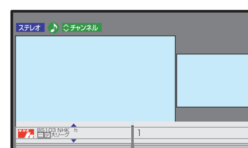
チャンネル切換:左画面
音声出力:右画面
※ この画面のまま数秒間操作がないと一操作前の画面に戻ります。





チャンネル切換:左画面
音声出力:左画面





左画面が大きくなる

→チャンネルや音声を切り換える操作

チャンネルを切り換える

「◇チャンネル」が表示されている画面の操作ができます。

①[︿/﹀]を押す

チャンネルリストが表示され、数秒後に元に戻ります。

②[︿/﹀]でチャンネルを選び、決定を押す

1 ～ 12/# でも選局できます。

- デジタル放送の場合 番号入力 でも選局できます。
- 左画面の場合、放送切換ボタン(地上D/BS/CS)で放送の種類を切り換えることができます。

番組についての説明を見たいとき(デジタル放送のみ)(➡P.31)

「◇チャンネル」が表示されている画面の操作ができます。

①[番組説明]ボタンを押す

② 決定 を押して番組説明を終了する

選択画面の番組情報などを見ることができます。ただし、地上アナログ放送は放送局名だけが表示されます。

ビデオ映像に切り換える

右画面をビデオからの映像に切り換えることができます。

入切換 を押す

複数の機器を接続している場合は、入切換、または[︿/﹀]を押して、ビデオ映像を選びます。

接続機器を1台も接続していない場合、入切換 を押しても映像は切り換わりません。

入切換、または放送切換ボタンを押すとテレビ放送に切り換えることができます。

2画面の音声を聞く

「♪」が表示されている画面の音声を本機のスピーカーで聞くことができます。

さらに、本機にヘッドホンを挿入すると、2画面両方の音声をそれぞれ聞くことができます。

[ヘッドホン]端子：「♪」が表示されている画面の音声を聞くことができます。挿入すると本機のスピーカーからは音声は出力されません。

[副ヘッドホン]端子：本機のスピーカーや[ヘッドホン]端子から出力されていない画面(「♪」が表示されていない画面)の音声を聞くことができます。

([副ヘッドホン]端子から聞こえてくる音声は映像より若干早く聞こえますが、故障ではありません)。

音量調整するには

●本機のスピーカー、[ヘッドホン]端子の場合

[音量 🔊/🔉]を押す

●[副ヘッドホン]端子の場合

- 以下の操作で[副ヘッドホン]端子の音量を調整できます。

  ① クイック を押し、[︿/﹀]で「副画面ヘッドホン音量」を選び、決定 を押す

  ②[《/》]で音量を調整する

  - 調整後は 終了 を押します。
  - 🔇 を押しても[副ヘッドホン]端子の音声を消すことはできません。

ポイント

- 著作権を侵害するおそれがありますので、営利目的、または公衆に視聴されることを目的として、喫茶店、ホテルなどで2画面表示の機能は使用しないでください。その場合は1画面で使用してください。
- 1画面でラジオ放送、データ放送を受信していたときに2画面表示すると、最後に選んでいたテレビチャンネルの映像が表示されます。2画面のときは、ラジオ放送、データ放送を選局できません。
- 2画面で 静止 を押すと、操作画面(表示の画面)が静止画面になります。(2画面表示は終了します。)
- i.LINK端子からの映像信号は、2画面では表示されません。

音声多重放送を聞く(音多切換)

二重音声放送の場合に、スピーカーから出力される音声を「主音声」のみ、「副音声」のみ、「主音声と副音声」のいずれかに切り換えることができます。

- お買い上げ時は「主音声」に設定されています。
- 視聴している番組が二重音声でない場合は、この操作はできません。
- デジタル放送では、音声多重放送の他に複数の音声信号がある場合があります。(➡P.33)

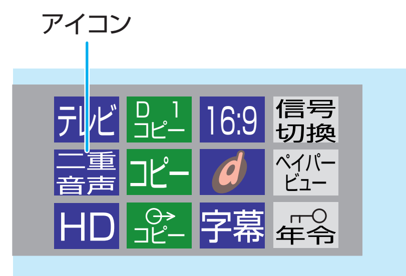


1 [画面表示]ボタンを押してアイコンを確認する

地上アナログ放送の場合



デジタル放送の場合



2 クイック を押し、[︿/﹀]で「音多切換」を選び、決定 を押す

「音多切換」の画面になります。

3 [︿/﹀]で音声を切り換える

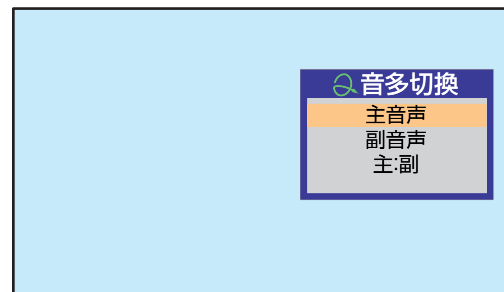
次の3種類の音声に切り換わります。

主音声：左右両方のスピーカーから主音声が聞こえます。

副音声：左右両方のスピーカーから副音声が聞こえます。

主：副：左のスピーカーから主音声、右のスピーカーから副音声が聞こえます。

- 音声設定(➡P.106)を「シアター」、または「ミュージックライブ」に設定している場合は、サラウンド効果をはたらかせるため左右のスピーカーから主音声/副音声の両方が聞こえます。



4 決定 を押して、設定を終了する

ポイント

- 音多切換は、二重音声放送の受信時と、i.LINK入力時(二重音声のある場合)に行えます。(i.LINK入力時でもアナログ地上放送信号の場合には、音多切換はできません。)
- デジタル放送、地上アナログ放送それぞれ、選んだ二重音声が保持されます。チャンネルを切り換えた場合でも、最後に設定された状態の音声がスピーカーから聞こえます。
- アナログ方式(VHSやS-VHSなど)で録画予約、一発録画を実行中のときなど、デジタル放送の音多切換ができない場合があります。

■光デジタル音声出力について

光デジタル音声出力端子を「AAC優先」や「サラウンドAAC優先」に設定している場合で、MPEG-2 AAC音声が出力されている場合には、主音声・副音声の切り換えは本機ではできません。その場合はMPEG-2 AACデコーダー側で切り換えてください。

字幕で映像を楽しむ

字幕放送サービスが行われている番組や字幕のある映像を楽しむときに、画面に字幕を表示して、映像をご覧になれます。

- お買い上げ時は、「字幕オフ」に設定されています。



1 [画面表示]ボタンを押してアイコンを確認する

字幕アイコンが薄く表示されている場合、視聴中の番組は字幕放送ではありません。

- 字幕アイコンが表示されている場合でも、放送信号に字幕データがない場合があります。



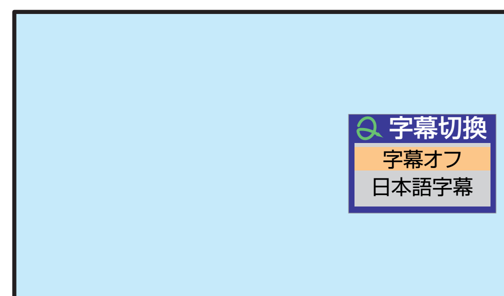
2 クイック を押し、[︿/﹀]で「信号切換」を選び、決定 を押す

3 [︿/﹀]で「字幕切換」を選び、決定 を押す

字幕切換画面が表示されます。

4 [︿/﹀]で字幕を設定する

- 受信する番組によって選べる言語が異なります。
- 字幕付きペイ・パー・ビュー番組は、購入後に字幕表示ができます。(➡P.76)



5 決定 を押して、設定を終了する

番組によっては、番組の進行よりも字幕が遅れて表示される場合があります。

ポイント

- 番組によっては、最大2つの言語の字幕が表示されます。
- 番組によっては、字幕設定画面上に言語名ではなく、「字幕1」「字幕2」と表示される場合もあります。
- テレビ放送で字幕と放送画面の文字が重なる場合で字幕アウトスクリーン表示できる番組は、文字が重ならないように調整できます。(➡P.40)
- 字幕が画面表示されるように設定されている場合でも、背面の「デジタル放送録画出力」端子からは、字幕は出力されません。
- 2画面表示では、音声の出ている画面の字幕が表示されます。その場合に、字幕がはみ出すことがあります。
- 字幕表示中、番組名やメニューなどが表示されると字幕がかくれることがあります。また、番組表やジャンル検索画面を表示した場合、字幕は表示されなくなります。通常画面に戻ると再び字幕を表示します。

字幕と画面の文字などが重なって見づらいとき

通常よりも画面の縦幅を縮小することにより、字幕と画面表示の重なりを少なくすることができます(字幕アウトスクリーン表示)。

- 字幕アウトスクリーン表示ができる番組で、字幕が表示されるように設定されている場合のみこのアウトスクリーン表示にできます。ただし、字幕アウトスクリーン表示中は、画面の上部もしくは下部が欠けることがあります。
- 字幕放送サービスが終了した場合や、メッセージが表示されたときは、字幕アウトスクリーン表示が終了します。



1 クイック を押し、[∧/∨]で「信号切換」を選び、決定 を押す

2 [∧/∨]で「字幕アウトスクリーン」を選び、決定 を押す

字幕の表示位置によっては、画面と重なることがあります。

3 [∧/∨]で動画位置を移動する

字幕アウトスクリーン表示を終了する場合は 終了 を押します。

ポイント

- 字幕アウトスクリーン表示中は、次の操作は行えません。
  画面サイズの切り換え
  データ放送への切り換え

映像を一時静止させる

ご覧になっている映像を一時静止できます。GLシリーズをご使用の場合は、画面を静止させるだけでなく、お好きな場面で静止させ、その画面をプリントすることができます。

Sシリーズをご使用の場合

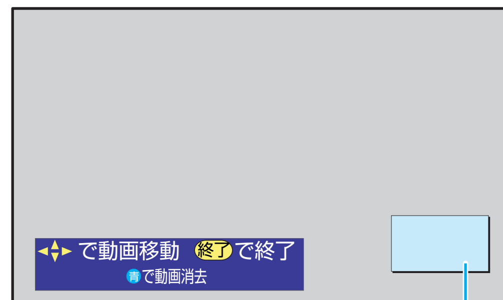


静止 を押す

静止画面表示になり、ご覧になっている映像が画面の右下で子画面(動画)表示になります。

もう一度、静止 を押すと静止状態が解除され、通常の画面に戻ります。

→子画面(動画)の操作 (以下)



子画面(動画)

→子画面(動画)の操作

子画面の位置を変えるには

[︿/﹀/《/》]で、子画面を右上、左上、左下、右下に移動することができます。

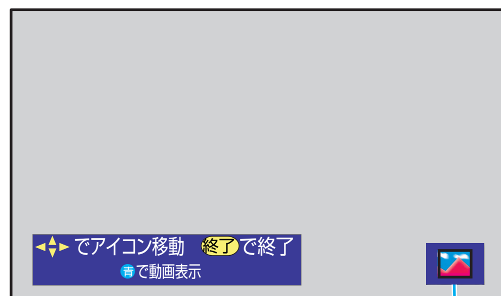
番組についての説明が見たいとき(詳しくは➡P.31)

①[番組説明]ボタンを押す
　番組の説明を見ることができます。
②番組説明を消すには、決定 を押す

子画面をアイコンにするには

青 を押す

- 子画面が消え、アイコンが表示されます。
- [︿/﹀/《/》]で、アイコンを右上、左上、左下、右下に移動することができます。
- もう一度 青 を押すと、アイコンが子画面に変わります。



アイコン

ポイント

- ラジオ、データ放送視聴中は、一時静止させることはできません。
- i.LINKモード、録画予約、一発録画のときなどは一時静止できない場合があります。
- 静止 を押すと、本体背面「デジタル放送録画出力」端子からの出力映像が一瞬静止することがあります。録画中は一時静止しないことをおすすめします。
- 2画面表示で 静止 を押すと、選んでいる画面が1画面の静止画面になります。(2画面表示は終了します。)
- 静止画表示中は字幕は表示されません。また、データ放送の操作はできません。
- 選局操作をすると静止画面を終了して、通常の画面になります。

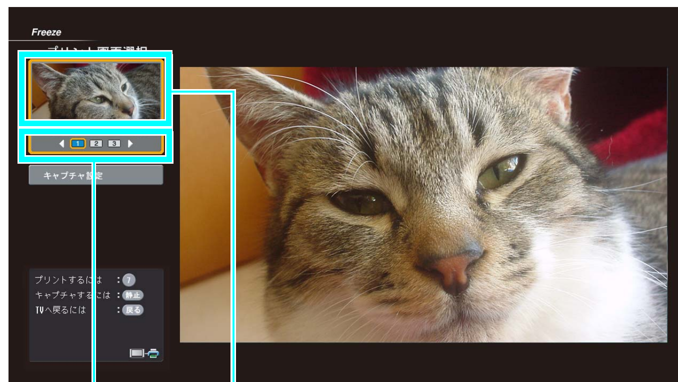
映像を一時静止させる

GLシリーズをご使用の場合



静止 を押す

次のような画面が表示されます。



静止した画面が表示されます。

連続して3画面を静止します。

●静止した画像を確認する場合

プレゼントの応募方法や料理のレシピなどの画面を静止した場合に、静止した画面を拡大して確認することができます。

①[《 / 》]でお好みの画像を選び、 7 を押す

②[︿/﹀]で「プレビュー」を選ぶ

静止した画面が拡大表示されます。

静止した画像をプリントすることができます。(➡『フォトビューワ編』「テレビの映像をプリントする」)

戻る を押すと静止状態が解除され、通常の画面に戻ります。

ポイント

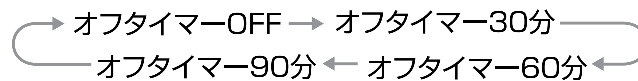
- 画面に字幕やチャンネル表示、設定メニューなどが表示されている状態で 静止 を押すと、それらが表示された状態で画面が静止します。
- ラジオ、データ放送視聴中は、一時静止させることはできません。
- i.LINKモード、録画予約、一発録画のときなどは一時静止できない場合があります。
- 静止 を押すと、本体背面「デジタル放送録画出力」端子からの出力映像が一瞬静止することがあります。録画中は一時静止しないことをおすすめします。
- 2画面表示中に画面を静止することはできません。 1画面表示にしてから操作してください。
- [選局＋/－]を操作すると静止画面を終了して、通常の画面になります。
- 静止 を押したときに上の画面ではなくメッセージ確認画面が表示される場合があります。その場合は、プリントやデータ保存など、フォトビューワ機能でのエラーなどが発生しています。メッセージにしたがってエラーなどを解除しないとキャプチャ画面にはなりません。(➡『フォトビューワ編』「テレビを見ているときにプリントに関するメッセージが表示された場合」)

オフタイマー

本機をつけたままにしていても、設定した時間(30分、60分または90分)が過ぎると自動的に電源が切れて、本機を待機状態にすることができます。



[オフタイマー]ボタンをくり返し押して、時間を選ぶ



- 約3秒後にオフタイマー設定画面が消え、オフタイマーが設定されます。
- 設定時間になると電源が切れて待機状態になります。

●設定を取り消すときは

〔オフタイマー〕ボタンをくり返し押して、「オフタイマーOFF」を選びます。

オフタイマーの動作について

設定時間の約3分前になると、「オフタイマー3分」と表示され、「オフタイマー2分」、「オフタイマー1分」と表示が切り換わります。
設定時間を経過すると電源が切れて、待機状態になります。

電源が切れるまでの残り時間の確認



[オフタイマー]ボタンを押す

残り時間が表示されます。約3秒後に表示が消えます。



ポイント

- 設定時間になる前に本機を待機状態にすると、タイマーの設定は取り消されます。
- 録画予約または一発録画実行中は、オフタイマーで設定した時間になると画面の映像は消えますが、録画は番組終了まで続けられます。

ヘッドホンとスピーカーの両方で聞く

副ヘッドホン端子を使うと、スピーカーの音を出したままヘッドホンで聞くことができます。

- 副ヘッドホン端子の音量調整は、次の手順1からの操作でスピーカー音量とは別に調整できます。
- あらかじめヘッドホンを本機前面の副ヘッドホン端子に接続しておきます。
- スピーカーと同じ音声が、副ヘッドホン端子からも出力されます。

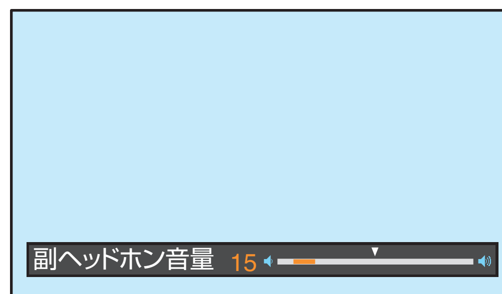


1 クイック を押し、[∧/∨]で「副ヘッドホン音量」を選び、決定 を押す

ヘッドホン接続時のみ「副ヘッドホン音量」の調整をすることができます。

2 [《/》]ボタンで音量を調整する

[音量 🔊/🔉]でも調整できます。



3 終了 を押して、調整を終了します。

ポイント

GLシリーズをご使用の場合

コンピュータの映像をご覧になっている場合や、フォトビューワを起動して画像をご覧になっている場合は、[副ヘッドホン]端子からは音声は出力されません。

他社製のリモコンで本機を操作する

本機付属のリモコン以外に、他社製品のリモコンから本機を操作することができます。本機に接続した再生機器などのリモコンにテレビ操作ができるボタンがある場合は、そのリモコン1つで本機と再生機器の両方を操作することができます。

- 他社製のリモコンで操作できるように設定した場合でも、本機付属のリモコンを使って、本機を操作することができます。

■操作可能なリモコンと操作可能なボタンは次のとおりです。

操作可能なリモコン	
・東芝製品	・日立製品
・松下電器産業製品	・パイオニア製品
・ソニー製品	・ビクター製品

操作可能なボタン	
・電源ボタン	・入力切換ボタン
・音量[▲/▼]ボタン	・消音ボタン
・選局[▲/▼]ボタン	・ダイレクト選局1～12ボタン

ボタンの名称はお使いになるリモコンにより異なります。

操作するには本機の設定が必要です。設定は本機付属のリモコンで行います。



1 戻る を2秒以上押す

- 回線使用中ランプが赤点灯し、対応リモコン変更モードになります。
- 回線使用中ランプが赤点灯している間(約10秒間)に手順2の操作を行ってください。

2 操作を可能にするリモコンメーカーを 1 ～ 12/# を押して選ぶ

回線使用中ランプが2回赤点滅し、設定が終了します。以降は、設定した製品のリモコンを使って操作を行うことができます。

●設定できる項目

1 ：付属のリモコン(エプソン製)のみ
2 ：東芝製品
3 ：日立製品
4 ：設定しないでください。将来の拡張用です。
5 ：パイオニア製品
6 ：松下電器産業製品
7 ：ビクター製品
8 ：ソニー製品

ご注意

他社製のリモコンで操作する場合は、操作ボタンを0.5秒以上押しつづけないでください。

ポイント

- リモコンによっては操作できないものがあります。
- 市販の簡易リモコンで操作する場合は、リモコン側と本機の設定を同じ製品にしてお使いください。
- ご覧になる放送を切り換える場合は、本機付属のリモコンの放送切換ボタン、または本体の[放送切換]ボタンを押して切り換えてください。

省エネ設定

本機に信号が入力されていない状態が一定時間続いた場合は、自動的に電源が切れて待機状態にできます。それにより消費電力を減らすことができます。ご使用になる状況に合わせて設定してください。

ポイント

GLシリーズをご使用の場合

「消費電力」で、本機の映像の明るさの設定を変えることができます。



1 メニュー を押し、[︿/﹀/《/》]で「設定メニュー」を選び、決定 を押す

設定メニューが表示されます。

2 [《/》]で「その他」を選び、[︿/﹀]で「省エネ設定」を選んで、決定 を押す

3 [︿/﹀]で設定する項目を選び、決定 を押す

各設定項目については、「省エネ設定で設定できる項目」(➡P.47)をご覧ください。

- 右の画面はGLシリーズのものです。Sシリーズをご使用の場合は「消費電力」の項目は設定できないため、画面上には表示されません。

省エネ設定

消費電力	省エネ
電源待機消費電力	設定なし
無操作自動電源オフ	動作しない
オンエアー無信号オフ	待機にする
外部入力無信号オフ	待機にする
i.LINK無信号オフ	待機にする

で選び 決定 を押す　戻る で前画面に戻る

4 [︿/﹀]で設定状態を選び、決定 を押す

複数の項目を設定するときは、手順3、4を繰り返す

→電源待機消費電力の設定のしかた (以下)

5 終了 を押して、設定を終了する

→電源待機消費電力の設定のしかた

「電源待機消費電力」を「設定する」にした場合は、視聴記録データの送信や番組情報の受信などの自動処理を行わない時間を設定できます。

①[《/》]で「時」を選び、[︿/﹀]で「開始時」を設定する
②[《/》]で「分」を選び、[︿/﹀]で「開始分」を設定する
③[《/》]で「時間」を選び、[︿/﹀]で「自動処理を行わない時間」を設定する
　1時間～9時間の間で設定できます。
④ 決定 を押す

電源待機消費電力

電源待機中に自動処理を行わない開始時刻と時間を設定してください。

AM 00 時 00 分 ～1 時間

で選び 決定 で設定完了

省エネ設定で設定できる項目

項目	内容	お買い上げ時
消費電力 GLシリーズをご使用の場合	本機のランプの消費電力を設定します。より明るい状態でご覧になる場合は「高輝度」に設定します。 **省エネ**：ランプの消費電力を100Wに設定します。「高輝度」に設定したときより消費電力を約20W節約できます。 **高輝度**：ランプの消費電力を120Wに設定します。「省エネ」に設定したときより約2割程度明るい状態でご覧いただけます。	省エネ
電源待機 消費電力	本機の電源を待機状態にしたときには、自動的に番組情報などを取得しています。情報を取得しない時間帯を設定することで、消費電力を減らすことができます。 **設定する**：情報を取得しない時間を設定します。 **設定しない**：常に情報を取得します。	設定しない
無操作自動 電源オフ	3時間以上テレビを操作しないと、自動で電源が切れ、待機状態になります。 **待機にする**：自動的に、待機状態になります。 **動作しない**：本機を3時間以上操作しなくても、待機状態にはなりません。	動作しない
オンエアー 無信号オフ	放送受信時に、無信号状態が15分以上続くと、自動で電源が切れ、待機状態になります。例えば、深夜にテレビ放送が終了するときなどに便利です。 **待機にする**：自動的に、待機状態になります。 **動作しない**：無信号状態が15分以上続いても、待機状態にはなりません。	待機にする
外部入力無信号オフ	外部入力時に無信号状態が約15分間続くと、自動で電源が切れ、待機状態になります。 **待機にする**：自動的に、待機状態になります。 **動作しない**：無信号状態が15分以上続いても、待機状態にはなりません。	待機にする
i.LINK無信号オフ	i.LINK入力時に無信号状態(ビデオなどでの一時停止の状態も含みます。)が約15分間続くと、自動的に、待機状態になります。 **待機にする**：自動的に、待機状態になります。待機になった場合、他機から本機を制御できなくなります。 **動作しない**：無信号状態が15分以上続いても、待機状態にはなりません。	待機にする

ポイント

- 「電源待機消費電力」を設定し、その設定時間で本機の電源を待機状態にしていたときには、i.LINK接続されている他の機器からの制御はできません。
- 「電源待機消費電力」を「設定する」にした場合でも、録画予約(➡P.50)、視聴予約(➡P.50)、任意ダウンロード(➡P.86)などは実行されます。

GLシリーズをご使用の場合

コンピュータ接続時、またはフォトビューワを起動している場合は、本機を「無操作自動電源オフ」、「外部入力無信号オフ」を「待機にする」に設定していても待機状態になりません。自動で待機状態になるように設定したい場合は、オフタイマーで設定してください。(➡P.43)

降雨対応放送について

衛星を利用した放送では、雨や雪などの影響で衛星からの電波が弱まり、放送が受信できなくなる場合があります。

BSや110度CSデジタル放送をご覧になっている場合で降雨対応放送が行われているときには、次の手順1からの操作で放送をご覧になることができます。

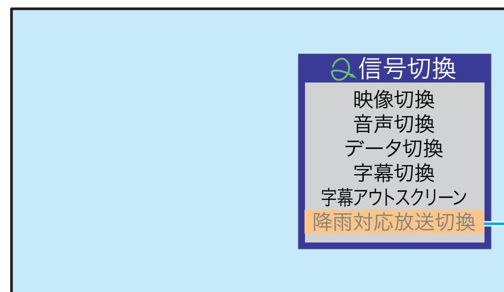
右のメッセージが表示された場合は、降雨対応放送に切り換えることができます。

電波の受信状態が良くありません。
クイックメニューから降雨対応放送に切り換えられます。



1 クイック を押し、[︿/﹀]で「信号切換」を選び、決定 を押す

2 [︿/﹀]で「降雨対応放送切換」を選び、決定 を押す



薄くなっている場合は、切り換えることができません。

3 [︿/﹀]で「降雨対応放送」を選ぶ

通常の放送に戻すには、「通常の放送」を選んでください。

4 終了 を押して、設定を終了する

ポイント

- 電波が強くなると、降雨対応放送から通常の放送に自動的に戻ります。
- 降雨対応放送は、通常の放送に比べて画質などが悪くなる場合があります。
- 一発録画や録画予約実行中は、このページの操作で降雨対応放送に切り換えることはできません。（自動的に切り換わることはあります。）

DVDプレーヤーやゲーム機、コンピュータ(GLシリーズの場合のみ)の映像を見る

本機と接続した機器の映像を見るときは、入力切換を押してご覧になる映像に切り換えます。あらかじめ接続機器の接続、設定を行ってください。(➡『設置・接続・設定編』「再生機器やゲーム機と接続する」「i.LINK端子付き機器と接続する」「コンピュータと接続する」「外部機器の設定」)

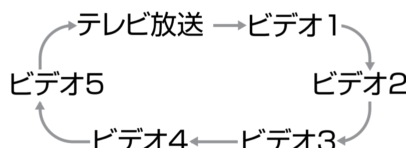


1 接続機器の電源を入れる

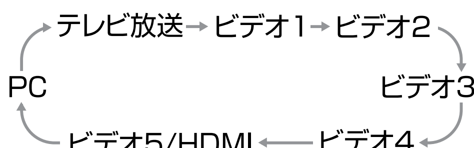
2 入力切換 を押す

- 複数の機器を接続している場合は、入力切換を繰り返し押して、ご覧になる映像を選びます。
- 押すたびに次のように切り換わります。(接続機器が接続されていない場合は、スキップ(飛ばして表示)します。
- 本体の入力切換でも同様の操作が行えます。

Sシリーズをご使用の場合



GLシリーズをご使用の場合



●ビデオ入力5端子の[D4映像]端子と[HDMI]端子の両方に機器を接続していて、[HDMI]端子に接続している機器の電源が入っている場合

入力切換を押して「ビデオ5/HDMI」に映像を切り換えると、[HDMI]端子からの映像が表示されます。[D4映像]端子の映像をご覧になる場合は、[HDMI]端子に接続している機器の電源を切ってから映像を切り換えてください。

- コンピュータの接続にかかわらず、PCはスキップしません。

3 接続機器の操作をする

再生機器の場合は再生機器の[再生]や[プレイ]ボタンを押します。
コンピュータからの映像をご覧になる場合は、表示するデータを選択してファイルを開きます。

GLシリーズをご使用の場合

コンピュータからの映像をご覧になる場合はコンピュータの映像を外部出力する設定・操作を行います。設定・操作については、お使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

ポイント

- DVDやビデオ機器の映像をご覧になっているときに画面右上に表示される入力表示は、VTR、DVDなどの機器名に変えることができます。(➡『設置・接続・設定編』「ビデオ入力表示の設定」)
- 接続機器を1台も接続していない場合は、入力切換を押しても映像は切り換わりません。

GLシリーズをご使用の場合

- コンピュータ映像の解像度が本機に対応していない場合は、映像が表示されないことがあります。本機に対応している解像度は対応解像度一覧でご確認ください。(➡『設置・接続・設定編』「対応解像度一覧」)
- コンピュータの映像を調整する場合は、「コンピュータ接続時の映像や音声の設定」(➡P.108)をご覧ください。

見たい番組を予約する/番組の録画を予約する

デジタル放送の場合、番組表などからご覧になる番組を予約することができます。時間になると予約した番組に切り換わったり、予約した番組を録画可能なビデオ機器などと連動させて録画することもできます。

予約の種類

予約には、次の2種類があります。

■**視聴予約**：ご覧になる番組を予約します。その番組の放送時間に予約した番組を表示します。

■**録画予約**：本機から録画機器をコントロールして録画する番組を予約します。

予約方法には、次の２種類があります。
どちらの方法でも視聴予約、録画予約できます。

■**番組指定予約**：番組表画面などで、番組を予約します。予約時間になると、予約した番組を表示(録画)します。

■**日時指定予約**：日と時間を指定して予約します。毎日、毎週など決まった番組を見る(録画する)場合に設定します。

予約できる番組数

視聴予約、録画予約合わせて最大32番組です。

「録画予約」について

録画予約には2つの方法があります。

■**アナログ方式(VHSやS-VHSなど)で録画する場合**：付属のビデオコントロールケーブルを使います。
(➡『設置･接続･設定編』「ビデオ動作の確認」)

■**i.LINK 端子経由で録画機器 (D-VHS ビデオなど) にデジタル録画する場合**：i.LINK端子からビデオをコントロールして録画を行います。

i.LINK端子経由でD-VHSビデオなどにデジタル録画する場合の注意

- 録画モードは、番組の情報量によって、自動的に最適な状態に設定されます。
  (機器によっては、録画機器側で設定されている録画モードとなるものがあります。)
- 番組によっては、録画できない場合があります。(その場合は、録画操作中にメッセージが表示されます。)

録画をする前の準備

「録画」を行うには、次の準備が必要です。

アナログ方式(VHSやS-VHSなど)で録画するとき

ビデオコントロールケーブルを使って録画予約する場合

ビデオコントロールケーブルの接続･設置の確認
(➡『設置･接続･設定編』「ビデオコントロールケーブルを接続する」)

■**録画機器の準備**
- 本機とビデオ機器との接続　(➡『設置･接続･設定編』「録画機器と接続する(デジタル放送をアナログ録画する)」)
- 接続するビデオ機器の機種設定　(➡『設置･接続･設定編』「ビデオ機器の設定」)
- 録画するビデオテープを録画機器に入れる
- 録画機器の入力切換を行う（ 本機が接続されている入力に切り換える）
- 録画機器の電源を切(待機状態)にする

ビデオコントロールケーブルを使わない場合(非連動)

本機で予約した後、ビデオなどの録画機器でも予約の設定を行う必要があります。録画機器の取扱説明書もよくお読みください。

i.LINK端子経由でD-VHSビデオなどにデジタル録画するとき

- i.LINK端子付きD-VHSビデオやHDDビデオレコーダーとの接続(➡『設置･接続･設定編』「i.LINK端子付き機器と接続する」)
- 「i.LINK設定」の設定
  (➡『設置･接続･設定編』「i.LINK機器の登録」)
- D-VHS ビデオに録画する場合は、D-VHS テープをビデオに入れてください。
- HDD ビデオレコーダーなどの場合は、録画予約開始までにHDDの残量と番組の記録数を確認し、録画ができるように不要な番組を削除してください。(➡P.96)

ご注意

- 録画予約を行った場合は、録画が終了するまで本体の主電源スイッチを「切」にしないでください。録画予約待機中に主電源スイッチを「切」にすると、録画予約の内容が消去されます。
- i.LINK 端子経由で接続している D-VHS ビデオの場合でも、デジタル録画禁止の番組などをアナログ方式(VHSやS-VHSなど)で録画を行う場合には、上記の「アナログ方式(VHSやS-VHSなど)で録画する場合」の準備を行ってください。接続方法については(➡『設置･接続･設定編』「録画機器と接続する(デジタル放送をアナログ録画する)」)をご覧ください。
- ビデオコントロールケーブルが正しく動作しない場合は、録画機器側の操作で録画予約や録画の操作を行ってください。(➡『設置･接続･設定編』「ビデオ動作の確認」)

ポイント

- HDDビデオレコーダーの場合は、日時指定予約の場合も番組ごとに分かれて録画されます。
- 日時指定予約の設定時間は番組表(➡P.19)で時間表示欄に反映されます。
- i.LINK端子やデジタル放送録画出力端子からは、本機のメニュー表示などは出力されません。

録画予約をした場合、番組を録画するためや録画準備のために本機が動作し、本機内部の投写ランプが点灯します。動作が終了すると消灯します。
また、録画実行中は投写ランプが点灯するため、本機の ⏻ を押すと、すぐに画面に映像が表示されます。

番組を指定して予約する



1 番組表 を押す

番組表が表示されます。

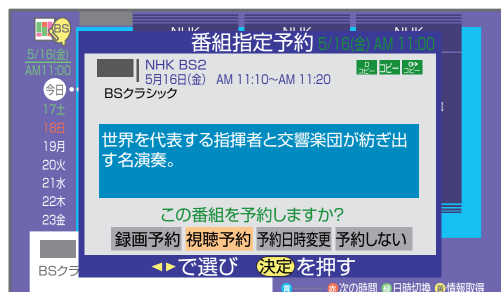


2 [︿/﹀/《/》]で予約したい番組を選び、決定 を押す

今後放送される番組を選んでください。
メッセージが表示された場合は、設定を確認してください。(➡P.57)

3 [《/》]で予約内容を選び、決定 を押す

●録画予約を選んだ場合
手順4に進んでください。



- 放送時間の繰上げや放送中止する可能性のある番組を録画予約した場合に、右の画面が表示されます。本機は放送時間の繰上げには対応していません。
  録画予約を行う場合には、[《/》]で「はい」を選んで 決定 を押してください。

この番組は放送時間が変更されたり
放送中止となる可能性があるため
正しく予約録画できない場合があります。

録画予約を続けますか?

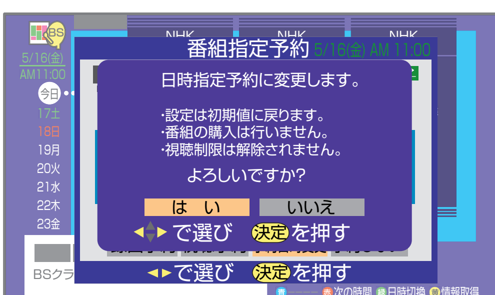
はい　いいえ

◄►で選び 決定を押す

- 録画が禁止されている番組の場合には、メッセージが表示され録画予約はできません。

●視聴予約を選んだ場合
これで予約設定完了です。

●予約日時変更を選んだ場合
予約日を毎週、毎日などにしたり、予約時間を変更したりできます。
①画面の説明を読んだ後、
[《/》]で「はい」を選び、
決定 を押す
②P.55手順7に進む





4 予約設定内容を画面で確認する

→予約設定内容を確認する方法 (P.53)
→予約設定内容を変更する方法 (P.53)

5 [︿/﹀/《/》]で「録画予約する」を選び、決定 を押す

予約設定はこれで完了です。

6 「録画をする前の準備」(➡P.50)ができているか確認し、決定 を押す

次の画面が表示されたとき

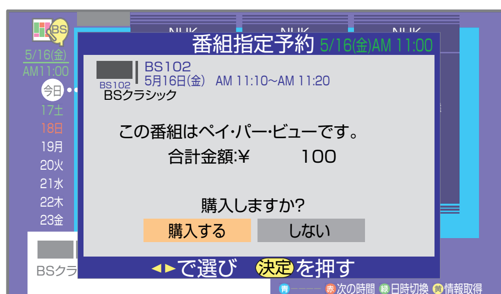
視聴制限があります。

・視聴年齢制限を超えています。
・番組購入限度額を超えています。
暗証番号を入力してください。



⓪～⑨で入力　◀でやり直し

- 録画予約をする場合は、0～9(11/0 ～ 9)で暗証番号(4桁)を入力する。
- 間違って入力した場合は[《]を押し、もう一度1桁目から入力してください。



- 録画予約する場合は[《/》]で「購入する」を選び、決定 を押す。
- 録画するには画面に表示された料金がかかります。
- 購入料金表示には、信号を追加で購入した場合の料金(➡P.34)も含みます。

転送レートを超えているため
録画予約できません。
録画機器を変更してください。
決定を押す

選んだ番組の情報量が、指定した機器の処理能力を超えているためデジタル録画予約することはできません。複数のi.LINK機器を登録している場合は、「録画機器」(➡P.53)で、他のi.LINK機器を選択してください。

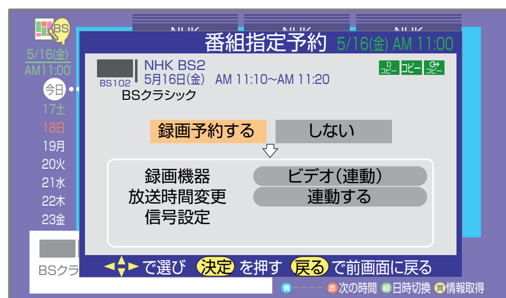
この番組は1回のみ録画できます。そのためHDDに録画した後、他の録画機器にデジタル録画できません。

「録画機器」に、i.LINK接続されているHDDビデオレコーダーを選んだ場合で、1回のみ録画できる番組を録画した場合は、HDDビデオレコーダー等からさらに他の録画機器にダビングはできません(デジタル録画に限らずアナログ録画でも同様です)。

「i.LINK制御機能が正しく動作していません。番組を正常に送受信できない場合があります。詳しくは取扱説明書をご覧ください。」

i.LINK処理に用いる内部情報が壊れています。エプソンダイレクトリビングステーションサポートセンターにエラー表示をご連絡のうえ、修理をご相談ください。(➡P.123)

→予約設定内容を確認する方法



①録画機器

アナログ方式(VHSやS-VHSなど)で録画する場合

- 「ビデオ(連動)」、または「ビデオ(非連動)」が表示されていることを確認してください。
- 『設置・接続・設定編』「ビデオ機種設定」でメーカーを設定した場合は「ビデオ(連動)」が表示されます。「該当なし」に設定した場合は「ビデオ(非連動)」が表示されます。

i.LINK端子経由でD-VHSビデオなどにデジタル録画する場合

録画に使用するi.LINK機器であることを確認してください。

②「放送時間変更」

放送時間変更に連動する/連動しないの設定が表示されます。

「放送時間変更」を「連動する」に設定した場合

- 予約番組が時間変更された場合に、自動的に時間に合わせて録画予約を実行します。最大3時間までの番組開始時刻の遅れに対応します。(番組開始時刻が早くなった場合には対応していません。)
  選んだ番組がペイ・パー・ビューの場合は自動的に「連動する」の設定になります。
- 「連動する」に設定されていても正常に連動しない場合があります。(➡P.60)

③「信号設定」

(i.LINK端子経由でD-VHSビデオなどにデジタル録画する場合は不要です。)

- 録画する映像や音声信号の設定です。
- 変更しない場合は、基本の映像、音声信号が録画されます。

→予約設定内容を変更する場合

「録画機器」

①[︿/﹀]で「録画機器」を選び、決定 を押す
②[︿/﹀]で録画機器のリストから選び、決定 を押す

「放送時間変更」(放送時間変更に連動する/連動しないの設定)

①[︿/﹀]で「放送時間変更」を選び、決定 を押す
②[︿/﹀]で「連動する」または「連動しない」を選び、決定 を押す
お買い上げ時は、「連動する」の状態になっています。

「信号設定」

(i.LINK端子経由でD-VHSビデオなどにデジタル録画する場合は不要です)

録画する映像や音声信号の設定をします。

①[︿/﹀]で「信号設定」を選び、決定 を押す
②[︿/﹀]で設定する内容(「映像信号」「音声信号」「二重音声」)を選び、決定 を押す
選択できる信号がない場合は設定できません。
③[︿/﹀]で信号を選び、決定 を押す
④[︿/﹀]で「信号設定完了」を選び、決定 を押す
信号の追加購入のしかた(➡P.34)

ポイント

- 独立データ放送は、アナログ方式(VHSやS-VHSなど)では録画予約できません。また、番組連動データ放送の場合、映像や音声は録画できますが、データで送られている文字などの情報は、アナログ方式(VHSやS-VHSなど)では録画できません。
- ジャンル検索や番組チェックで次に放送される番組を選んだ場合にも予約ができます。(➡P.26、P.29)

日時を指定して予約する

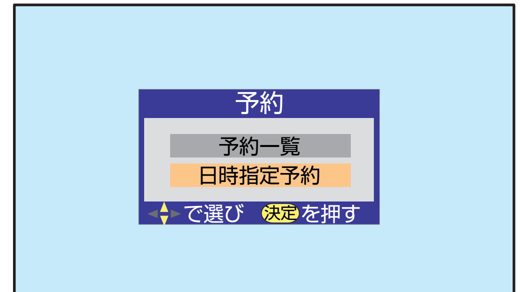
日時を指定して予約します。毎日、毎週、月～金、月～土などの予約もできます。



1 メニュー を押し、[︿/﹀/《/》]で「予約」を選び、決定 を押す

2 [︿/﹀]で「日時指定予約」を選び、決定 を押す

●「予約数がいっぱいです。他の予約を取り消しますか？」とメッセージが表示された場合
(➡P.57)

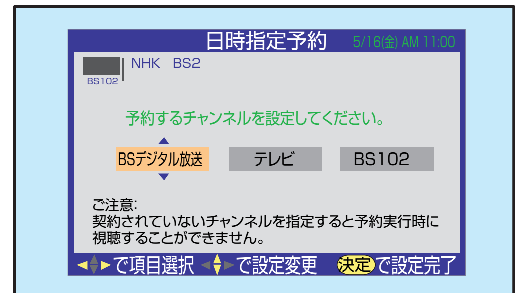


3 [《/》]で放送の種類を選び、[︿/﹀]で設定する

[︿/﹀]を押すごとに以下のように切り換わります。

BSデジタル放送 ↔ 110度CS → 地上デジタル放送

地上デジタル放送の「初期スキャン」が行われていない場合は「地上デジタル放送」には切り換わりません。(➡『設置・接続・設定編』「初期スキャン」)

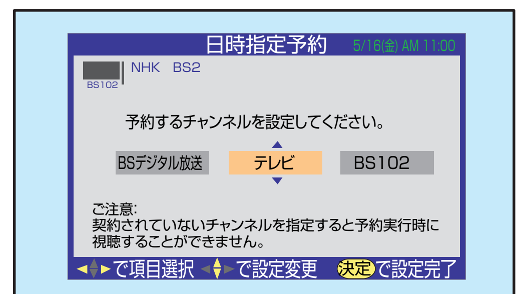


4 [《/》]でメディアタイプを選び、[︿/﹀]で設定する

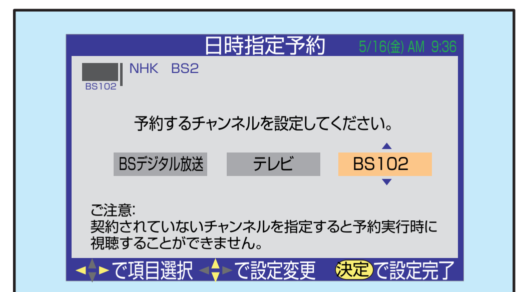
[︿/﹀]を押すごとに以下のように切り換わります。

テレビ ↔ ラジオ → データ放送

地上デジタル放送の場合、「ラジオ」には切り換わりません。



5 [《/》]でチャンネル番号を選び、[︿/﹀]で設定する



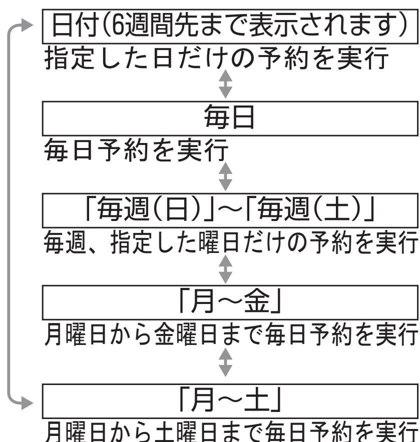


6 決定 を押す

日時指定画面になります。

7 [《/》]で予約日を選び、[︿/﹀]で設定する

[︿/﹀]を押すことにより、次のように設定できます。

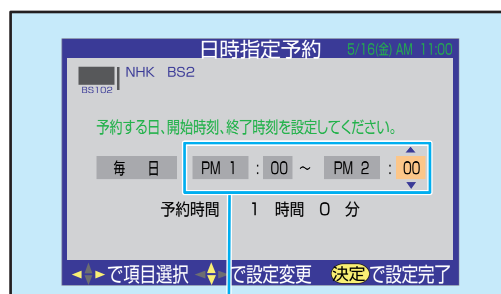




8 [《/》]で予約開始時刻または終了時刻を選び、[︿/﹀]で設定して、決定 を押す

選んだ放送の番組表が表示されます。
他のデジタル放送の番組表に切り換える場合は、切り換えたい放送切換のボタンを押します。

- 設定できる時間は最大23時間59分です。
- 時刻設定に誤りがある場合は、メッセージが表示されます。
  決定 を押して、時刻設定をやり直してください。他のメッセージが表示された場合(➡P.57)



予約時間が表示されます。

9 [︿/﹀]で「録画予約」または「視聴予約」を選び、決定 を押す

●視聴予約を選んだ場合
これで予約設定完了です。

●録画予約を選んだ場合
手順10に進んでください。



10 予約設定内容を画面で確認する

→予約設定内容を確認する方法 (P.56)

→予約設定内容を変更する方法 (P.57)



11 [︿/﹀/《/》]で「録画予約する」を選び、決定を押す

●メッセージが表示された場合
i.LINK処理に用いる内部情報が壊れています。お買い上げのエプソンダイレクトリビングステーションサポートセンターにエラー表示をご連絡のうえ、修理をご相談ください。(➡P.123)

「i.LINK制御機能が正しく動作していません。番組を正常に送受信できない場合があります。詳しくは取扱説明書をご覧ください。」

12 「録画をする前の準備」(➡P.50)ができているか確認し、決定を押す

ポイント

■日時指定予約について
- ペイ・パー・ビュー番組の購入はできません。
- 放送時間変更、映像信号、音声信号の変更はできません。
- アナログ方式(VHSやS-VHSなど)で録画する場合、映像、音声、データなどで複数の信号がある番組の場合は、基本信号だけが記録されます。
- 予約実行時の番組が二重音声でない場合「二重音声」で設定した内容は無効になります。
「二重音声」について(➡P.38)
- 設定できるチャンネルは、受信可能なチャンネルのみです。
- 予約したチャンネル番号が独立データ放送の場合は、アナログ方式(VHSやS-VHSなど)では録画予約できません。
- 現在時刻情報を取得していないときには、日時指定予約はできません。その場合は、しばらくデジタル放送を視聴する必要があります。

→予約設定内容を確認する方法



①「録画機器」

アナログ方式(VHSやS-VHSなど)で録画する場合
- 「ビデオ(連動)」、または「ビデオ(非連動)」が表示されていることを確認してください。
- 『設置・接続・設定編』「ビデオ機種設定」でメーカーを設定した場合は「ビデオ(連動)」が表示されます。「該当なし」に設定した場合には「ビデオ(非連動)」が表示されます。

i.LINK端子経由でD-VHSビデオなどにデジタル録画する場合
録画に使用するi.LINK機器であることを確認してください。

②「信号設定」

(i.LINK端子経由でD-VHSビデオなどにデジタル録画する場合は不要です。)
[︿/﹀]で「信号設定」を選び、決定を押す
- 「二重音声」の設定内容を確認してください。
- 「二重音声」以外の項目は、設定を変更できません。

番組を予約する 録画する

→予約設定内容を変更する方法

「録画機器」の変更

①[︿/﹀]で「録画機器」を選び、決定 を押す
②[︿/﹀]で録画機器のリストから選び、決定 を押す

「二重音声」の変更

(i.LINK端子経由でD-VHSビデオなどにデジタル録画する場合は不要です)
①[︿/﹀]で「二重音声」を選び、決定 を押す
②[︿/﹀]で「主音声と副音声」、「主音声」、「副音声」のいずれかを選び、決定 を押す
③[︿/﹀]で「信号設定完了」を選び、決定 を押す
お買い上げ時には「主音声と副音声」に設定されています。

予約設定時にメッセージが表示されたときは

予約設定時に表示されるメッセージと対処法を説明します。

メッセージ	対処法
予約数がいっぱいです。他の予約を取り消しますか?	予約は32番組まで可能です。 番組予約を続行する場合は他の予約を取り消します。 **[《 / 》]で「はい」を選び、決定 を押す** 予約一覧画面が表示されるので、他の予約を取り消してください。(➡P.58)
すでに購入された番組と時間が重なっています。予約を続けますか?	**[《 / 》]で「はい」を選び、決定 を押す。** ・予約をやめる場合は、「いいえ」を選び、決定 を押します。
他の予約と時間が重なっています。他の予約を取り消しますか?	**①[《 / 》]で「はい」を選び、決定 を押す。** ・予約が重複している番組のリストが表示されます。重複している番組が5つ以上ある場合は、[︿/﹀]で番組のリストを切り換えて確認できます。 ・予約をやめる場合は、「いいえ」を選び、決定 を押します。 **②[《 / 》]で「はい」を選び、決定 を押す。** ・重複している番組がすべて取り消されます。 ・設定中の視聴予約、または録画予約をやめる場合は、「いいえ」を選び、決定 を押します。
ソフトウェアのダウンロード予約と時間が重なっています。このダウンロード予約を取り消しますか?	**[《 / 》]で「はい」を選び、決定 を押す。** ・ダウンロードについて(➡P.86) ・予約をやめる場合は、「いいえ」を選び、決定 を押します。
番組購入情報がいっぱいのため、番組予約はできません。	決定 を押すと、番組表の画面に戻ります。「番組購入情報の送信」(➡P.80)をしてください。
番組予約ができません。次の設定をしてください。	「暗証番号の設定」、「視聴年齢制限の設定」をしてください。(➡『設置・接続・設定編』「暗証番号の設定」「視聴年齢制限の設定」)

予約一覧の確認

予約した内容を一覧で確認できます。



1 [メニュー] を押し、[︿/﹀/《/》]で「予約」を選び、[決定] を押す

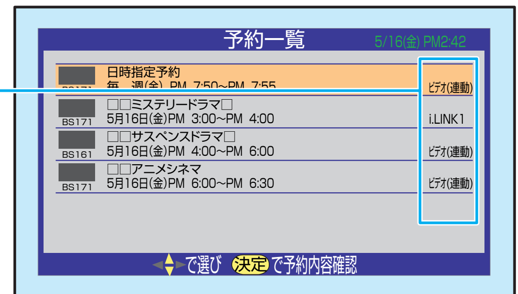
2 [︿/﹀]で「予約一覧」を選び、[決定] を押す

予約一覧が表示され、予約の状況が確認できます。

3 [︿/﹀]で予約番組を選ぶ

→その他の予約一覧の操作 (以下)

録画機器が表示されます。



4 [終了] を押して、予約一覧を終了する

→その他の予約一覧の操作

番組についての説明を見たいとき(詳しくは➡P.31)

日時指定予約の場合ははたらきません。

①[番組説明]ボタンを押す

番組についての説明が表示されます。

②説明画面を消すには、[決定] を押す

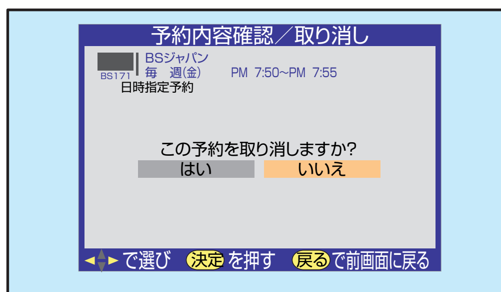
予約を取り消すとき

① [決定] を押す

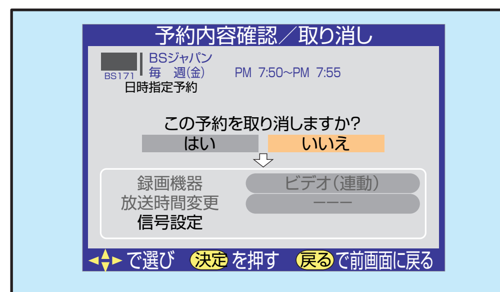
予約内容の画面になります。

画面は予約の種類によって異なります。

②[《/》]で「はい」を選び、[決定] を押す



(例)視聴予約の場合の表示



(例)録画予約の場合の表示

- 予約が取り消され、予約一覧の画面に戻ります。
- 予約を取り消さない場合は、「いいえ」を選び、[決定] を押します。

ポイント

- 予約時間を過ぎると、予約内容は予約一覧から削除されます。
- 地上デジタル放送で、初期スキャン、再スキャン、自動スキャンを行い、チャンネルがなくなった場合は、チャンネル番号が「---」になり、薄く表示されます。予約は実行されません。

予約の動作について

テレビを視聴中に予約が動作する場合について説明します。

予約設定後

本体前面の録画ランプが赤色に点灯します。

予約番組放送開始

- デジタル放送または i.LINK 端子からの信号をご覧の場合には、予約番組の放送開始時刻近くになると、テレビ画面にメッセージを表示してお知らせします。予約を中止する場合は 終了 を押してください。
- 予約番組の放送開始時刻になると自動的にチャンネルが切り換わり、予約した番組が選ばれます。
- 録画予約の場合は、本体前面の録画ランプが青色に点灯します。

ペイ・パー・ビュー番組を視聴予約している場合

決定 を押すと、番組を購入するための画面になります。
[《 / 》]で「購入する」を選び、 決定 を押してください。

視聴制限がはたらいている番組を視聴予約している場合

「この番組には視聴制限があります。」のメッセージが表示されます。
決定 を押した後、0 ～9(11/0 ～ 9)で暗証番号(4桁)を入力してください。

予約実行中

視聴予約の場合

通常どおり操作できます。

録画予約の場合

- 地上アナログ放送やCATV放送の選局ができます。
- 操作できないボタンを押したときは、「＊＊＊を録画中です。 終了 を押すと録画を中止します。」が表示されます。
  操作可能なボタンを押したときは、押したボタンの動作が実行され、録画予約もそのまま続行されます。

録画予約を中止したい場合

① 終了 を押す
「録画実行中です。もう一度 終了 を押すと録画を中止します。」が表示されます。

②メッセージが表示されている間に 終了 を押す
録画予約が中止されます。

予約番組放送終了

予約を終了し、通常どおり使用できます。

- 録画予約が終了すると、本体前面の録画ランプが消灯します。他にも録画予約がある場合は、録画ランプが赤色に点灯します。
- 予約番組の優先順位や注意事項について(➡P.60)

ポイント

録画予約動作中に本機の電源を入れる/切るの操作を行うと、録画中の映像にノイズが入る場合があります。

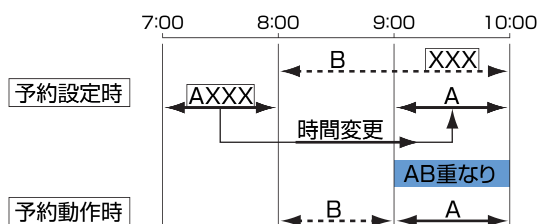
番組を予約する・録画する

予約番組の優先順位について

予約番組の放送時間が変更になって、他の予約番組と重なった場合には、優先順位をつけて予約を実行します。

下図のXXX印は時間変更や予約動作時に取り消されることを示します。
予約の優先順位は次のようになります。

「放送時間変更」を「連動する」に設定した予約番組と、「連動しない」に設定した予約番組が重なった場合

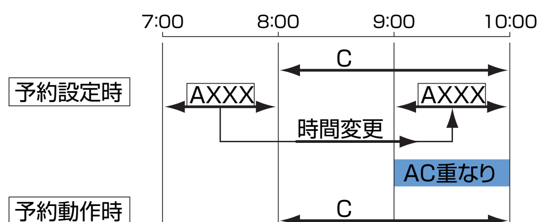


(日時指定予約は「放送時間変更」を「連動しない」にした場合と同じ動作になります。)
「放送時間変更」を「連動する」に設定した予約番組が優先されます。

- 例では、A番組の開始時刻が変更されたため、AとBの番組は9時から10時の間が重なっています。この例ではA番組は「放送時間の変更に連動する」に設定されているので優先されて予約が実行されます。
  したがって、予約実行はB番組が8～9時、A番組が9～10時となります。

「放送時間変更」を「連動する」に設定した複数の予約番組が重なった場合

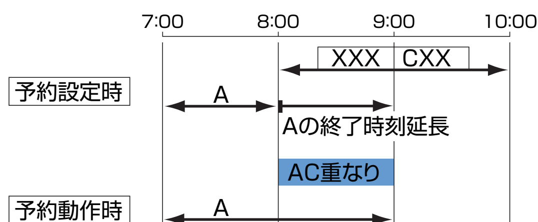
開始時刻が変更された場合



開始時刻の早い予約が優先されます。

- 例では、A番組の開始時刻が変更されたため、AとCの番組は9時から10時の間が重なっています。この場合は開始時刻の早いC番組の予約が優先されて動作し、A番組の予約は取り消されます。

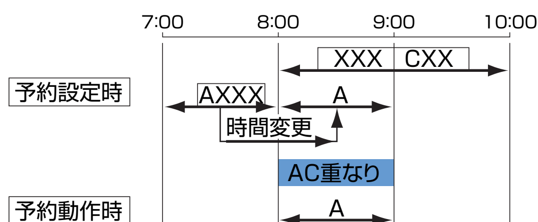
終了時刻が延長された場合



先に予約を実行した番組の終了時刻が優先されます。

- 例では、A番組の終了時刻が変更されたため、AとCの番組は8時から9時の間が重なります。この場合は先に予約を実行したA番組が優先されて動作します。C番組の予約は取り消されます。

複数の予約番組の開始時刻が同じになった場合



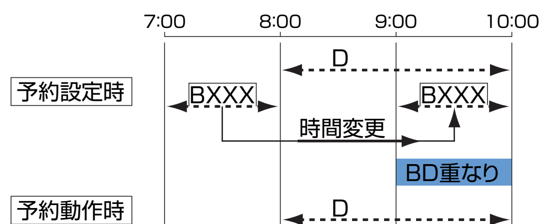
先に予約設定した番組が優先されます。

- 例では、A番組の開始時刻が変更されたため、AとCの番組は8時から9時の間が重なっています。この場合は先に予約設定した番組が優先されて動作し、後に設定した番組の予約は取り消されます。

「放送時間変更」を「連動しない」に設定した複数の予約番組が重なった場合

予約設定時間どおりに予約が実行されます。(放送時間が変更されても、予約は連動しません。)

- 例では、B番組の開始時刻が変更されたため、BとDの番組は9時から10時の間が重なっています。BとDの番組は「放送時間変更」を「連動しない」に設定しているので予約設定時の時間どおりに予約が実行されます。



ポイント

上記の優先順位で取り消された予約については、取り消された理由を「本機に関するお知らせ」でご連絡します。(P.81)

予約についての注意事項

予約全般について

- ライブラリでのコピー実行中には予約の設定はできません。
- 地上デジタル放送で放送局の変更があったときは、正常に予約を実行できない場合があります。また、「自動スキャンする」(P.91)に設定していてもタイミングにより正常に予約を実行できない場合があります。
- 天候・停電・送信側の都合などで、予約を実行できない場合は、「本機に関するお知らせ」(P.81) で連絡します。

視聴予約について

- ライブラリでのコピー実行中には視聴予約は実行されません。
- 録画予約の「放送時間変更」が「連動する」に設定されている場合で、録画している予約番組の放送時間が予定より延長されたために視聴予約の開始時刻と重なった場合、視聴予約が取り消されます。
- 録画予約は本機の電源が入っていなくても指定時刻になると機能しますが、視聴予約の場合は、指定時刻に本機の電源が入っている場合にのみ、機能します。主電源スイッチを「切」にしているときや、待機状態のときには実行されません。
- 一発録画実行中(P.64)は、視聴予約の開始時刻になっても録画を継続します。

録画予約について

共通事項

- アナログ方式での録画予約や一発録画を実行しているときのみ、デジタル放送録画出力端子から映像信号が出るように設定できます。(『設置・接続・設定編』「ビデオ動作の確認」)
- 予約実行され録画が開始されたときに、本機の電源が入っていた場合、予約終了後も電源は入ったままです。
- 録画予約開始時に、i.LINK端子からの信号を視聴していた場合、i.LINKモードを終了します。
- ライブラリでのコピー実行中のときには、コピーを中止して、録画予約を実行します。
- 録画予約実行前に、本機の電源が「待機」だった場合、予約が開始されても映像や音声は出ません。録画予約終了後は「待機」になります。
- 「放送時間変更」を「連動する」に設定した予約番組の開始時刻が遅れている場合は「予約番組の開始が遅れています。このままでお待ちください。」とメッセージ表示される場合があります。
- 「放送時間変更」を「連動する」に設定した場合、リレーサービス(番組終了時間以後、別のチャンネルで引き続きその番組の続きを放送するサービス)には自動で対応します。ただし、リレーサービスの情報送信が遅れた場合は、対応できない場合があります。
- 予約番組の「放送時間変更」を「連動する」に設定しても、追従できる開始時刻は最大3時間までです。3時間を超えると予約が取り消されます。また、放送局から時間変更情報が送信されていない場合は、放送時間の変更に対応できません。
- 放送時間の繰上げや放送中止などが起きた場合には、予約は正しく実行されません。
- 前の予約の終了時刻と次の予約の開始時刻が同じ場合は、前の予約で録画された最後の部分が少し欠けます。
- 録画予約実行中は、地上アナログ放送やアナログCATV放送の選局はできます。それ以外の操作はできないものがあります。

- 録画予約実行中はご案内チャンネルに切り換えることはできません。
- 録画予約実行中は緊急警報放送には対応しません。
- 番組の途中で受信障害になったときや非契約の場合、無信号状態で録画が行われます。
- 日時指定予約の場合はペイ・パー・ビュー番組の購入はできません。
- 録画予約実行中は、データ放送は切り換えられません。
- 本機のデジタル放送録画出力からのアナログ信号をHDDレコーダーなどでデジタル信号に変換して録画した場合、1回の録画しか許可されていない番組は、さらにコピーすることはできません。

i.LINK端子経由でD-VHSビデオなどにデジタル録画予約をする場合

- 「i.LINKについて」も必ずお読みください。
（➡『設置・接続・設定編』「i.LINKについて」）
- HDDビデオレコーダーへの録画開始直前は、i.LINK端子からの信号は視聴できません。
- i.LINK設定の「外部機器からの制御」が「なし」になっている場合、i.LINK接続された機器の動作が不安定になる場合があり、録画予約が正しく実行されなくなります。このような場合は「外部機器からの制御」を「あり」に設定してください。
（➡『設置・接続・設定編』「その他のi.LINK設定」）
- 接続されたi.LINK機器のメーカー名や機器名が正しく表示されていない場合は、i.LINKケーブルを抜き、i.LINK機器の、登録を一度削除してから、i.LINKケーブルを接続し直してください。
（➡『設置・接続・設定編』「登録したi.LINK機器をビデオ1接続に設定する/登録を削除する」）
- 録画予約実行時にテープが走行中の場合は録画できません。
- 録画予約実行時にD-VHSビデオなどが他機器からの制御を受けない設定になっているときは、予約は実行されません。
- 録画予約実行時に、i.LINKケーブルを抜き差ししないでください。
- 録画予約実行時に、録画機器側のi.LINK入力設定が他のi.LINK機器になっている場合は、録画できません。
（詳しくは録画機器の取扱説明書をご覧ください。）
- D-VHSビデオへの録画予約実行中は、i.LINK端子からの信号は視聴できません。
- ペイ・パー・ビュー番組をHDDビデオレコーダーに録画予約設定している場合、録画予約実行時にハードディスクの残量を自動判定して録画ができないと判断されたときには、番組の購入を行いません。
- 複数のi.LINK機器が接続されている場合、i.LINK機器のi.LINK入力が本機以外に設定されていると録画予約や一発録画ができませんのでご注意ください。
- i.LINK接続時、HDDビデオレコーダーの機種によっては、D-VHSビデオとみなされる場合があります。
- i.LINK端子経由でデジタル放送を録画予約実行中に、i.LINKモードにした場合、デジタル放送録画出力端子からは、i.LINKモードで視聴中の信号が出力されます。
- 録画予約終了後、D-VHSビデオなどの電源は録画開始直前の状態になります。（追っかけ再生などで、そのi.LINK機器を操作している場合は電源は、「入」のままです。）
- 著作権保護のため、一回だけ録画を許された番組をさらにコピーすることはできません。HDDビデオレコーダーなどに録画する際はご注意ください。（HDDにコピーワンスプログラムを録画や録画予約する際には、その旨の確認メッセージが表示されます。）
- HDDビデオレコーダーにデジタル録画した場合、ライブラリに表示される情報が正しく記録されなかったときには、ライブラリにそれらの情報は表示されません。
- HDDビデオレコーダーにD-VHSモードで録画した場合は、ハードディスクレコーダーモードでは正しくライブラリ表示できない場合があります。また、ハードディスクレコーダーモードで録画した場合は、D-VHSモードでは正しく表示できないことがあります。（D-VHSモードでリスト表示機能を備えている機器としては、I･O DATA機器のHVR-HD120Sなどがあります。）リスト表示に関しては、接続機器の取扱説明書をご覧ください。

ビデオコントロールケーブルを使ってアナログ方式（VHSやS-VHSなど）で録画予約を行う場合

- ビデオの入力切換を正しく設定し（本機の映像出力をつないでいる入力に切り換える）、ビデオの電源を「切」（待機）にしてください。
- ビデオテープのツメが折れている場合には録画できません。

- 録画予約実行中に、停電が起きたり主電源スイッチを「切」にしたりして、その後本機の主電源スイッチが「入」または待機状態になった場合は、本機は次のように動作します。
  再度電源を入れたときに予約番組が終了していた場合は、本機ではビデオ機器を録画停止したり、電源を切る操作は行いません(録画機器側で設定されている別の予約が中止されるのを防ぐためです)。そのためビデオ機器が録画状態のままになることがあります。
  録画終了後、ビデオ機器側でビデオ機器の電源を切る操作をしてください。
- ビデオ本体で予約設定が行われているとき（ビデオが予約待機状態になっているとき)には、正しく動作しない場合があります。
- 録画予約実行中に雨などの影響で電波が弱くなり、通常の放送が受信できなくなった場合で、降雨対応放送が行われている場合、降雨対応放送に自動的に切り換わります。電波の状態が復帰すると、通常の放送に自動的に戻ります。
- 録画された番組については複数映像、複数音声、二重音声、字幕を切り換えることはできません。

ペイ・パー・ビュー番組の予約について

- 「放送時間変更」は自動的に「連動する」に設定されます。
- ペイ・パー・ビュー番組は、番組が開始した時点で購入されます。視聴しなくても料金は請求されますのでご注意ください。

万一、本機の故障や誤動作などによって正常に録画、録音、再生ができなかった場合、内容および番組購入費の補償についてはご容赦ください。

一発録画(見ている番組を録画する)

ご覧になっているデジタル放送の番組を終了時刻を指定して、ビデオ機器などに簡単操作で録画できます。

一発録画には次の２種類があります。
- アナログ方式(VHSやS-VHSなど)で録画する
- i.LINK端子経由で録画機器(D-VHSビデオなど)にデジタル録画する

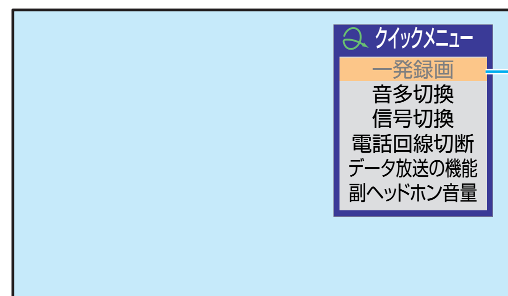
それぞれ、一発録画する前に準備が必要です。「録画をする前の準備」(➡P.50)

「一発録画についての注意事項」もよくお読みください。(➡P.67)



1 録画するデジタル放送を受信している状態で、クイック を押す

クイックメニューが表示されます。



録画できない番組の場合、「一発録画」は薄く表示されます。

2 [︿/﹀]で「一発録画」を選び、決定 を押す

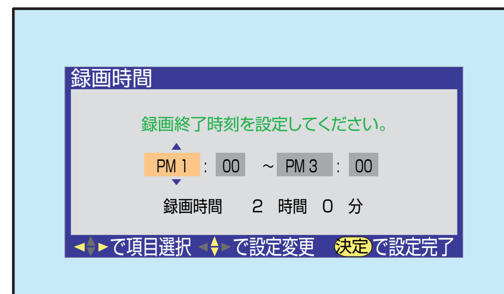
番組によっては、録画できない場合があります。(その場合は、メッセージが表示されます。)

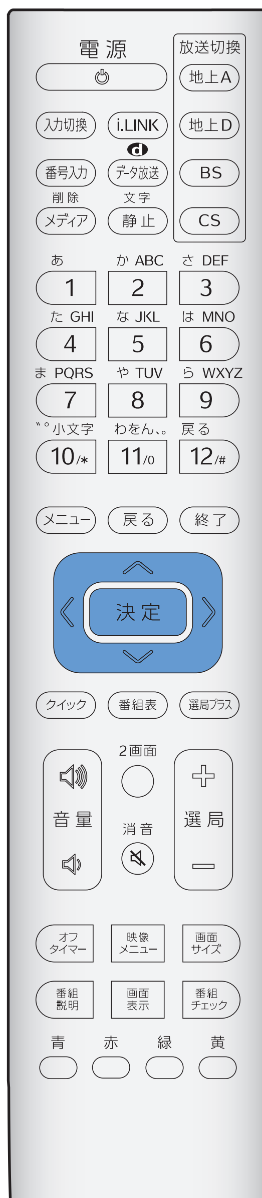
3 録画の終了時刻を設定する

最初は、2時間が表示されています。

①[《 / 》]で終了時刻の設定場所を選ぶ
②[︿/﹀]で「時」を設定する
③①②と同様の操作で「分」を設定する
④ 決定 を押す

設定できる時間の最大は23時59分です。設定できる時刻に誤りがある場合は、メッセージが表示されます。決定 を押して、終了時刻の設定をやり直してください。



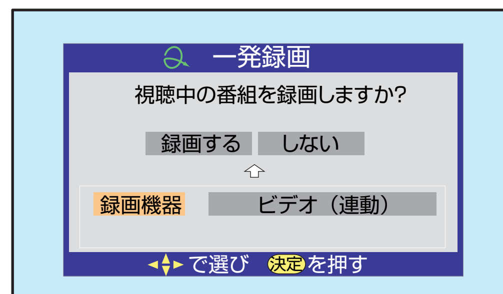


4 録画機器を指定する

●アナログ方式(VHSやS-VHSなど)で録画する場合

(「ビデオ(連動)」または「ビデオ(非連動)」が表示されていない場合のみ設定します。)

①[︿/﹀]で「録画機器」を選び、決定 を押す



②[︿/﹀]で「ビデオ(連動)」、または「ビデオ(非連動)」を選び、決定 を押す

- 「ビデオ機種設定」でメーカーを設定した場合は「ビデオ(連動)」が表示されます。(➡『設置・接続・設定編』「ビデオ機種設定」)
- 「該当なし」にした場合は「ビデオ（ 非連動 ）」が表示されます。この場合は、ビデオ側での録画の操作が必要となります。ビデオで録画を開始してから 決定 を押してください。録画の停止も録画機器側で行ってください。(➡『設置・接続・設定編』「ビデオ機種設定」)

●i.LINK端子経由でD-VHSビデオなどにデジタル録画する場合

①[︿/﹀]で「録画機器」を選び、決定 を押す

②[︿/﹀]で録画に使用するi.LINK機器に設定し、決定 を押す

5 「録画をする前の準備」(➡P.50)ができているか確認する

6 [︿/﹀/《/》]で「録画する」を選び、決定 を押す

録画が始まります。本体前面の録画ランプが青色に点灯します。

- 録画機器によっては、録画が開始されるまでにしばらく時間がかかる場合があります。
- 設定した終了時刻になると録画も自動的に終了し、録画機器の電源が元の状態(「切」または待機状態)になります。(i.LINK端子経由で録画している場合、本機での操作により、HDDビデオレコーダーの追っかけ再生などを行っているときには電源は「入」のままです。)

次の画面が表示されたとき

「転送レートを超えているため録画できません。録画機器を変更してください。」	選んだ番組の情報量が、指定した機器の処理能力を超えているためデジタル録画予約することはできません。複数のi.LINK機器を登録している場合は、他のi.LINK機器を選択してください。(➡P.65)
「この番組は1回のみ録画できます。そのためHDDに録画した後、他の録画機器にデジタル録画できません。」	「録画機器」に、i.LINK接続されているHDDビデオレコーダーを選んだ場合で、かつ1回だけデジタル録画できる番組を録画した場合は、HDDビデオレコーダーからさらに他の録画機器にデジタル録画はできません。
「i.LINK制御機能が正しく動作していません。番組を正常に送受信できない場合があります。詳しくは取扱説明書をご覧ください。」	i.LINK処理に用いる内部情報が壊れています。エプソンダイレクトリビングステーションサポートセンターにエラー表示をご説明のうえ、修理の相談をしてください。(➡P.123)

ご注意

■アナログ方式(VHSやS-VHSなど)での録画について
- i.LINK 端子経由で録画しているときに、接続状態が不安定になると電源が録画開始前の状態にならない場合があります。
- 独立データ放送は一発録画できません。
- 番組連動データ放送の場合、映像や音声は録画できますが、データで送られている文字などの情報は録画できません。

一発録画を中止したい場合



1 終了 を押す

次のメッセージが表示されます。
「録画実行中です。もう一度 終了 を押すと録画を中止します。」

2 メッセージが表示されている間に、もう一度 終了 を押す

一発録画が中止されます。

一発録画についての注意事項

- 「i.LINK について」も必ずお読みください。(➡『設置・接続・設定編』「i.LINKについて」)
- i.LINK 端子経由でデジタル録画をする場合は、録画機器側のi.LINK入力設定が他のi.LINK機器になっていないことを確認してください。詳しくは、録画機器の取扱説明書をご覧ください。
- アナログ方式での録画予約や一発録画を実行しているときのみ、デジタル放送録画出力端子から映像信号が出るように設定できます。(➡『設置・接続・設定編』「デジタル放送録画出力の設定」)
- テープが走行中の時には、一発録画はできません。
- HDDビデオレコーダーへの録画開始直前は、i.LINK端子からの信号は視聴できません。
- ペイ・パー・ビュー番組の場合は、購入してから一発録画の操作をしてください。(購入しないと一発録画はできません。)また、番組によってはコピー禁止のため録画できない場合がありますので、あらかじめ購入する前に[画面表示]ボタンで番組情報をご確認ください。
- 番組によってはデジタル録画できない場合があります。
- ビデオ本体で予約設定をしているとき（ビデオが予約待機状態になっているとき)には、正しく動作しない場合があります。
- 一発録画実行中に、停電が起きたり主電源スイッチを「切」にしたりして、その後本機の主電源スイッチが「入」または待機状態になった場合は、一発録画を中止します。
  このような場合、本機ではビデオ機器を録画停止したり、電源を切る操作は行いません。そのためビデオ機器が録画状態のままになることがあります。ビデオ機器側でビデオ機器の電源を切る操作をしてください。
- アナログ方式(VHSやS-VHSなど)で録画中に雨などの影響で電波が弱くなり、通常の放送が受信できなくなった場合で、降雨対応放送が行われているときは、降雨対応放送に自動的に切り換わります。電波の状態が復帰すると、通常の放送に自動的に戻ります。
- 一発録画実行中は、地上アナログ放送、CATV 放送の選局はできます。それ以外の操作はできないものがあります。
- 一発録画実行中は、データ放送には切り換えられません。
- 一発録画実行中に ⏻ を押して、電源を切/入の操作をしても録画は続行されます。
- D-VHS ビデオへの一発録画実行中は、i.LINK 端子からの信号は視聴できません。
- 一発録画実行中に録画予約の開始時刻になると、一発録画は中止されます。
- 一発録画実行中に視聴予約またはダウンロード予約の開始時刻になると、その予約を取り消します。その場合、「本機に関するお知らせ」(➡P.81)でご連絡します。
- 一発録画中に受信障害が発生したり、B-CAS カードが抜かれたりした場合でも録画動作は継続されます。ただし、映像と音声は録画できません。
- 一発録画中は、i.LINK ケーブルを抜き差ししないでください。
- i.LINK端子経由でデジタル放送を一発録画中に、i.LINKモードにした場合、デジタル放送録画出力端子からは、i.LINKモードで視聴中の信号が出力されます。
- 一発録画終了後、D-VHS ビデオなどの電源は録画開始直前の状態になります。(追っかけ再生などでそのi.LINK機器を操作している場合は電源は「入」のままです。)
- 一発録画では緊急警報放送は受信できません。
- HDDビデオレコーダーにデジタル放送を録画する場合は、番組単位で録画されます。
- i.LINK 接続時、HDDビデオレコーダーの機種によっては、D-VHS ビデオとみなされる場合があります。
- ライブラリでのコピー中 (➡P.97) は、一発録画はできません。
- 著作権保護のため1回だけ録画を許された番組を、さらにコピーすることはできません。HDDビデオレコーダーに録画する際はご注意ください。(HDDビデオレコーダーにコピーワンスプログラムをi.LINKで録画または録画予約する際には、その旨の確認メッセージが表示されます。)
- HDDビデオレコーダーにデジタル録画した場合、ライブラリに表示される情報が正しく記録されなかったときには、ライブラリ(➡P.95)にそれらの情報は表示されません。
- HDD ビデオレコーダーに D-VHS モードで録画した場合は、ハードディスクレコーダーモードでは正しくライブラリ表示できない場合があります。
- 本機のデジタル放送録画出力からのアナログ信号をＨＤＤレコーダーなどでデジタル信号に変換して録画した場合、１回の録画しか許可されていない番組は、さらにコピーすることはできません。
- 万一、本機の故障や誤動作などによって正常に録画、録音、再生ができなかった場合、その内容の補償についてはご容赦ください。

データ放送を楽しむ

データ放送は、放送の種類によって操作方法が異なります。画面に表示される指示にしたがって操作してください。
ここでは、次の操作について説明します。

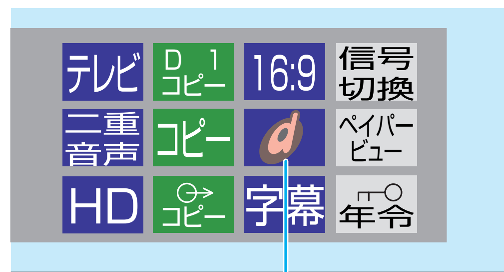
- データ放送の番組連動データ放送を呼び出す(➡以下)
- 独立データ放送を呼び出す(➡P.69)
- 現在視聴しているデータ放送やデータ放送に関連したサービスを記憶しておき、いつでも呼び出すことができるブックマーク機能(➡P.70)
- 双方向通信機能を使って本機から放送局にデータを送るときに、いったん本機にデータ保存し、あとで送信することができる登録発呼機能(➡P.71)
  登録発呼は、登録発呼一覧から発呼したい項目を選んで行います。そのときに発呼する方法と予約発呼する方法があります。（予約発呼する場合、予約の時間は指定できません。）

番組連動データ放送を呼び出す



1 [画面表示]ボタンを押してアイコンを確認する

- アイコンが表示されている場合でも、放送信号に番組連動データ放送がない場合があります。
- データ取得中は画面に マークが表示されます。データ取得が終了すると表示は消えます。



2 データ放送 を押す

- 番組連動データ放送がはじまります。
- 放送によっては、データ放送 を押さなくても自動的にデータ放送がはじまる場合もあります。

3 画面に表示される操作指示にしたがって、操作をする

●データ放送を終了する場合

終了 を押します。

ポイント

- 録画予約、一発録画実行中は、データ放送には切り換えられません。
- 有効期限が切れたブックマークや登録発呼があるときは、操作中に、削除する旨のメッセージが表示されます。メッセージにしたがって操作してください。
- 番組によって、電話回線の使用料がかかる場合があります。
- 2画面や静止画表示などでは、データ放送は操作できません。
- データ放送サービスでは、放送局からの情報を本機に記憶し、更新できる番組などがあります。（例：ゲームのスコアやお客様のポイントなど）
  それらの情報の更新は、電源が待機状態のときに行われる場合もあります。主電源スイッチを「切」にすると正しく情報が更新されない場合があります。
- データ放送受信中は、リモコンや本体の一部のボタンが動作しない場合があります。
- 画面に表示される操作指示で、「データ放送ボタン」「データボタン」「 ボタン」と表示されている場合は、データ放送 を押して操作してください。

独立データ放送を呼び出す



1 データ放送の番組を選ぶ

- 選局のしかたは「番組表で選ぶ」(➡P.19) や「現在放送されている番組の一覧から選ぶ」(➡P.29)などをご覧ください。
- データ取得中は画面に マークが表示されます。データ取得が終了すると表示は消えます。

2 画面に表示される操作指示に従って、操作をする

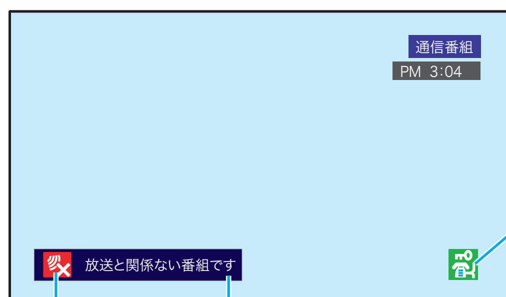
●データ放送を最初から受信し直す場合

終了 を押す

地上デジタル放送の双方向通信サービスについて

地上デジタル放送の双方向通信サービスには、リンク型と非リンク型の2つの種類があります。

- リンク型サービス：放送番組に関連した通信サービス
- 非リンク型サービス(通信番組)：放送番組とは関係のない通信サービス



本機はSSL(SecureSocketsLayer)などの暗号通信に対応しています。その場合はアイコンが表示されます。

数秒間表示され消えます。

放送の映像・音声などは参照できません。アイコン等が表示されます。

運用規程どおりでないサービスの場合には、正しく表示されないことがあります。

ブックマーク機能を使う

ブックマーク記録をする

1 画面でブックマーク付きのサービスであることを確認する

デジタルのデータ放送視聴中で、ブックマークがあることが画面表示されているときにブックマーク記録ができます。（お知らせのしかたはデータ放送サービスによって異なります。）

2 画面の操作説明に従って、ブックマーク記録を行う

記録したブックマークを使う



1 クイック を押し、[︿/﹀]で「データ放送の機能」を選び、決定 を押す

2 [︿/﹀]で「ブックマーク」を選び、決定 を押す

ブックマーク画面が表示されます。
記録されたブックマークがない場合は、その旨のメッセージが表示されます。

→ブックマークの使い方（以下）



表示の上、下に▲・▼マークがある場合は、[︿/﹀]でページを変えることができます。

→ブックマークの使い方

ブックマークにジャンプするには

[︿/﹀]で記録されたブックマークを選び、決定 を押す

リンク先のチャンネルや通信サービスにジャンプします。リンク先のチャンネルや通信サービスが存在しない場合は、ジャンプすることができません。
リンク先がない場合はその旨のメッセージが表示されます。

ブックマークを保護する（保護を解除する）には

[︿/﹀]で保護する（保護を解除する）ブックマークを選び、赤 を押す

赤 を押すごとに、保護⇔保護解除と交互に切り換わります。

保護されると、🔒が表示されます。

ブックマークについての説明を見るには

①[︿/﹀]で説明を見たいブックマークを選び、緑 を押す
②前画面に戻るには、決定 を押す

ブックマークを削除するには

① [︿/﹀]で削除したいブックマークを選ぶ（すべて削除する場合は選ぶ必要はありません。）
② 青 を押す
③[《/》]で項目を選び、決定 を押す
「はい」を選ぶと選んでいるブックマークが削除されます。
「すべて削除」を選ぶと、削除確認メッセージが表示されます。[《/》]で「はい」を選び、決定 を押すと、記録されているすべてのブックマークが削除されます。
保護されている場合は削除できません。（保護されているブックマークを選んで削除しようとした場合は、メッセージが表示されます。）保護を解除した後削除してください。

登録発呼機能を使う

登録発呼は、本機の電源が入っているとき、または待機状態のときのみ動作します。



1 クイック を押す

2 [︿/﹀]で「データ放送の機能」を選び、決定 を押す

3 [︿/﹀]で「登録発呼」を選び、決定 を押す

登録発呼画面が表示されます。
記録された登録発呼がない場合は、その旨のメッセージが表示されます。

→登録発呼機能の使い方（以下）

→登録発呼機能の使い方

登録発呼をする/登録発呼の予約をするには

①[︿/﹀]で登録発呼を選び、決定 を押す
　予約済みの登録発呼を選んだ場合は予約取り消しになります。（➡P.72）
②[《 / 》]で「発呼する」または「予約する」を選び、決定 を押す

- 「発呼する」を選んだ場合
  すぐに登録発呼を行います。
  通信回線を他で使用しているときには、発呼はできません。
- 「予約する」を選んだ場合
  「登録発呼の予約が完了しました。」というメッセージを読んだ後、決定 を押す。
  「予約する」に設定すると、が表示されます。

放送サービスをお楽しみいただくために

→登録発呼機能の使い方

登録発呼についての説明を見るには

①[︿/﹀]で登録発呼を選び、緑 を押す
選択した登録発呼についての詳細が表示されます。
[︿/﹀/《/》]でページを切り換えることができます。
②詳細説明画面を消すには、決定 を押す

登録発呼を保護する(保護を解除する)には

[︿/﹀]で保護する(保護を解除する) 登録発呼を選び、赤 を押す
赤 を押すごとに、保護⇔保護解除と交互に切り換わります。
保護されると、🔒が表示されます。

登録発呼の予約を取り消すには

①[︿/﹀]で予約済み登録発呼を選び、決定 を押す
②[《/》]で「はい」を選び、決定 を押す
予約されていた登録発呼が取り消されます。
③ 終了 を押して、終了する

登録発呼を削除するには

①[︿/﹀]で削除したい登録発呼を選ぶ(すべて削除するの場合は選ぶ必要はありません。)
② 青 を押す
③[《/》]で項目を選び、決定 を押す
「はい」を選ぶと、選んでいる登録発呼が削除されます。
「すべて削除」を選ぶと削除確認メッセージが表示されます。[《/》]で「はい」を選び、決定 を押すと、記録されているすべての登録発呼が削除されます。
- 保護されている場合は削除できません。(保護されている登録発呼を選んで削除した場合は、メッセージが表示されます。)保護を解除した後削除してください。
- 選択した登録発呼が発呼の動作をしているときは、削除できません。

放送サービスをお楽しみいただくために

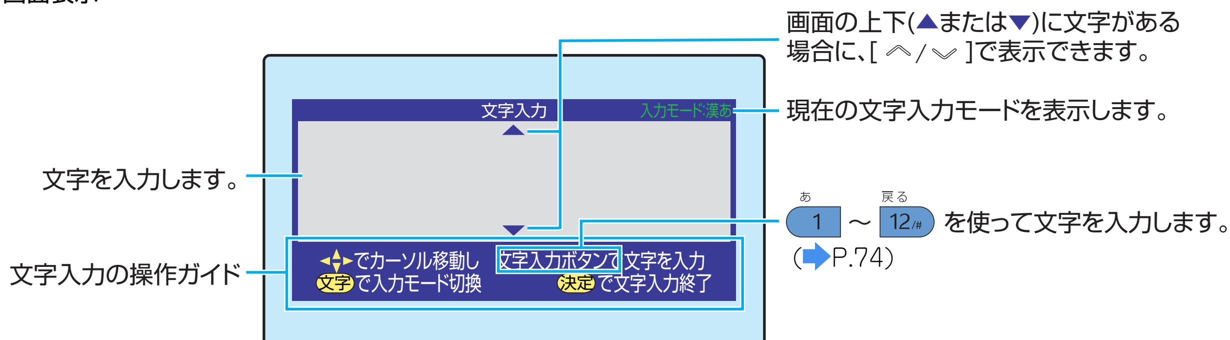
ポイント

- 発呼先のチャンネルが存在しない場合(休止中の場合など)は、チャンネル番号が「－－－」になりますが、発呼は通常どおり行われます。
- 登録発呼するときは、電話料金がかかる場合があります。
- 登録発呼を予約設定した後、接続に 3 回失敗した場合は、画面にアイコン が表示されます。この場合は、登録発呼は行われませんので、再度登録発呼の操作を行ってください。(➡P.71)

文字入力のしかた

文字入力は、データ放送や『設置・接続・設定編』「通信接続設定」で使われます。
文字入力は、数字ボタンで行います。文字入力の画面が表示された場合は、以下のように操作してください。

文字入力画面表示





1 [︿/﹀/《/》]で文字入力したい位置にカーソルを移動させ、決定を押す

データ放送によっては、自動的に文字入力画面が表示される場合や、この操作ではなく放送内で指定された操作によって文字入力する場合があります。

2 文字 静止 を押す

文字入力モードのリストが表示されます。



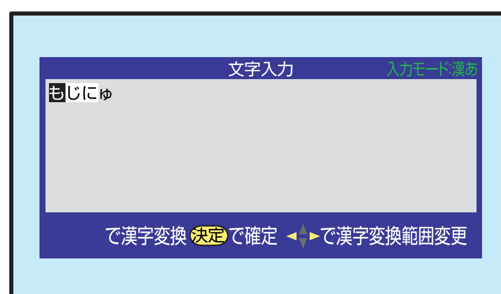
3 [︿/﹀/《/》]で文字入力モードを選び、決定を押す

繰り返し 文字 静止 を押して選択することもできます。
決定 を押して文字入力モードを確定する前に、数字ボタンで文字を入力した場合も文字入力モードを確定できます。

→文字入力モードの使い方 (P.74)

4 文字を入力する

文字入力中に入力モードを切り換えて別のモードで入力する場合は、文字 静止 を押してモードを切り換えます。



5 決定 を押して、文字入力を終了する

文字入力画面が消えます。

→文字入力モードの使い方

使用できる文字入力モードは、表示される画面により異なります。

文字入力モード	入力できる文字
漢あ	ひらがなや漢字を入力できます。
カナ	カタカナを入力できます。
ａＡ	全角の英字を入力できます。
abAB	半角の英字を入力できます。
１２	全角の数字を入力できます。
1234	半角の数字を入力できます。
全角記号	全角の記号を入力できます。
半角記号	半角の記号を入力できます。

「、」「。」「ー」、スペースは「漢あ」「aA」「abAB」などでも入力できます。

入力できる文字

複数の文字が割り当てられている数字ボタンは、押すたびに次の順番で文字が切り換わります。最後の候補までいくと最初の候補に戻ります。

数字ボタン	文字入力モード							
	漢あ	カナ	ａＡ	abAB	１２	1234	全角記号	半角記号
あ 1	あいうえお ぁぃぅぇぉ	アイウエオ ァィゥェォ	—	—	1	1	記号を選択する画面が表示されるので、[︿/﹀/《/》]で記号を選び、決定を押す	
か ABC 2	かきくけこ	カキクケコ ヵヶ	ａｂｃ ＡＢＣ	abcABC	2	2		
さ DEF 3	さしすせそ	サシスセソ	ｄｅｆ ＤＥＦ	defDEF	3	3		
た GHI 4	たちつてと っ	タチツテト ッ	ｇｈｉ ＧＨＩ	ghiGHI	4	4		
な JKL 5	なにぬねの	ナニヌネノ	ｊｋｌ ＪＫＬ	jklJKL	5	5		
は MNO 6	はひふへほ	ハヒフヘホ	ｍｎｏ ＭＮＯ	mnoMNO	6	6		
ま PQRS 7	まみむめも	マミムメモ	ｐｑｒｓ ＰＱＲＳ	pqrsPQRS	7	7		
や TUV 8	やゆよ ゃゅょ	ヤユヨ ャュョ	ｔｕｖ ＴＵＶ	tuvTUV	8	8		
ら WXYZ 9	らりるれろ	ラリルレロ	ｗｘｙｚ ＷＸＹＺ	wxyz WXYZ	9	9		
わをん、。 11/0	わをん ゎ、。ースペース	ワヲン ヮ、。ースペース	、。ースペース	、。-スペース	0	0		
゛゜小文字 10/*	゛ ゜ 小⇔大文字変換※1	゛ ゜ 小⇔大文字変換※1	小⇔大文字変換※1		＊	＊		
戻る 12/#	逆戻し※2				＃	＃		

※1 小文字(大文字)を入力したあと、゛゜小文字 10/* を押すと小⇔大を切り換えることができます。
※2 文字入力中や変換中に文字を送り過ぎた場合に、逆方向へ戻します。

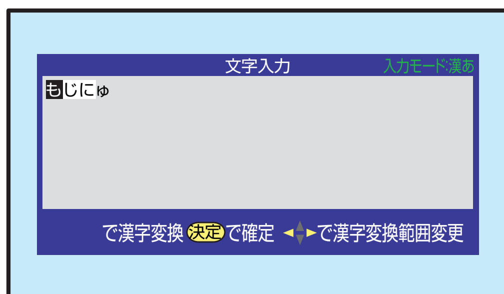
1つの数字ボタンに割り当てられている文字を続けて入力する場合

例)「あい」と入力する場合

① あ 1 を押して「あ」と入力する
②[》]を押してカーソルを右に移動させる
③[﹀]を2回押して「い」と入力する

→文字入力モードの使い方

濁音、半濁音を入力する場合



例)「は」を「ば」、「ぱ」にする

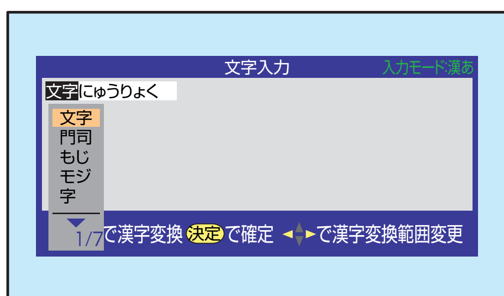
① [は MNO 6] を押して「は」と入力する

② [゛゜小文字 10] を押して「ば」に変換する

② [゛゜小文字 10] を押して「ぱ」に変換する

濁点、半濁点のつかない文字は変換することができません。

漢字に変換する場合



①「漢あ」モードにして文字を入力する

②[﹀]を押し、変換する漢字を選ぶ

［︿］を押すと逆回りになります。

③希望の漢字が表示されたら [決定] を押す

希望する漢字に変換されない場合

文字を変換する範囲を変更して、再変換します。

［《 / 》］を押すと文字を変換する範囲が変わります。［︿/﹀］で再変換してください。

文字の挿入、削除をする場合

- 文字の挿入

  ［︿/﹀/《 / 》］で文字を挿入する位置を選び、文字を入力する
- 文字の削除

  ［︿/﹀/《 / 》］で削除する文字を選び、[削除 メディア] を押す

  押し続けるとカーソルがある文字列を一度に削除できます。

入力できる文字数について

入力できる文字数を超えた場合は、メッセージが表示されます。

データ放送画面で数字を入力する場合

0～9([わをん、。 11/0] ～ [ら WXYZ 9])を入力する場合、放送によっては、文字入力画面を表示しないで、次のように文字を直接入力する場合があります。

①文字入力したい位置にカーソルを［︿/﹀/《 / 》］で移動させる

②0～9([わをん、。 11/0] ～ [ら WXYZ 9])を押して、直接入力する

ご注意

データ放送で文字入力をしているときのボタン操作については次のようになります。

[⏻]	[終了]	[メニュー]/［選局＋/－］
入力された文字は破棄され、電源は待機状態になります。	入力された文字は破棄されます。 独立データの場合：データ放送を再受信します。 連動データ放送の場合：データ放送を終了します。	入力された文字が破棄され、押されたボタンの動作をします。

ペイ・パー・ビュー番組を楽しむ

ペイ・パー・ビューとは、「見るたびに支払う」という意味で、番組ごとに視聴料金を払って購入する番組のことです。
見たい番組についてだけ料金を払ってご覧になることができます。

ペイ・パー・ビュー番組を購入するための準備

お客様登録をしてください。
付属の「お客様登録のお願い」のハガキでお客様登録が行えます。（➡『設置・接続・設定編』「付属品の確認」）

ペイ・パー・ビュー番組を購入するには

「ペイ・パー・ビュー番組を購入する」（➡以下）の操作で購入してください。

番組に複数の映像、音声、データ信号がある場合

購入した番組に複数の映像、音声、データ信号がある場合は基本以外の信号を視聴するために、追加料金が必要な場合があります。（P.34で視聴したい信号を購入できます。）

ペイ・パー・ビュー番組の録画について

ペイ・パー・ビュー番組の録画には、次の3通りのサービスがあります。

- 録画できるもの
- 録画できないもの
- 追加料金を払えば録画できるもの（録画購入）

ペイ・パー・ビュー番組によっては、デジタル録画ができない場合があります。

「録画購入」について

視聴購入の場合とは、料金が別の場合があります。料金は画面の表示で確認できます。購入のしかたは、「ペイ・パー・ビュー番組を購入する」（➡以下）をご覧ください。

番組購入後の変更について

- 番組購入後の取り消しはできません。
  ただし、録画予約したペイ・パー・ビュー番組で、まだ番組が始まっていない場合には、予約取り消しができます。（➡P.58）
- 番組購入後は、「視聴購入」、「録画購入」の変更はできません。

番組購入限度額を設定するには

ペイ・パー・ビュー番組の1番組ごとの購入限度額を設定できます。設定のしかたは、「番組購入限度額の設定」をご覧ください。（➡『設置・接続・設定編』「番組購入限度額の設定」）

番組購入履歴を見るには

ペイ・パー・ビュー番組を購入した履歴を画面で見ることができます。（➡P.79）

放送サービスをお楽しみいただくために

ペイ・パー・ビュー番組を購入する



1 ペイ・パー・ビュー番組を選ぶ

→ペイ・パー・ビュー番組の購入のしかた（P.78）

2 決定 を押す

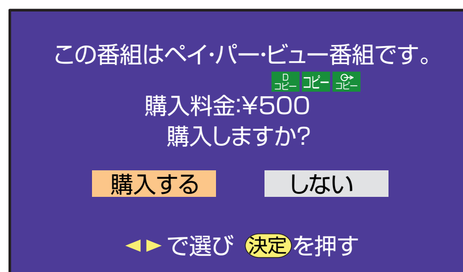
●メッセージが表示された場合
① 決定 を押す
暗証番号入力の画面になります。
② 0～9（11 ～ 9）で暗証番号（4桁）を入力する

この番組には視聴制限があります。
・番組購入限度額を超えています。
視聴するには 決定 を押す



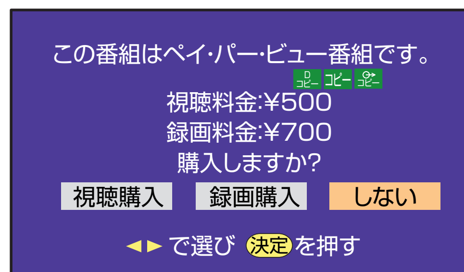
3 次の操作を行う

●下の画面が表示されている場合



[《 / 》]で「購入する」を選ぶ
（購入しない場合は、「しない」を選んでください。）

●下の画面が表示されている場合



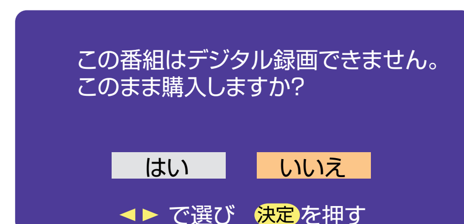
録画するためには視聴とは別の料金が必要です。
[《 / 》]で、「視聴購入」か「録画購入」を選ぶ
（購入しない場合は、「しない」を選んでください。）

4 決定 を押して、操作を終了する

「番組を購入しました。」が表示されます。

●デジタル録画できない番組の場合

D-VHSビデオやHDDビデオレコーダーがi.LINK登録されていて、i.LINK端子経由でデジタル録画できない番組（デジタル録画が禁止されている番組）の場合には、右の画面が表示されます。

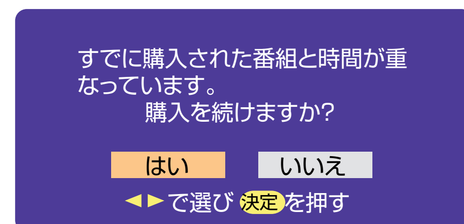


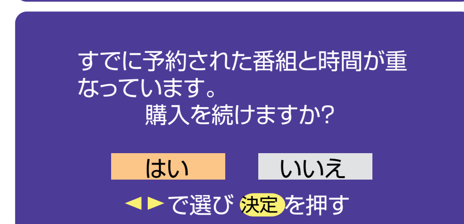
購入する場合は、[《 / 》]で「はい」を選んで、決定 を押してください。

- アナログ録画、デジタル録画については、「一発録画（見ている番組を録画する）」（➡P.64）をご覧ください。
- 番組によっては、録画が制限される場合があり、その内容は番組説明画面で確認できます。（➡P.31）

●すでに購入している番組や予約している番組と時間が重なっている場合

決定 を押すと、右のメッセージが表示されます。
購入する場合は、[《 / 》]で「はい」を選んで、決定 を押してください。





ポイント

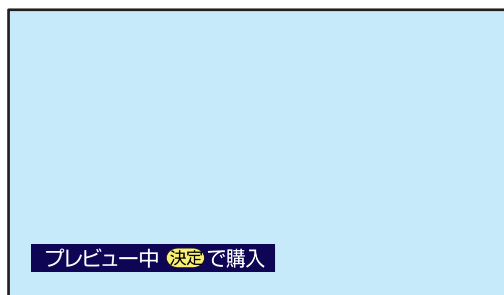
■プレビューについて
番組によっては、番組を選んだときに、しばらくの間視聴できる場合があります。これをプレビューといいます。
プレビューは、番組購入の前に番組内容を確認するのに便利です。
(プレビューが終わった後、チャンネルを変え、その後もう一度同じ番組を選んでも、プレビューを見ることはできません。)

■番組を購入できる時間について
番組によっては、購入できる時間が番組開始からある時間までに限られている場合があります。
その場合、それ以降は購入できませんのでご注意ください。

■暗証番号について
ペイ・パー・ビュー番組の購入と、視聴年齢制限設定、番組購入限度額設定、双方向サービス制限設定、すべての初期化で使用する暗証番号は同じものです。

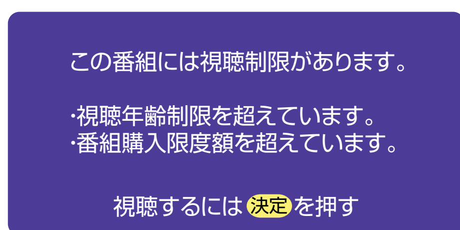
→ペイ・パー・ビュー番組の購入のしかた

プレビュー中の場合



購入する場合は、P.76手順2に進んでください。

視聴制限がはたらいている場合



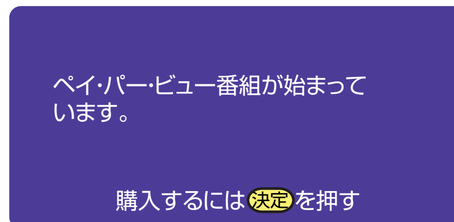
番組を購入する場合は、次の操作を行ってください。

① 決定 を押す
暗証番号入力の画面になります。

②0～9(11/0 ～ 9)で暗証番号(4桁)を入力する
間違って入力した場合は、[ ]を押して1桁目から入力し直してください。

- 入力後、P.76手順3に進んでください。
- 次のメッセージが表示された場合は、それぞれの設定をしてください。(➡『設置・接続・設定編』「暗証番号の設定」「視聴年齢制限の設定」)
「暗証番号の設定」や「視聴年齢制限の設定」が必要です。

番組が始まっている場合



購入する場合は、P.76手順2に進んでください。

メッセージが表示されて、番組購入ができない場合

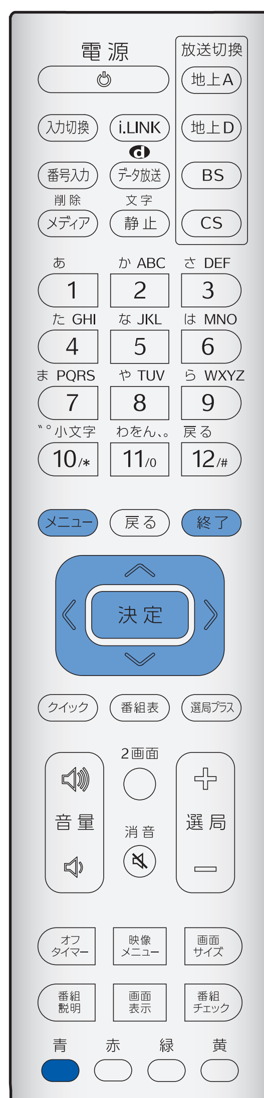
次の場合には番組を購入できません。

- 契約していない番組の場合
- 番組を購入できる時間が終了している場合
- 電話回線が正しく接続されていないため、購入情報が送信されていない場合
  - ・「番組購入情報の送信」(➡P.80)を行ってください。
  - ・電話回線の接続と設定を確認してください。(➡『設置・接続・設定編』「電話回線の接続」「電話回線設定」)

番組購入履歴を見る

ペイ・パー・ビュー番組を購入した履歴を画面で見ることができます。

- 番組購入履歴には32番組まで保存されます。
  32番組を超えた場合は、古いものから順番に削除されます。
- 購入料金表示には、信号を追加で購入した場合の料金(➡P.34)も含みます。



1 「番組購入履歴」画面を表示する

① [メニュー] を押す。
②[︿/﹀/《/》]で「設定メニュー」を選び、[決定] を押す。
③[《/》]で「視聴設定」を選んだあと、[︿/﹀]で「番組購入履歴」を選び、[決定] を押す。

2 番組購入履歴を見る

購入状況が以下のように表示されます。

- **購入済み**
- **購入エラー**
  録画予約実行時に受信障害、停電、番組が放送されなかったなどの理由で購入されなかった場合に表示されます。
  この場合は購入料金はかかりません。
- **取消**
  録画予約実行前に、取り消された場合に表示されます。

番組購入履歴

BS103	日本映画名作選 5月16日(金)AM 10:00~AM 11:30	¥500	購入済み
BS102	千年紀特集 5月16日(金)AM 9:00~AM 10:00	¥500	購入済み
BS103	野球が大好き! 5月16日(金)AM 8:00~AM 9:00	¥500	購入済み
BS102	BSクラシック 5月16日(金)AM 7:00~AM 8:00	¥500	購入済み

でページ切換 決定で前画面に戻る 青削除

表示の上、下に▲・▼マークがある場合は、[︿/﹀]でページを変えることができます。

→番組購入履歴をすべて削除したい場合 (以下)

3 [終了] を押し、番組購入履歴を終了する

前の画面に戻るときは、[決定] を押します。

→番組購入履歴をすべて削除したい場合

①上記の手順2の画面表示中に [青] を押す
②[《/》]で「はい」を選ぶ
③ [決定] を押す
番組購入履歴がすべて削除されます。
④通常画面に戻るには [終了] を押す

放送サービスをお楽しみいただくために

番組購入情報の送信

通常、番組購入情報は電話回線を通じて自動的にセンターに送られます。
何らかの事情で、自動送信ができなかった場合は、次の手順で送信をしてください。

番組購入情報が送信されていない場合は、「本機に関するお知らせ」(➡P.81)でお知らせします。
あらかじめ電話回線が正しく接続されていることを確認してください。(➡『設置・接続・設定編』「電話回線の接続」)



1 メニュー を押し、[︿/﹀/《/》]で「設定メニュー」を選び、決定 を押す

設定メニューが表示されます。

2 [《/》]ボタンで「視聴設定」を選んだあと、[︿/﹀]ボタンで「番組購入情報の送信」を選び、決定 を押す

- メッセージに応じて 決定 を押してください。
- 送信が終了して、決定 を押すと設定メニュー画面に戻ります。

3 終了 を押して、調整を終了する

■次のメッセージが表示された場合
送信時に表示されるメッセージと対処方法を説明します。

メッセージ	対処方法
番組購入情報を送信する必要はありません。	現在は、番組購入情報を送信する必要はありません。
センターと通信できません 電話機コードの接続が正しくない場合があります。詳しくは取扱説明書をご覧ください。 コード：E301	電話回線の接続および電話回線設定を参照し、もう一度接続設定の状態を確認してください。(➡『設置・接続・設定編』「電話回線の接続」、「電話回線設定」)
B-CASカスタマーセンターに番組購入情報を送信することができませんでした。 詳しくは取扱説明書をご覧ください。	B-CASカスタマーセンターとの通信中にエラーが発生しました。もう一度電話コードの接続を確認してください。


ポイント

B-CASカスタマーセンターについては、カードが貼ってある台紙の説明をご覧ください。

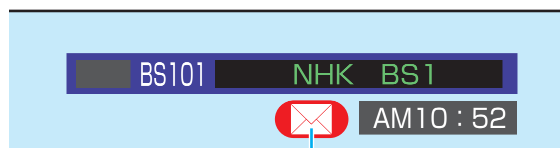
お知らせ(放送局からのお知らせ、本機に関するお知らせ、ボード)を見る

放送局からお客様へのお知らせや、本機に関するお知らせが送られてきます。
お知らせには、以下の3種類があります。

- **放送局からのお知らせ：** 放送局からお客様へのお知らせ
- **本機に関するお知らせ：** 本機のチャンネル設定の変更や通信の状態、予約状態など
- **ボード：** 110度CSデジタル放送のご案内やお知らせ

■未読の「お知らせ」があるとき(ボード以外)

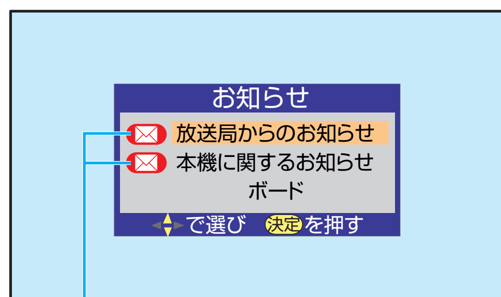
選局したときや、〔画面表示〕ボタンを押したときに、「お知らせ」アイコンが表示されます。



未読の「お知らせ」アイコン



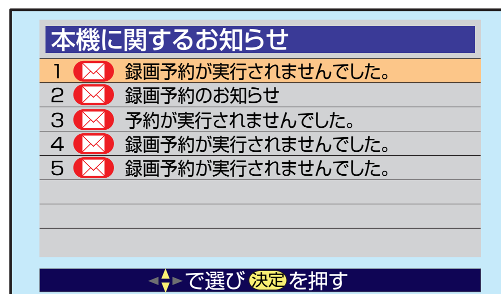
1 メニュー を押し、[︿/﹀/《/》]で「お知らせ」を選び、決定 を押す



未読のお知らせの場合

2 [︿/﹀]でお知らせの種類を選び、決定 を押す

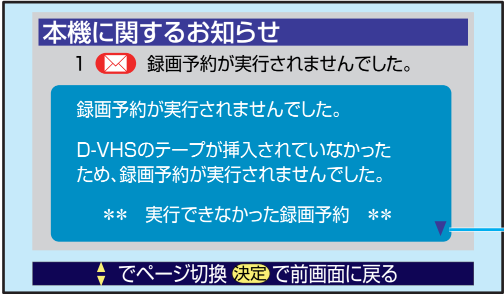
選んだお知らせのリスト画面が表示されます。
お知らせ選択画面に戻るには 戻る を押します。





3 [︿/﹀]で読みたいお知らせを選び、決定を押す

お知らせの本文が表示されます。
お知らせリスト画面に戻るには
決定を押します。



▲または▼が表示されている場合は、[︿/﹀]でページを切り換えられます。

4 終了を押して、お知らせを終了する

- 「お知らせ」の記憶数

放送局からのお知らせ	地上デジタル放送	7通
	BSデジタル、CSデジタル放送	24通※
本機に関するお知らせ		41通
ボード	110度ＣＳデジタル放送	ネットワークごとに50通

※BSデジタルと110度CSデジタル放送は、基本的には合わせて24通まで記憶されますが、放送局の運用状況によってはそれより少ない場合もあります。

●記憶できる数を超えて受信した場合は、以下のように削除されます。

- 「放送局からのお知らせ」古いものから順に削除されます。
- 「本機に関するお知らせ」既読の古いものから順に削除される場合があります。
（すべてが未読のときは、そのうちの古いものから削除されます。）

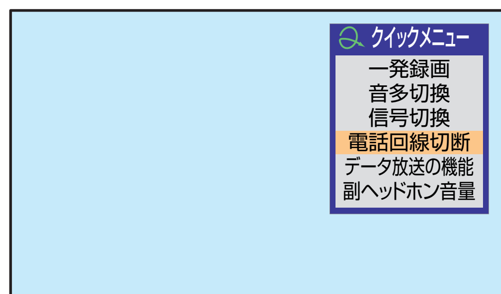
電話回線の接続を切断する

電話回線を使って、放送サービスなどと通信する場合に、通信の終了後に電話回線の接続を切断することができます。
電話回線で通信中の場合は、本体前面の回線使用中ランプが赤色に点灯します。

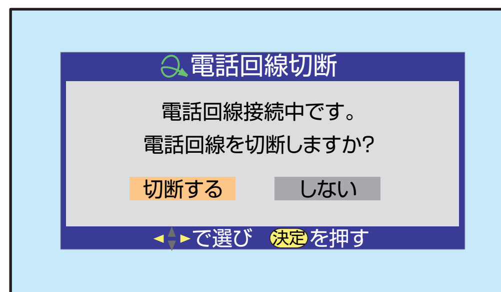


1 クイック を押し、[︿/﹀]で「電話回線切断」を選び、決定 を押す

電話回線が接続中でない場合は、「電話回線切断」が薄く表示されます。



2 [《/》]で「切断する」または「しない」を選び、決定 を押す



ポイント

電話回線テストなどで電話回線接続を切断したい場合は、それぞれの機能の中で行ってください。(➡『設置・接続・設定編』「簡易確認テスト」)

通信エラー履歴

回線接続で接続エラーが発生した場合に、最新のエラーを1件だけ表示します。
通信エラー履歴は、放送局へお問い合せする際に必要になる場合があります。

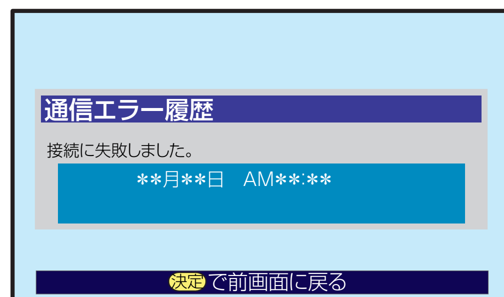


1 「通信エラー履歴」画面を表示する

①［メニュー］を押す
②[︿/﹀/《 / 》]で「設定メニュー」を選び、［決定］を押す
③[《 / 》]で「初期設定」を選んだあと、[︿/﹀]で「通信設定」を選び、［決定］を押す
④[︿/﹀]で「通信エラー履歴」を選び、［決定］を押す

2 内容を確認し、［決定］を押す

エラー履歴がある場合は、右のように表示されます。



3 ［終了］を押して、設定を終了する

ポイント

おもなエラーメッセージと対処法は「メッセージ一覧」(➡P.119)をご覧ください。

B-CASカードの番号を表示する

B-CASカードのお問合せ時にID番号が必要な場合があります。B-CASカードに登録されている番号をテレビ画面で確認できます。

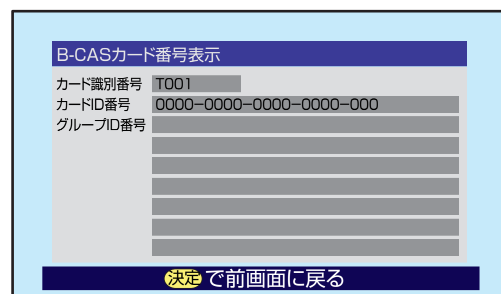


1 **メニュー を押し、[︿/﹀/《/》]で「設定メニュー」を選び、決定 を押す**

設定メニューが表示されます。

2 **[《/》]で「その他」を選んだあと、[︿/﹀]で「B-CASカード番号表示」を選び、決定 を押す**

B-CASカードの情報が表示されます。



3 **終了 を押して、B-CASカード番号表示を終了する**

下欄に確認したB-CASカードのID番号をご記入ください。

デジタルチューナーのソフトウェアをバージョンアップするには

最新のソフトウェアをダウンロードし本機のソフトウェアを更新することで、本機の機能が改善され、デジタル放送を正しく受信できます。

ソフトウェアをダウンロードする

ソフトウェアは、地上デジタル放送、またはBSデジタル放送の放送局からデジタル放送電波の中に含まれて送信されてきます。
ソフトウェアのダウンロードは次の方法で行います。

■送信されてきた自動ダウンロード用のソフトウェアを自動でダウンロードする

自動でダウンロードする場合は、「自動ダウンロード」の設定を「ダウンロードする」に設定します。
お買い上げ時は、「ダウンロードする」に設定されています。
「ダウンロードしない」に設定する場合は、ソフトウェアが届いたときに、画面に アイコンが表示されます。(P.81)ダウンロード時間を予約してダウンロードしてください。(P.87)

■送信されてきた任意ダウンロード用のソフトウェアを、ダウンロードする時間を予約してダウンロードする

ソフトウェアが届くと、画面に アイコンが表示されます。(P.81)ダウンロード時間を予約してダウンロードしてください。(P.87)

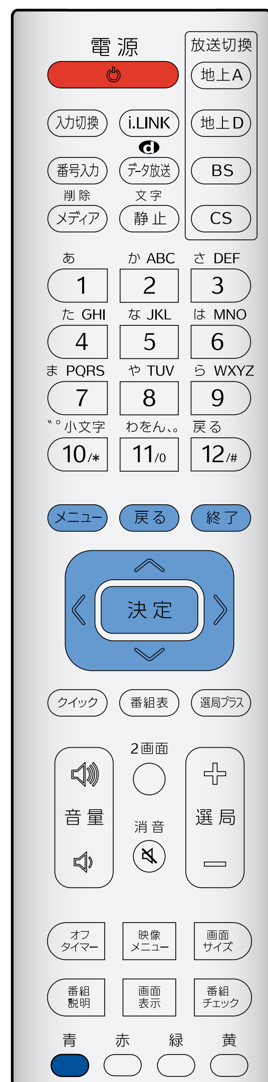

ポイント

- ダウンロードする場合は、あらかじめ電源を入れた状態で地上デジタル放送、またはBSデジタル放送を数分間受信し、ダウンロード情報を取得しておくことが必要です。
- ダウンロードする場合は、電源を待機状態にしておきます。
- ダウンロード予約を設定をしている場合は、ダウンロード開始時刻の少し前になると待機状態にすることをお願いするメッセージが表示されます。電源が待機状態のときや主電源スイッチを「切」にしているときは表示されません。
- 録画予約した番組が時間変更になりダウンロード予約と重なった場合や、悪天候の場合などにはダウンロードは実行されません。その場合は、「本機に関するお知らせ」(P.81)でご連絡します。
- 一発録画中やライブラリでのコピー中 (P.97) などに、任意ダウンロード予約の開始時刻になると任意ダウンロード予約は取り消されます。
- ダウンロードによって、設定内容がお買い上げ時の状態に戻ったり、予約やお知らせが削除される場合があります。

■ダウンロードの実行中に、リモコンの ⏻ が押されたとき

「ソフトウェアを更新中です。ソフトウェア更新中は、本機に触れないでください。電源の切/入はしないでください。ソフトウェアが正常に書き込まれません。」というメッセージが表示されます。
ダウンロードがすべて完了し、「ソフトウェアを更新しました」のメッセージが表示されるまでは、本機の操作をしたり、主電源スイッチを「切」にしないでください。ソフトウェアの書き込みが中止され、正常に動作しなくなる場合があります。
「ソフトウェアを更新しました」のメッセージが表示されたら 決定 を押してください。
電源が待機状態になった後、再び電源が入ります。以降は通常どおり操作できます。

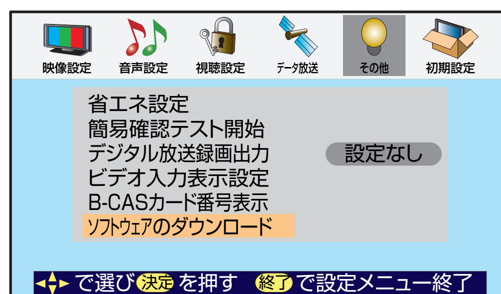
ダウンロードの方法を設定する



1 メニュー を押し、[︿/﹀/《/》]で「設定メニュー」を選び、決定 を押す

設定メニューが表示されます。

2 [《/》]で「その他」を選んだあと、[︿/﹀]で「ソフトウェアのダウンロード」を選び、決定 を押す



3 [︿/﹀]で「放送からのダウンロード」を選び、決定 を押す

→自動ダウンロードの設定のしかた (以下)

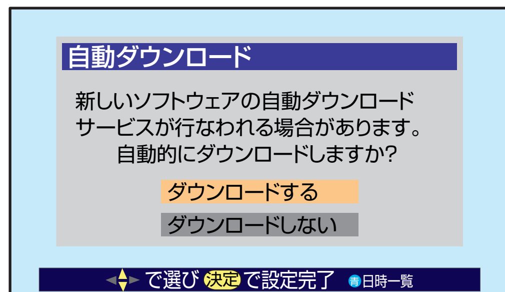
→任意ダウンロード設定のしかた (P.88)

4 終了 を押して、設定を終了する

任意ダウンロードの予約を行った場合は予約開始時刻の前までに、電源 を押して待機状態にします。
ダウンロードは本機が待機状態のとき行われます。

→自動ダウンロードの設定のしかた

①[︿/﹀]で「自動ダウンロード」を選び 決定 を押す
②[︿/﹀]で「ダウンロードする」、または「ダウンロードしない」を選び、決定 を押す

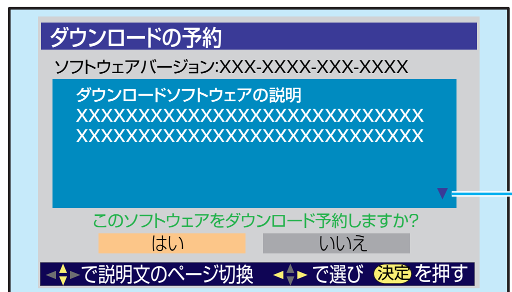


- 自動ダウンロードの日時一覧を見るには

①左記の画面表示中に 青 を押す
日時一覧が表示されます。
②[︿/﹀]で日時一覧表示を切り換える
③前画面に戻るには、戻る を押す
④通常画面に戻るには 終了 を押す

→任意ダウンロード設定のしかた

①[︿/﹀]で「ダウンロードの予約」を選び、決定を押す
②表示されている説明を読み、ダウンロード予約をする場合は、[《/》]で「はい」を選び、決定を押す



▲または▼が表示されている場合は、[︿/﹀]でページを切り換えることができます。

③[︿/﹀]で予約する時間を選び、決定を押す
ダウンロードが予約されます。
設定できるダウンロード予約時間は1つです。



「番組予約と時間が重なっています。」と表示された場合

録画予約や視聴予約と重なっている場合に表示されます。

①決定を押す
前画面に戻ります。ダウンロードの予約日時を変えるか、または終了を押した後、番組予約を取り消してください。
(➡P.58)
②表示されるメッセージを読んだ後、決定を押す

ダウンロード予約の日時を変更する場合

①[︿/﹀]で変更する日時を選び、決定を押す
②[《/》]で「はい」を選び、決定を押す
選んだ日時にダウンロード予約が変更されます。
③表示されるメッセージを読んだ後、決定を押す

ダウンロード予約を取り消す場合

①[︿/﹀]で予約されているダウンロードの日時を選び、決定を押す
②[《/》]で「はい」を選び、決定を押す
ダウンロード予約が取り消されます。

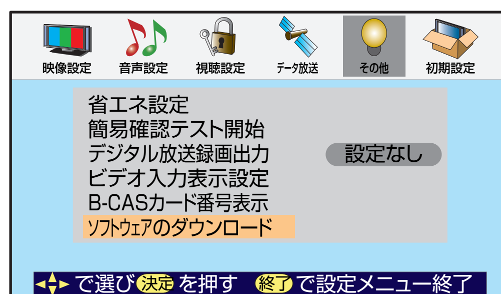
ソフトウェアのバージョンを確認するには



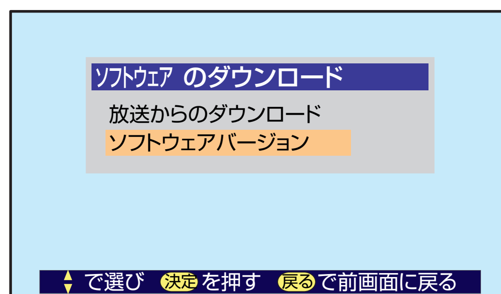
1 メニュー を押し、[︿/﹀/《/》]で「設定メニュー」を選び、決定 を押す

設定メニューが表示されます。

2 [《/》]で「その他」を選んだあと、[︿/﹀]で「ソフトウェアのダウンロード」を選び、決定 を押す

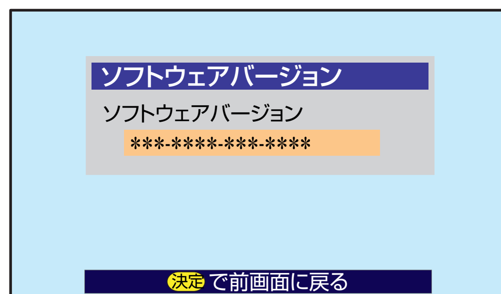


3 [︿/﹀]で「ソフトウェアバージョン」を選び、決定 を押す



4 ソフトウェアバージョンを確認後、決定 を押す

決定 を押すと前画面に戻ります。



5 終了 を押して、ソフトウェアのバージョン確認を終了する

自動スキャンについて

地上デジタル放送の場合、本機には以下のスキャン機能があります。本機の状態に合わせて設定を行ってください。

- 初期スキャン ：ご使用を開始されるときに、チャンネル設定をします。(➡『設置･接続･設定編』「初期スキャン」)
- 再スキャン ：ご使用開始後に新たに放送が開始されたり放送が変更になった場合に、再度チャンネル設定をします。(➡『設置･接続･設定編』「再スキャン」)
- 自動スキャン ：放送局の変更に自動的に対応する機能です。

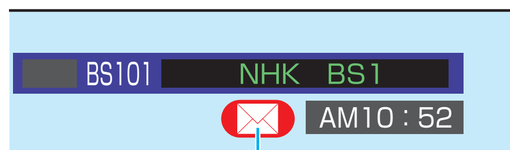
自動スキャンとは

待機状態のときなどに自動的にチャンネルのスキャンを行います。放送局の変更(放送局の開局や中継局の変更など)が見つかったときには、本機のチャンネル設定の内容を自動的に変更して、同時に「本機に関するお知らせ」でお知らせします。(➡P.81)

- 状況によっては、自動スキャン後に再スキャンが必要な場合もあります。詳しくは下記の「自動スキャンで放送局の変更が見つかった場合」をご覧ください。
- お買い上げ時には、自動スキャンするように設定されています。
- 「初期スキャン」が終了していないと、自動スキャンは実行されません。「初期スキャン」は「はじめての設定」で設定されるため、「はじめての設定」の設定がお済みの場合は、「初期スキャン」の設定は終了しています。(➡『設置･接続･設定編』「初期スキャン」)
- 自動スキャンは、電源を待機状態にしたときに不定期に行われます。したがって、「自動スキャンする」(➡P.91)に設定していても、本機のチャンネル設定が最新になっていない場合があります。特に録画予約の際にはご注意ください。
- 放送局の変更があった場合（ 最寄りの放送局などから情報を得た場合)は、再スキャンをされることをおすすめします。
- 自動スキャンされチャンネルの設定がされても、電波が弱い場合には、正常に受信できない場合があります。

自動スキャンで放送局の変更が見つかった場合

- 本機のチャンネル設定の内容を自動変更し、「本機に関するお知らせ」(右上の図1または2)でご連絡します。
(「本機に関するお知らせ」については➡P.81参照)



未読の「お知らせ」アイコン

- 受信できるチャンネルについては、「チャンネル一覧で選ぶ」(➡P.28)でご確認ください。
枝番(➡P.17)のみが変更されている場合もあります。

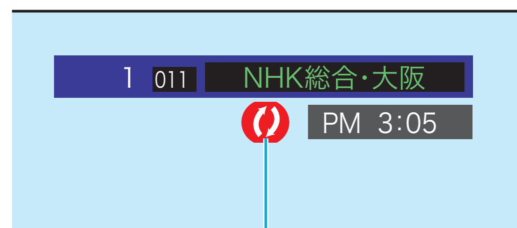
放送局の変更がありました。 放送局の変更(追加・削除など)がありました。チャンネル一覧で受信チャンネルをご確認ください。ダイレクト選局ボタンの設定を変更する場合は、設定メニューの「再スキャン」や「手動設定」を行ってください。

図1

放送局の変更がありました。 放送局の変更(追加・削除など)がありました。放送局の変更によりデータ放送用のメモリが割り当てられていない放送局がありますので、設定メニューの「再スキャン」を行ってください。

図2

図2の場合
チャンネル設定の内容は変更しましたが、データ放送用メモリの割り当て(➡『設置･接続･設定編』「データ放送用メモリの割り当て」)については、変更していません。(これは、受信できている放送局の数が、データ放送用メモリを割り当てできる数を超えているためです。)このときには、チャンネル選局時などに再スキャンアイコンを表示してお知らせします。(下図参照)
データ放送用メモリの割り当てを変更するには、「再スキャン」を行ってください。(➡『設置･接続･設定編』「再スキャン」)



再スキャンアイコン

自動スキャンの設定

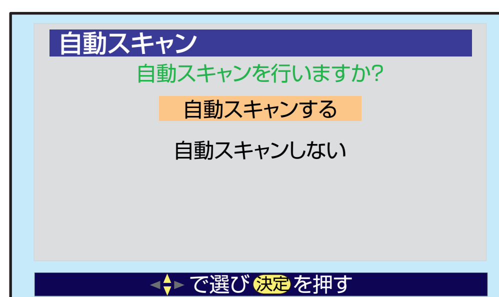
お買い上げ時には、自動スキャンをするように設定されています。



1 「自動スキャン」画面を表示する

①メニュー を押す
②[︿/﹀/《/》]で「設定メニュー」を選び、決定 を押す
③[《/》]で「初期設定」を選んだあと、[︿/﹀]で「チャンネル設定」を選び、決定 を押す。
④[︿/﹀]で「地上D自動設定」を選び、決定 を押す
⑤[︿/﹀]で「自動スキャン」を選び、決定 を押す

2 [︿/﹀]で「自動スキャンする」または「自動スキャンしない」を選び、決定 を押す



3 終了 を押して、設定を終了する

放送サービスをお楽しみいただくために

ポイント

自動スキャンが行われたあとで地上デジタル放送の受信状態が悪くなったときは、地上デジタルアンテナの受信レベルやアンテナの向きを確認してください。(➡『設置・接続・設定編』「地上デジタルアンテナレベルの確認および方向調整」)

i.LINK接続された機器を本機のリモコンで操作する

基本の操作

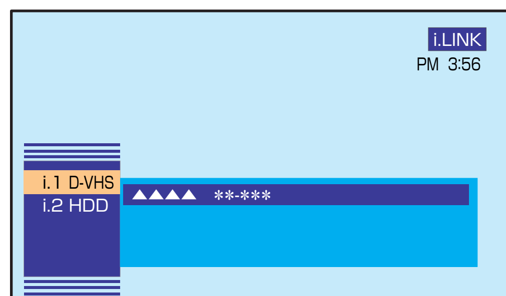
■操作をする前に…
接続されるi.LINK機器やご使用の状況によっては、あらかじめ設定が必要な場合があります。
詳しくは、「i.LINK設定」をご覧ください。(➡『設置・接続・設定編』「その他のi.LINK設定」)
本機に接続できるi.LINK機器等、i.LINKを使用する上での注意点については、「i.LINKについて」をご覧ください。(➡『設置・接続・設定編』「i.LINKについて」)
i.LINK端子付き機器の操作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。



1 i.LINK を押す

i.LINKモードになります。

●i.LINKモードとは
i.LINK機器からの信号を視聴したり、i.LINK機器の操作を行うモードです。



i.LINK接続・登録されている機器が1台の場合で、ブロードキャスト入力がオフに設定されている場合は手順2の操作は必要ありません。手順3に進んでください。

2 [《]でカーソル位置を左端にしたあと、[︿/﹀]で操作したい機器を選ぶ

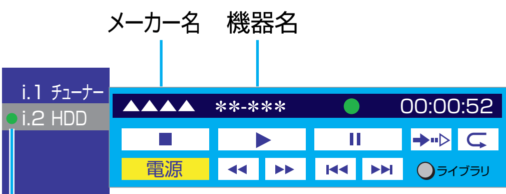
ブロードキャスト入力を見る場合は、「ブロードキャスト」を選んでください。
ブロードキャストとその設定については、『設置・接続・設定編』「その他のi.LINK設定」をご覧ください。

3 [︿/﹀/《/》]と 決定 で、操作パネルのボタンからi.LINK接続された機器を操作する

操作パネル表示は、操作する機器によって異なります。

- D-VHSビデオ/HDD(ハードディスク)ビデオレコーダーの場合➡P.93へ
- デジタルチューナーの場合➡P.98へ

操作パネル



本機の操作で録画中であることを表します。

●操作パネル表示を一時的に消したいとき
① i.LINK を押す
操作パネル表示が消えます。
②もう一度、表示させるには、i.LINK を押す
通常の選局画面にするには次のいずれかのボタンで選局を行います。
1 ～ 12、[選局＋/－]、メディア、放送切換ボタン、番号入力

i.LINK接続した機器の操作

ポイント

本機が他の機器からi.LINK操作されているときは、本機から他の機器を操作をすることはできません。本機から操作するには、他の機器からの操作を終了させてください。

■「選ばれた機器にi.LINK接続できません。」と表示され画面が途中で切れる場合

i.LINKの操作中に、i.LINKケーブルを抜くと画面が切れる場合があります。その場合は、次の操作を行ってください。

①[選局＋/－]などを押し、i.LINKモードを終了する

②i.LINKケーブルを接続し直したあと、i.LINK を押す

ブロードキャスト入力について

機器によっては、ブロードキャスト出力していても出力信号が異なるために本機ではご覧になれない場合があります。

D-VHSビデオやHDDビデオレコーダーから本機を制御してデジタル放送の録画をしている場合、選局や入力切換などの操作をすると、出力信号が途切れたり、他チャンネルの信号に変わる場合がありますのでご注意ください。

i.LINK機器からデータ放送を再生しているときに、再生中のデータ放送で選局などの操作が行われると、i.LINKモードを終了して通常の画面に戻る場合があります。

D-VHSビデオ/HDD(ハードディスク)ビデオレコーダーの場合



ポイント

- 操作パネルから録画の操作をすることはできません。録画するときは「録画予約」(➡P.50)や「一発録画」(➡P.64)を行ってください。
- HDDビデオレコーダーをD-VHSモードで使用の場合は、「ビデオ１接続設定」を行っても正しく動作しない場合があります。また、電源、再生、停止、一時停止ボタン以外の操作ボタンは、通常のD-VHS機器と動作が異なる場合があります。(➡『設置・接続・設定編』「登録したi.LINK機器をビデオ1接続に設定する/登録を削除する」)
- 一時停止の操作は、映像信号だけが一時停止されます。データ放送を再生している場合は、データ放送が選局し直され、静止画像は表示されません。また、信号が不安定な場合も、静止映像は表示されません。
- 「登録モード設定」で「手動」に設定している場合は、「i.LINK機器の登録」を行ってください。(➡『設置・接続・設定編』「その他のi.LINK設定」「i.LINK機器の登録」)
- 早送り再生や早戻し再生のとき、操作パネルに再生スピードの数値が表示されますが、これは目安であり、正確なスピードを表すものではありません。
- 追っかけ再生ができるようになるまで、数分間の録画が必要になります。
- 番組連動データ番組を再生中に一時停止の操作をして静止画にする場合は、終了 を押してから、一時停止の操作を行ってください。

■操作パネルの各ボタンの動作や機能が接続した機器により異なります。

例を示します。詳しくは、ご使用の機器の取扱説明書をご覧ください。

- 使用していないと自動的に待機状態になるHDDビデオレコーダーがあります。
- 追っかけ再生時に、早送りなどによって現在録画中の地点まで進むと、追っかけ再生を停止する HDD ビデオレコーダーがあります。
- 早送り再生や早戻し再生のスピードは、接続されたHDDビデオレコーダーによって決まります。
- 操作パネル表示にメーカー名や機器名が表示されない場合があります。メーカー名や機器名が正しく表示されていない場合は、i.LINKケーブルを抜き、「i.LINK機器」の登録を削除してください。(➡『設置・接続・設定編』「登録したi.LINK機器をビデオ1接続に設定する/登録を削除する」)
- 早送り/早戻し再生(60倍、120倍など)ができる残りの時間が少なくなると、再生スピードが変わる場合があります。

操作ボタン

機器側に機能がない場合は操作できません。

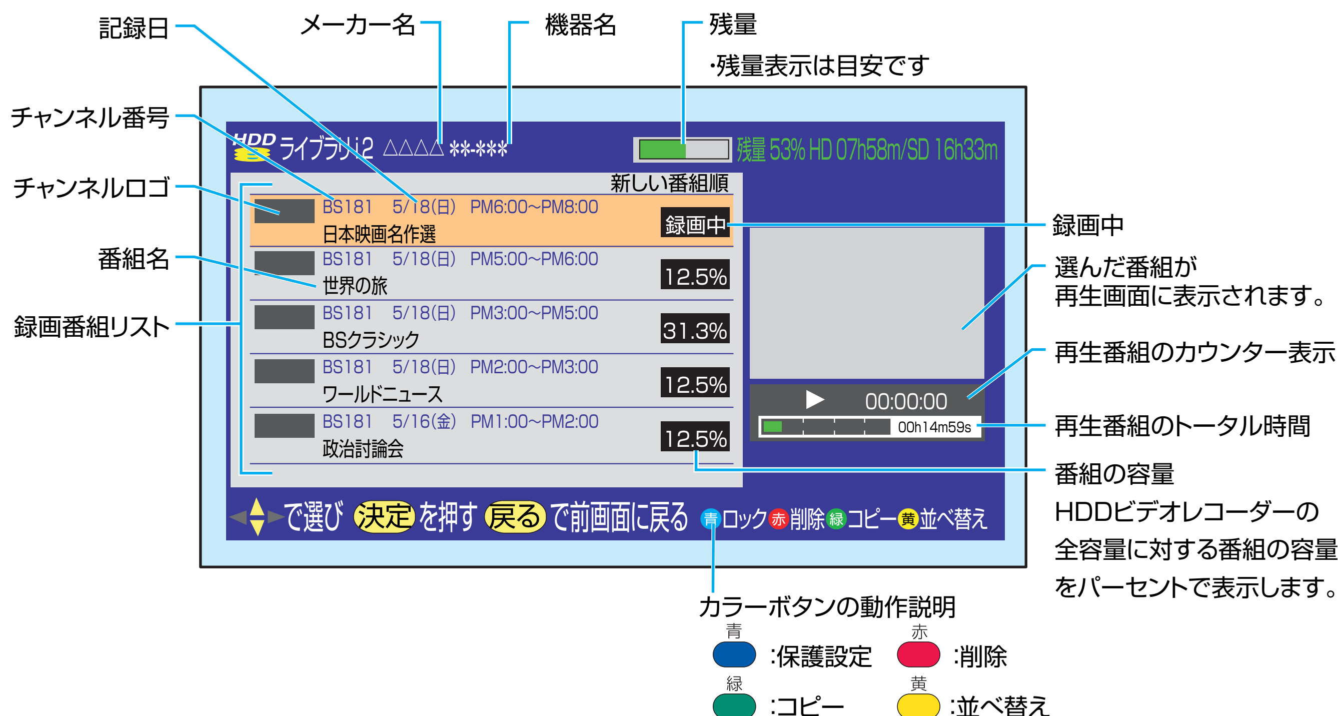
機器	ボタンアイコン	動作		状態表示アイコン
D-VHSビデオ/HDD(ハードディスク)ビデオレコーダー共通	電源	**電源の入/待機**		—
	▶	**再生**		▶
	■	**停止**		■
	❚❚	**一時停止/解除**		❚❚
	❙◀◀	**前に戻って、頭出し再生**		—
	▶▶❙	**1つ先に進んで、頭出し再生**		—
	▶▶	D-VHSビデオ	**早送り** (再生中に押すと早送り再生できます。)	早送り：▶▶ 早送り再生：▶▶▶
		HDDビデオレコーダ	**早送り再生** (押すたびに速さが変わります。)	▶▶▶ (数値はスピードを表します。)
	◀◀	D-VHSビデオ	**巻戻し** (再生中に押すと巻戻し再生できます。)	◀◀
		HDDビデオレコーダー	**早戻し再生** (押すたびに速さが変わります。)	▶▶▶ (数値はスピードを表します。)
D-VHSビデオのみ	○カウンターリセット	カウンター表示をリセット		—
HDDビデオレコーダーのみ	➡▪▷	**追っかけ再生**:録画中に、録画している番組の録画済み部分を最初から再生します。データ放送の部分については、再生できません。		➡▪▷
	↻	**リピート再生/解除**:再生中の番組を、繰り返し再生します。もう一度押すと解除されます。		—
	○ライブラリ	**ライブラリ操作パネル**:録画されている番組の一覧を表示します。録画番組の削除、D-VHSビデオへコピーなどが行えます。詳しくは「ライブラリ操作パネルの使いかた」(➡P.95)をご覧ください		

操作パネルからの操作以外にも接続機器の状態によって次のアイコンが表示されます。
● ：録画中に表示されます。
●▶ ：録画中に別の番組を再生しているときに表示されます。

ライブラリ操作パネルの使いかた

HDDビデオレコーダーの場合のライブラリ操作パネルの使いかたについて説明します。

- ライブラリでは、録画番組の再生や削除、D-VHSビデオへのコピーなどが行えます。
- HDDビデオレコーダーでは、再生している位置の情報が保たれなくなる場合があります。
- 操作中にHDDビデオレコーダーの電源がいったん切れてしまうと、電源が入ったときに選んでいた番組とは別の番組が選択されている場合があります。



●番組についての説明を見る(詳しくは➡P.31)

ライブラリ操作パネルから、[∧/∨]で説明を見る番組を選び、[番組説明]ボタンを押す

番組説明が表示されます。

説明画面を消すには、決定を押してください。

●録画番組を再生する

ライブラリ操作パネルから、[∧/∨]で再生する番組を選び、決定を押す

選んだ録画番組の再生画面になり、操作パネルは消えます。

●録画されている番組を保護する

録画されている番組を、削除されないように保護する機能です。

HDDビデオレコーダーによっては、操作できない場合があります。詳しくはお使いのHDDビデオレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

ライブラリ操作パネルから、[∧/∨]で保護したい番組を選び、青を押す

🔒が表示されます。

保護を解除するには、もう一度青を押してください。

●ライブラリに表示される順番を変える

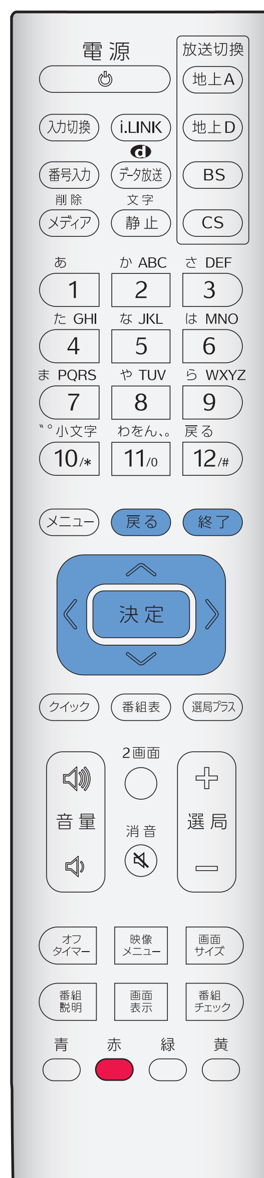
並び順を「新しい番組順」(記録した日時の新しい番組順にライブラリの上方から表示)、「古い番組順」(記録した日時の古いもの順にライブラリの上方から表示)のどちらかに設定できます。

1. ライブラリ操作パネル表示中に、黄を押す
2. [∧/∨]で「新しい番組順」または「古い番組順」を選び、決定を押す

   ライブラリが指定された並び順で表示されます。

録画番組を削除する

指定した番組のみを削除したり、ライブラリに表示されているすべての番組をまとめて削除することができます。（ただし、録画番組数が128個以下の機器の場合）
保護されている番組は削除できません。あらかじめ保護を解除しておいてください。
一度削除されたファイルは元に戻すことはできません。



1 ライブラリ操作パネル表示中に、（赤）を押す

チェックボックスが表示されます。

2 削除する番組を選ぶ

●**すべてを消去する場合**

（赤）を押す

保護されている番組以外のすべての番組にチェックマーク「✔」が付きます。

- 録画番組数が多い場合は、すべての番組にチェックマーク「✔」が付くまでに時間がかかります。
- 128 個までは、すべてを一度に削除できます。129 個以降は削除するものを一つずつ選択して削除します。（ここでいう129番め以降とは、録画した順番を古いものから数えた場合です。）
- 録画番組の情報取得に失敗した場合には、チェックマーク「✔」が付きません。このようなときは、もう一度（赤）を押すか、1つずつチェックマークを付けてください。

●**消去する番組を選ぶ場合**

[︿/﹀]で削除する番組を選び、決定を押す
選んだ番組にチェックマーク「✔」が付きます。
（再度決定を押すと「✔」は消えます。）
保護されている番組は削除できません。

3 [〉]で「削除する」にカーソルを移動し、決定を押す

削除せずに通常のライブラリに戻るには戻るを押します。

4 カーソルボタンで「はい」を選び、決定を押す

番組が削除され、通常のライブラリ操作パネルに戻ります。
終了ボタンを押して、操作パネルを消す。

録画番組をD-VHSビデオへコピーする

HDDビデオレコーダーに録画されている番組をi.LINK経由でD-VHSビデオにコピーすることができます。

ご注意

1回だけしか録画が許可されていない番組の場合にはコピーはできません。コピー機能は簡易的なものですので、条件によっては正しくコピーできない場合があります。

●コピーをする前の準備

① 「i.LINK 端子付き機器と接続する」で、ダビング先の D-VHS ビデオを i.LINK 接続する (➡『設置・接続・設定編』「i.LINK端子付き機器と接続する」)
② i.LINKの設定を行う(➡『設置・接続・設定編』「i.LINKの設定」)
③ 録画するD-VHSビデオテープをD-VHSビデオに入れる
④ D-VHSビデオ側でi.LINK入力の設定を「HDDビデオレコーダー」にする

詳しくは、D-VHSビデオの取扱説明書をご覧ください。



1 ライブラリ操作パネルから、[︿/﹀]でコピーしたい番組を選び、緑 を押す

メッセージが表示された場合(➡P.119)

2 コピー先の録画機器が表示されていることを確認する

●録画機器を変更する場合

① [︿/﹀]で「録画機器」を選び、決定 を押す
② [︿/﹀]でコピー先にしたい録画機器を選び、決定 を押す

3 [︿/﹀/《/》]で「コピーする」を選び、決定 を押す

コピーが行われます。

●次のメッセージが表示された場合

「録画予約が登録されています。」
録画予約とコピーの時間が重なっています。コピーをする場合は、[《/》]で「はい」を選び、決定 を押します。

●次のメッセージが表示されたとき

「ソフトウェアのダウンロード予約が登録されています。」
ダウンロード予約とコピーの時間が重なっています。コピーを行う場合は、カーソルボタンで「はい」を選び、決定 を押します。
ダウンロード予約は取り消されます。

上記以外にもメッセージが表示される場合があります。その際はメッセージに従って操作してください。

●コピーを途中で中止したいとき

① 終了 を押す
「コピー実行中です。もう一度 終了 を押すとコピーを中止します。」が表示されます。
データ放送が起動しているときに、終了 を押すと、まずデータ放送を終了します。その場合は、再度 終了 を押してください。
②上記のメッセージが表示されている間に、もう一度、終了 を押す
コピーが中止されます。

ポイント

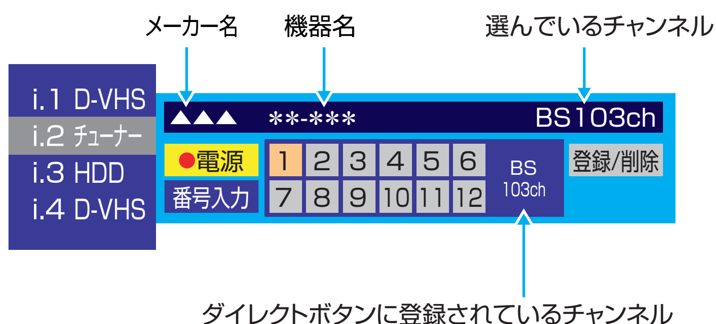
- 複数の機器から同時にHDDビデオレコーダーの制御を行うことは絶対にしないでください。特に「削除」(➡P.96)を行うと、意図しない番組が削除されてしまう場合があります。大切な番組は、あらかじめ保護(➡P.95)しておくと、誤った削除を防止することができます。
- 本機では128番組までのライブラリ表示ができます。
- 128 番組を超えて録画された HDD ビデオレコーダーを使用する場合は、ライブラリ表示などが正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。
- 実際の録画番組の最大数はご使用になるHDDビデオレコーダーの仕様により制限されます。HDDビデオレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- 番組の表示時刻は、実際の録画情報から算出していますので、HDD ビデオレコーダーの録画動作時間とは一致しない場合があります。
- ライブラリ操作パネルではデータ放送は操作できません。
- 録画した地上デジタル放送のチャンネル番号などは、本機のチャンネル設定に変更があると正しく表示されなくなる場合があります。
- 他の機器で録画した地上デジタル放送のチャンネル番号などは、正しく表示されない場合があります。
- 録画された 1 つの番組単位の中に、コピーできる番組と 1 回だけしか録画が許可されていない番組が混在している場合には、コピーが正しくできません。
- 「録画機器が動作を受け付けません。」が表示された場合は、D-VHSビデオのi.LINK入力がHDDビデオレコーダーに設定されていることを確認してください。詳しくは、D-VHSビデオの取扱説明書をご覧ください。
- コピー後、D-VHS ビデオの i.LINK 入力が HDD ビデオレコーダー側になっている場合があります。その場合は、D-VHSビデオのi.LINK入力を本機側に設定してから録画予約、一発録画を行ってください。
- コピー先のD-VHSの機種によっては、番組の先頭部分が記録されない場合があります。
- コピー中の番組を視聴しているときに、データ放送による選局が行われた場合は、i.LINK モードから抜ける場合があります。再度コピー中の番組を視聴する場合には、i.LINKボタンを押してください。
- コピー実行中は、予約の登録や一発録画はできません。
- コピー実行中にHDDビデオレコーダー側でエラーが発生した場合などには「本機に関するお知らせ」(➡P.81)でご連絡します。(エラーによっては、お知らせが発行されない場合もあります。)
- 視聴予約と時間が重なったときは、コピーを優先して実行します。
- 使用する D-VHS ビデオや番組によっては、コピーが正しく行われない場合があります。詳しくは、(➡『設置・接続・設定編』「i.LINKについて」)をご覧ください。

デジタルチューナーの場合

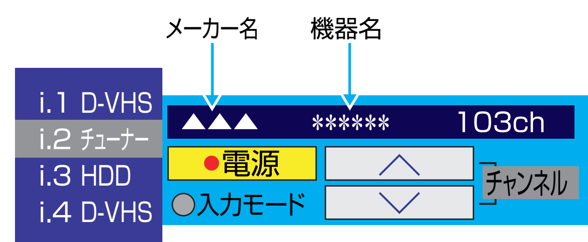
デジタルチューナーの場合の操作パネル表示は2種類あり、「チューナーの選局方法」で設定できます。お買い上げ時は「選局1」に設定されています。(➡『設置・接続・設定編』「その他のi.LINK設定」)

操作パネル表示例

●「チューナーの選局方法」を「選局１」に設定している場合



●「チューナーの選局方法」を「選局2」に設定している場合



操作ボタン

機器側に機能がない場合は操作できません。

操作パネル	ボタンアイコン	動作
「選局1」「選局2」共通	●電源	電源の入/待機
「選局1」のみ	番号入力	デジタルチューナーのチャンネルを3桁、または4桁(3桁のチャンネル番号と1桁の枝番)の番号で選局する際に使用します。(➡P.101)
	[ダイレクト選局] 1 ～ 12	デジタルチューナーのチャンネルを直接選びます。3桁、または4桁(3桁のチャンネル番号と1桁の枝番)番号の入力にも使用します。
	登録/削除	ダイレクト選局ボタンへのチャンネルの登録・削除を行います。(➡以下)
「選局2」のみ	︿ (チャンネル)	上方向に選局：機器によっては操作できない場合もあります。
	﹀ (チャンネル)	下方向に選局：機器によっては操作できない場合もあります。

デジタルチューナーのチャンネルを直接選ぶ(「選局1」操作パネルのみ)

操作パネルのダイレクト選局ボタンにあらかじめ登録しておいたチャンネルを選局する方法です。(お買い上げ時には、登録されていません。)

ダイレクト選局ボタンへの登録のしかた

本機に接続されているデジタルチューナーごとに、登録ができます。(最大15台)



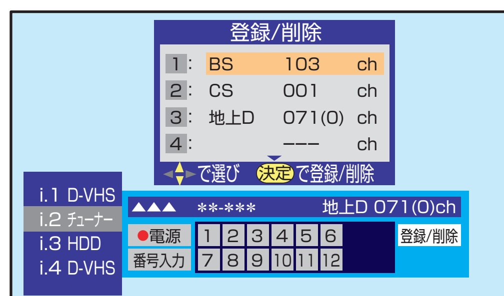
1 登録したいチャンネルをデジタルチューナーで選ぶ

➡P.101の方法で選局するか、デジタルチューナー側の操作で選局をしてください。

2 [︿/﹀/《/》]で[登録/削除]を選び、決定を押す

登録画面が表示されます。

手順1の操作で受信できていない場合には、登録画面は表示されず、その旨のメッセージが表示されます。



3 [︿/﹀]で登録したいボタン(未登録のもの)を選び、決定を押す

受信しているチャンネルが登録されます。

●すでに他のチャンネルが登録されているボタンを選んだとき

登録されているチャンネルを削除する画面が表示されます。
登録されているチャンネルを削除して新たに登録する場合は「はい」を選び、決定を押して削除したあと、もう一度登録の操作をしてください。

ダイレクト選局に登録されているチャンネルを削除するには

個別に削除する方法と、すべてをまとめて削除する方法があります。



1 [︿/﹀/《/》]で[登録/削除]を選び、決定を押す

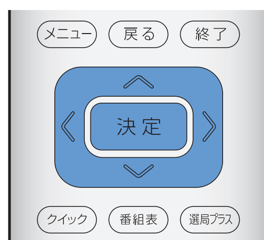
2 次の操作を行う

- すべてをまとめて削除する場合は、[︿/﹀]で「すべて削除」を選び、決定を押す
- 個別に削除する場合は、[︿/﹀] で削除したいチャンネルを選び、決定を押す

3 [《/》]で「はい」を選び、決定を押す

手順2で指定したチャンネルが削除されます。

ダイレクト選局でのチャンネルの選びかた



[︿/﹀/《/》]で選局したい番号のボタンを選び、決定を押す

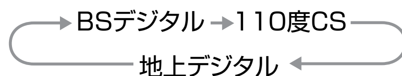
- 接続されたチューナーの受信チャンネルに変更があった場合は、選局できない場合があります。
- 放送休止中などにより受信できない場合には、「現在このチャンネルを表示することはできません。」が表示されます。

3桁(地上デジタルの場合は4桁)の番号を指定して選ぶ



1 放送の種類を選ぶ

[︿/﹀/《/》]で 番号入力 を選び、決定 を押してください。決定 を押すたびに放送の種類が切り換わります。
(デジタルチューナーが対応していない放送は選べません。)



2 3桁のチャンネル番号を指定する

(地上デジタルは3桁のチャンネル番号と1桁の枝番を指定します)
[︿/﹀/《/》]でボタン番号(1 ～ 12)を選び、決定 を押す操作を繰り返して、3桁(地上デジタルの場合は4桁)のチャンネル番号を指定してください。(接続しているデジタルチューナーで設定しているチャンネル番号を指定してください。)

- 上記手順1の操作後、数秒たっても3桁(地上デジタルの場合は4桁)のチャンネル番号が指定されないときには手順1の操作は、取り消されます。
- (1 ～ 12)以外のボタンを選び、決定 を押すと手順1の操作は取り消されます。

ポイント

- 機器によっては、操作パネル表示にメーカー名や機器名が表示されない場合があります。
- 操作パネルの各ボタンの動作は、操作される機器によって異なります。各機器の取扱説明書をご覧ください。
- i.LINK 接続されている相手側機器が電波を正しく受信していない場合は、操作パネル表示のボタンを使ってチャンネルを切り換えることはできません。その場合は、接続機器側でチャンネル切換の操作をしてください。
- 受信できないチャンネルは表示されません。
- 接続されたi.LINK機器のメーカー名や機器名が正しく表示されていない場合は、i.LINKケーブルを抜き、i.LINK機器の登録を一度削除してから、i.LINKケーブルを接続し直してください。
- 「登録モード設定」で「手動」に設定している場合は、「i.LINK 機器の登録」を行ってください。(➡『設置･接続･設定編』「その他のi.LINK設定」「i.LINK機器の登録」)
- 接続される機器や、放送形式によっては、操作できない場合もあります。
- 放送休止中などにより受信できない場合には、「現在このチャンネルを表示することはできません。」が表示されます。
- 「選局2」では受信しているネットワーク以外を選局することはできません。ネットワークを変えたい場合は接続機器側でチャンネル切換の操作を行うか、「選局1」で選局してください。
- 地上デジタルチューナーでチャンネルの操作可能な機器において、操作パネルに表示されるチャンネル番号とチャンネルの選局時の順番が一致しない場合があります。

映像の設定

あらかじめ記録されている3つのモードと、お好みで調整した3つのモードがあります。
ご覧になる映像に合わせて選択するだけで、簡単に映像調整ができます。

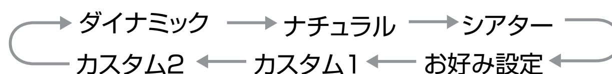
GLシリーズをご使用の場合
コンピュータの映像を調整する場合は「コンピュータ接続時の映像や音声の設定」(➡P.108)をご覧ください。

お好みの映像を映像メニューから選ぶ

お買い上げ時は「ダイナミック」に設定されています。



[映像メニュー]ボタンを繰り返し押して、ご覧になりたい映像メニューに切り換える



メニューからでも切り換えることができます。

1. メニュー を押す
2. [︿/﹀/《/》]で「設定メニュー」を選び、決定 を押す
3. [《/》]で「映像設定」を選んだあと、[︿/﹀]で「映像メニュー」を選び、決定 を押す
4. [︿/﹀]でご覧になりたい映像メニューを選び、決定 を押す
5. 終了 を押し終了します。

映像メニューで選択できる項目

ダイナミック	明るく、迫力ある映像で楽しむとき
ナチュラル	お部屋で落ち着いた雰囲気で楽しむとき
シアター	お部屋を少し暗くして映画館のような雰囲気で楽しむとき (暖かみのある色合いと、PBエンハンサーにより深い黒を再現します。)
お好み設定	お好みに調整した映像で楽しむとき (調整方法は➡P.103をご覧ください。)
カスタム1	
カスタム2	



ポイント

- 「お好み設定」「カスタム1」「カスタム2」は、調整値を変えてお好みの映像にすることができます。(➡P.103)
- 「2画面表示」、「番組表」、「ジャンル検索」のいずれかの機能を使用している場合は映像メニューを切り換えることができません。

お好みの映像を登録する

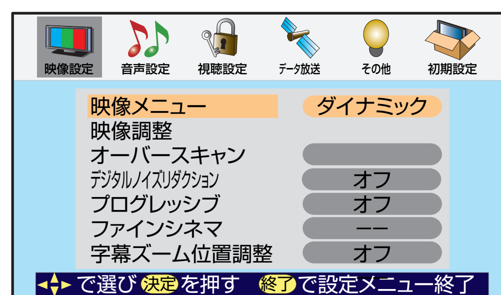
ご覧になる映像をお好みの画質に調整することができます。調整した結果は映像メニューに登録することができ、登録した項目を選択するといつでも簡単にお好みの画質に切り換えることができます。
調整した映像を、映像メニューの「お好み設定」に登録できます。
さらに、きめ細かい調整値を登録したいときは、「カスタム1」「カスタム2」に登録できます。



1 「映像設定」画面を表示する

①［メニュー］を押す
②[︿/﹀/《/》]で「設定メニュー」を選び、［決定］を押す
③[《/》]で「映像設定」を選ぶ

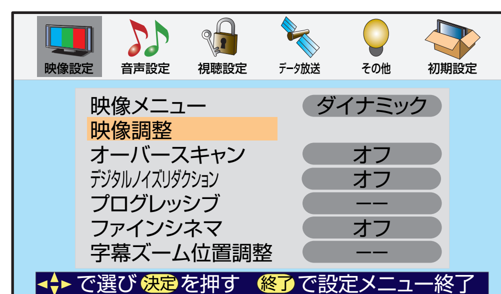
2 [︿/﹀]で「映像メニュー」を選び、［決定］を押す



3 [︿/﹀]で調整した映像を記憶する項目を選び、［決定］を押す

「ダイナミック」「ナチュラル」「シアター」を選んで調整すると「お好み設定」に記憶されます。
さらにきめ細かい調整値を記憶させる場合は「カスタム1」、または「カスタム2」を選びます。

4 [︿/﹀]で「映像調整」を選び、［決定］を押す



5 [︿/﹀]で調整する項目を選び、［決定］を押す

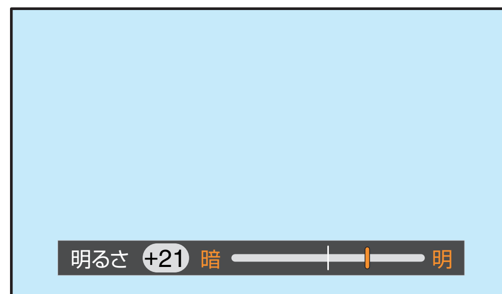
次ページの表を参考に項目を選んでください。



6 [《/》]、または[︿/﹀]でお好みの映像に調整し、決定を押す

[《/》]：数字の調整をします。
[︿/﹀]：項目を選びます。
調整中に、数秒間[︿/﹀/《/》]を押さないと、「映像調整」画面に戻ります。

いくつもの項目を調整するときは、手順5、6を繰り返す



「お好み設定」で調整できる項目

項目	調整内容	調整値
明るさ	画面の明るさを調整します。	-50～+50
コントラスト	画面のコントラストを調整します。	00～+100
色の濃さ	画面の色の濃さを調整します。	-50～+50
色合い	画面の色合いを調整します。	-50～+50
シャープネス	画面のシャープ感を調整します。	-50～+50

「カスタム1」「カスタム2」で追加される調整項目

映像メニューで「カスタム1」「カスタム2」を選択すると、「お好み設定」で調整できる項目に加えて、以下の項目が調整できます。

調整部分	項目	調整内容	調整値		
色合い調整 映像全体の色味を調整します。	色温度※1	「色温度」 映像全体の色合いを調整します。 「低」暖色系の色合いを調整します。 「高」寒色系の色合いを調整します。 「Rゲイン」「Gゲイン」「Bゲイン」 明るい部分の色温度を微調整します。	「低」 「中」 「高」	Rゲイン※2	00～+100
				Gゲイン※2	00～+100
				Bゲイン※2	00～+100
階調の調整 映像の明部や暗部のコントラストを調整します。	色伸張	色の鮮やかさを調整します。	「オフ」「弱」「中」「強」		
	黒伸張	映像の暗部のコントラストを調整します。 「黒」に設定するとPBエンハンサーが作動し、より深い黒を再現します。	「オフ」「弱」「中」「強」		
	ガンマ補正	映像の明部と暗部のコントラストのバランスを調整します。	「オフ」「弱」「中」「強」		
輪郭の調整 映像の輪郭を調整します。	Fエンハンサー※3	横線の輪郭を補正します。	「オフ」「弱」「中」「強」		
	Rエンハンサー	縦線の輪郭を補正します。	「オフ」「弱」「中」「強」		
調整値を戻す	標準に戻す	調整値を設定前の状態に戻します。	「いいえ」「はい」		

※1 色温度の調整は、[︿/﹀]で「低」「中」「高」のいずれかを選び 決定 を押します。その後「Rゲイン」「Gゲイン」「Bゲイン」それぞれを調整します。
※2 明るい部分と暗い部分の色温度が最適になるように、それぞれ交互に調整してください。
※3 FエンハンサーはD4端子の1125ｉ映像入力時は調整できません。

映像設定

映像メニュー以外にも、様々な映像設定メニューから映像の調整ができます。ご覧になる映像の状態に合わせて設定してください。



1 「映像設定」画面を表示する

① メニュー を押す
②[︿/﹀/《/》]で「設定メニュー」を選び、決定 を押す
③[《/》]で「映像設定」を選ぶ

2 [︿/﹀]で設定項目を選び、決定 を押す

次表の「映像設定で設定できる項目」を参考に選んでください。

3 [︿/﹀]で調整値を選び、決定 を押す

[︿/﹀]を押すごとに設定が切り換わります。
「字幕ズーム位置調整」は、[《/》]で調整し、決定 を押します。

4 終了 を押して、映像の設定を終了する

映像設定で設定できる項目

項目	設定内容	お買い上げ時
オーバースキャン	映像の表示範囲を変更できます。 ・オン：映像の表示範囲を少しだけ広げます。（「オフ」のときよりも少しだけ広い範囲が表示されるようになります。） ただし、映像の上下部分にノイズが入ったり、映像の周囲に黒枠が表示されるようになったりすることがあります。 ・オフ：通常の表示範囲を表示します。（テレビ映像の上下部分にはノイズが入ることがあるため、一般的にテレビでは、少し内側の領域を表示するように設定されています。）	「オフ」
デジタルノイズリダクション	映像のざらつきを抑えることができます。ご覧になる映像に合わせて設定してください。 ・オン：色がベタッと塗りつぶされている箇所などに発生する映像のざらつきを抑え、画質をソフトにします。 ・オフ：DVDなどノイズの少ない映像で設定します。	「オフ」
プログレッシブ設定	●525iの信号を受信したときに設定できます。 ●525p、750p、1125iの信号を受信しているときには設定できません。 ●お好みに応じて3つのモードが選べます。 ・モード1：動画と静止画の中間設定で、自然な映像を表示する通常モードです。 ・モード2：静止画がきれいに見える設定で、文字のちらつきが最も少なくなります。 ・モード3：動画を前提とした設定で、動いてる映像に対して残像が最も少なくなります。	「モード1」
ファインシネマ	映画ソフトのもつスムーズな映像の動きと画質を再現する機能です。 ・オート：映画ソフトなどの1秒間に24コマの映像をテレビ用の30コマに変換した映像で受信したとき、本来の映画ソフトのもつスムーズな映像の動きと画質を再現します。 ・オフ：テレビ放送同様の30コマに変換した映像で再現します。	「オフ」
字幕ズーム位置調整	画面サイズを「字幕ズーム」に設定していて映像の字幕が切れる場合は、映像を上下に移動させて字幕が見えるようにすることができます。 調整範囲：0～30	15 （中心値）

ポイント

ファインシネマの設定を「オート」にした場合で映像に違和感がある場合には、「オフ」にしてご使用ください。

音声の設定

ご覧になる番組に合わせて、音声を切り換えることができます。

GLシリーズをご使用の場合
コンピュータの音声を調整する場合は、「コンピュータ接続時の映像や音声の設定」(➡P.108)をご覧ください。



1 [メニュー] を押し、[︿/﹀/《/》]で「設定メニュー」を選び、[決定] を押す

2 [《/》]で「音声設定」を選ぶ

3 [︿/﹀]で項目を選び、[決定] を押す

●ステレオ/モノラル、音声モード、光デジタル音声出力を選択した場合
[︿/﹀]で項目を選びます。

●音声調整の場合
設定項目を選び、[《/》]でお好みの音声に調整します。

4 [終了] を押して、音声の設定を終了する

ポイント

■ステレオ/モノラルの設定について
- 電波の弱いステレオ放送のときに音声にノイズがでることがあります。その場合、「モノラル」に設定することにより聴きやすくなります。
- 「モノラル」に設定されているときは、ステレオ放送のときでも「ステレオ」になりません。その場合は、表示画面右上に「モノラル選択中」と表示されます。
- ステレオ/モノラル設定は地上アナログ放送やCATV放送受信時に設定できます。デジタル放送受信時は設定できません。

■音声モード・音声調整の効果について
- 本機のスピーカー、ヘッドホンでお聴きになる場合に、効果が得られます。ヘッドホン(副画面)、デジタル放送録画出力、オーディオ出力(固定)、光デジタル音声出力では効果は得られません。
- ご覧になる内容によっては効果があらわれにくい場合があります。

■光デジタル音声出力の設定について
- AACデコーダーやAACデコーダー内蔵アンプ(市販品)をつなぐときは、「AAC優先」または「サラウンドAAC優先」に設定してください。AACデコーダーを内蔵していないアンプをつなぐ場合は「PCM」に設定してください。
- 光デジタル音声出力設定が「AAC優先」や「サラウンドAAC優先」に設定されている場合で、MPEG-2 AAC音声の場合には、データ放送の一部の音声(効果音など)が、光デジタル音声出力端子からは出力されない場合があります。

音声設定の設定項目

設定項目	調整項目	内容	お買い上げ時
ステレオ/モノラル	ステレオ	スピーカーからの音声をステレオ出力します。	ステレオ
	モノラル	スピーカーからの音声をモノラル出力します。	
音声モード	シアター	映画鑑賞に適しています。 マルチチャンネル信号、2CH信号に対応 台詞の明瞭感を高め、豊かな低音を無理なく再生するSRS TruSurround XTを採用しています。	ノーマル
	ミュージック	音楽鑑賞に適しています。 2CH信号に対応 低音、高音が強調されたステレオで聞こえます。	
	ミュージックライブ	音楽鑑賞に適しています。 マルチチャンネル信号に対応 SRS TruSurroundが働きます。 低音・高音が強調されて聞こえます。	
	ノーマル	入力された音声信号がそのままの音質で聞こえます。	
光デジタル音声出力	PCM固定	PCM信号が出力されます。	PCM固定
	AAC優先	MPEG-2 AAC信号の場合、MPEG-2 AAC信号が出力されます。	
	サラウンドAAC優先	MPEG-2 AAC信号で、マルチCHステレオ音声(5.1CHや4.1CHステレオ音声など)の場合にはMPEG-2 AAC信号が出力されます。 それ以外のMPEG-2 AAC信号の場合にはリニアPCM信号が出力されます。	
音声調整	バランス	左右のスピーカーからの音量を調整します。	0(-30～+30)
	高音	高音を調整します。	0(-15～+15)
	低音	低音を調整します。	0(-15～+15)

コンピュータ接続時の映像や音声の設定

GLシリーズをご使用の場合

お好みの映像を映像メニューから選ぶ

お買い上げ時は「ＰＣ設定1」に設定されています。



[映像メニュー]ボタンを押して、ご覧になりたい映像メニューに切り換える

メニューから切り換えることもできます。(P.109)

PC設定1 ←→ PC設定2

自動セットアップ機能

以下のような場合に、自動で「トラッキング」「同期」「位置調整」を調整して、コンピュータの映像を最適な状態で表示します。

- コンピュータ接続時に 入力切換 を押して、コンピュータの映像に切り換えたとき。
  切り換えた映像が前回表示していたものと同じ信号の場合は、動作しません。
- コンピュータの映像を表示しているときに 決定 を押したとき。



入力切換 を押す

手動で調整する場合は、メニューから調整します。(P.109)

メニューから設定する

コンピュータの映像や音声を調整する場合は、以下のように操作します。設定内容はテレビ映像やビデオ映像とは異なります。



1 メニュー を押す

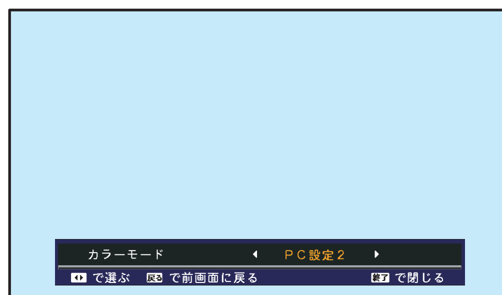
設定できる項目が表示されます。
P.110の「設定できる項目」を参考に選んでください。



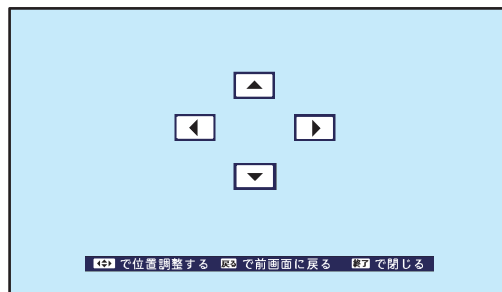
2 [︿/﹀]で設定する項目を選び、決定 を押す

3 項目を選び、決定 を押す

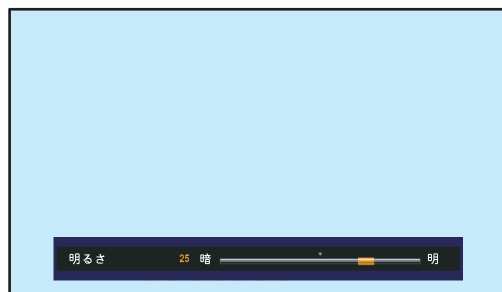
●**カラーモード、音声モードを選択した場合**
[《/》]で項目を選びます。



●**位置調整を選択した場合**
[︿/﹀/《/》]で位置を調整します。



●**上記以外の項目を選択した場合**
[《/》]でゲージや数値などを調整します。



4 終了 を押して、設定を終了する

ポイント

- 光デジタル音声出力端子からは、コンピュータからの音声は出力されません。
- 映像を表示した場合に、文字や罫線などの細かい部分がぼやけるときがあります。その場合は、トラッキングを調整してください。

コンピュータ接続時の映像や音声の設定

設定できる項目

映像設定

項目	調整内容	調整値
カラーモード	コンピュータ映像の色合いを調整します。 PC設定1：明るく迫力ある映像を楽しむとき PC設定2：色にこだわったDVDなどの映像を楽しむとき	PC設定1、PC設定2
明るさ	画面の明るさを調整します。	−50〜+50
コントラスト	画面のコントラストを調整します。	00〜+100
トラッキング	画面のトラッキングを調整します。	接続信号によって異なる
同期	画面の同期を調整します。	接続信号によって異なる
位置調整	画面の表示位置を調整します。	接続信号によって異なる

音声設定

設定項目		調整項目
音声モード	シアター	映画鑑賞に適しています。 マルチチャンネル信号、2CH信号に対応 台詞の明瞭感を高め、豊かな低音を無理なく再生するSRS TruSurround XTを採用しています。
	ミュージック	音楽鑑賞に適しています。 2CH信号に対応 低音、高音が強調されたステレオで聞こえます。
	ミュージックライブ	音楽鑑賞に適しています。 マルチチャンネル信号に対応 SRS TruSurroundが働きます。 低音･高音が強調されて聞こえます。
	ノーマル	入力された音声信号がそのままの音質で聞こえます。
バランス		左右のスピーカーからの音量を調整します。
高音		高音を調整します。
低音		低音を調整します。

故障かなと思ったら

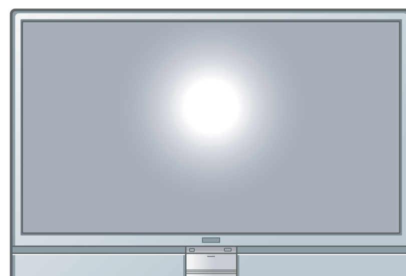
故障かなと思ったら、修理を依頼する前に「LEDランプの見方」で本機の状態を確認してください。
LEDランプで本機の状態を確認してもわからないときは、以下のことをお調べください。

ポイント

本機に何らかの異常が起きた場合、次の操作を行うと正常に戻る場合があります。LEDランプでウォームアップ中、クールダウン中でないことを確認してから操作を行ってください。(➡P.9)
本機の電源が入っている場合は、⏻ を押し電源を切ります。その後、主電源スイッチを「切/入」します。

本機の特性

映像や番組表が表示されるまでに時間がかかる
電源を入れてから映像が明るくなりきるまで約20秒かかります。これは本機の光源である投写ランプが明るくなるまでに時間がかかるためです。
キャビネットからの「ピシッ」というきしみ音
以下の場合に発生することがあります。 「ピシッ」というきしみ音は、部屋の温度変化でキャビネットが伸縮するときに発生する音です。画面や音声などに異常がなければ心配ありません。
電源を入れていないときに、画面にムラが見える
本機に電源を入れていないときは、画面全体が黒くなるため、周りのものが鏡のように映りこむとムラに見えることがあります。
今までお使いいただいていたテレビに比べ画質が悪い(電器店などに展示されているテレビの映像と比較して、画質が悪い。)
・同じ放送番組を画面サイズの異なるテレビで見た場合、大きな画面の方が画質が悪く見えます。映像が拡大されるときに同時にアラ(画質の悪さ)も拡大されるためです。特に地上アナログ放送は、デジタルハイビジョン放送に比べ、もともとの画質が悪いため、見比べると、画質の悪さが目立つようになります。 ・多くの場合、電器店などでは、デジタルハイビジョン放送が放映されています。通常の放送は走査線の数が少なく、また特に地上アナログ放送は元々の画質が悪いため、ハイビジョン放送と比較してしまうと、画質が悪く感じられてしまいます。
電源をいれていないのに本機スクリーンが明るくなる、または電源を切ってもクールダウンせず、うっすらと明るい
録画予約した番組を録画しているときは、番組を録画するためや録画準備のために本機が動作し、本機内部の投写ランプが点灯します。録画が終了すると投写ランプは消灯します。
本機の電源を入れていないのに、本体前面の「電源ランプ」が青点滅を開始し、同時に本体内部のファンが回り始め、約５秒後に電源ランプが赤点灯（待機状態）になる
デジタル放送を受信している場合は、放送局から番組情報やダウンロードデータが送られてきます。データ取得時には本機が動作をするため、本機内部のファンも回転します。
本機の電源を切ってクールダウンが終了した後（電源ランプは赤点灯の状態）でも、長時間、本体内部のファンが回転し続ける
以下のような状態になると、クールダウン終了後も、長時間、ファンが回転し続ける場合があります。 ・最新の番組情報などを取得したとき ・予約していた番組の録画が開始されたとき ・デジタル放送には、契約しないと視聴できない有料のチャンネルがあります。そのため、放送局側から、お客様のご契約状態により、有料チャンネルを視聴できるようにするための情報などが送られてくることがあります。本機が待機状態のときにその情報を取得するため、ファンが2時間程度、回転し続ける場合があります。

本機が待機状態、または主電源スイッチを「切」にしているときに画面中央のやや上の部分に白い影のようなものが映るときがある これはプロジェクションテレビの特性であり、映像を映すときには何ら影響ありません。	
光デジタル音声が出ない 「光デジタル音声出力」の設定が「AAC優先」、または「サラウンドAAC優先」に設定されている場合に、MPEG-2AAC音声のデータ放送の一部の音声(効果音など)が光デジタル音声出力端子からは出力されない場合があります。 GLシリーズをご使用の場合 光デジタル音声出力端子からは、コンピュータやフォトビューワからの音声は出力されません。	

デジタル放送の特性

再生中に、不自然なブロックノイズ(映像が小さなブロックの集まりで表示される)が見える

以下の場合に発生することがあります。この現象は、デジタル放送の特性であり故障ではありません。
・元の画像にブロックノイズがすでにある場合
・降雨対応放送の映像の場合
・天候などにより、受信状態が悪化した場合
・画面の激しい変化に映像処理が対応できない場合
・i.LINKで対応していない信号の入力があった場合

アンテナへの積雪や豪雨などによる一時的な映像障害

以下の場合に発生することがあります。
・積雪や豪雨で電波が弱くなったとき。
・春分、秋分、日食など太陽と人工衛星の方向が一致する食のとき。
（衛星の太陽電池が地球や月の影になり、一時的に働かなくなるためです。）

本機をご使用中のトラブル

■リモコンで操作できない

リモコン送信部に直射日光や蛍光灯の強い光が当たっていませんか？	強い光などがリモコン受光部にあたる場所を避けて設置してください。
乾電池が消耗していたり、電池の向きを間違えてセットしていませんか？	新しい乾電池を正しい向きにセットします。(P.11)
本体の受光部、リモコンの送信部が汚れていませんか？	汚れを取ります。(P.6、P.7、P.8)
ソフトウェアのダウンロード中ではありませんか？	ソフトウェアのダウンロードを行っている場合は、終了するまで操作ボタンは受け付けません。ソフトウェアのダウンロード中は、絶対に主電源スイッチを「切」にしないでください。ソフトウェアの書き込みが中止され、正常に動作しなくなる場合があります。

■電源が入らない

LEDランプがすべて消灯していませんか？	・電源プラグを抜いて、接続し直します。 ・主電源スイッチを「切/入」します。 ・電気が供給されているか、ブレーカーなどを確認します。
電源プラグが外れていませんか？	電源プラグをコンセントにしっかり差します。
主電源スイッチが「切」になっていませんか？	主電源スイッチを「入」にしてください。

■映像が表示されない

（電源ボタン）を押しましたか？	（電源ボタン）を押して電源を入れます。(➡P.12)
LEDランプがすべて消灯していませんか？	・電源プラグを抜いて、接続し直します。 ・主電源スイッチを「切/入」します。 ・電気が供給されているか、ブレーカーなどを確認します。
画面にメッセージは出ていませんか？	メッセージに従います。(➡P.119)
本機とアンテナは正しく接続されていますか？	テレビとアンテナケーブルの接続部分→アンテナケーブルと壁のアンテナ端子の接続部分→分配器の接続部分といった順に本機からアンテナまでの接続部分がしっかり接続されているか確認してください。
アンテナ線の芯線と網線がショートしていませんか？	アンテナ線を確認してください。
アンテナの向きは正しいですか？	アンテナの向きを調整してください。
外部機器の接続・設定は適切ですか？	外部機器の接続の接続・設定をし直します。
外部機器の選択は適切ですか？	入力切換 を何度か押して、入力映像を切り換えます。(➡P.49)
外部機器をつないでいるケーブルに異常はありませんか？	ケーブルを正しくつなぎます。(➡『設置・接続・設定編』「再生機器やゲーム機と接続する」「コンピュータと接続する」) ・断線しているケーブルは取り換えます。
HDMI端子に接続していませんか？ GLシリーズをご使用の場合	・いったん、本機と接続機器の電源を切って、接続しているHDMIケーブルを差し直してください。映像が表示されるようになる場合があります。 ・接続している機器の取扱説明書で、映像出力の設定などを確認してください。
コンピュータの映像そのものが真っ黒になっていませんか？ GLシリーズをご使用の場合	スクリーンセーバーなどで入力映像が真っ黒になっていることがあります。
コンピュータから映像信号が出力されていますか？ GLシリーズをご使用の場合	コンピュータからの映像をご覧になる場合は、コンピュータの映像を外部出力する設定・操作を行います。設定・操作については、お使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。
コンピュータの映像信号の解像度は本機に対応していますか？ GLシリーズをご使用の場合	コンピュータの解像度を確認してください。(➡『設置・接続・設定編』「コンピュータと接続する」)

■自動的に映像が消える

「オフタイマー」や「省エネ設定」の設定をしていませんか？	「オフタイマー」(➡P.43)を「オフタイマー30分、60分、90分」に設定しているときや、「省エネ設定」(➡P.46)の「無操作自動電源オフ」「オンエアー無信号オフ」「外部入力無信号オフ」「i.LINK無信号オフ」を「待機にする」に設定していると、自動で電源が切れることがあります。 設定を確認してください。

■映像にノイズが入る/乱れる

• ノイズが入る、乱れる

ケーブル類は正しく接続されていますか？	必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。(➡『設置・接続・設定編』「再生機器やゲーム機と接続する」)
電波の送信元が近くにありませんか？	電波の送信元付近の地域では、電波が強すぎるため近隣のチャンネルなどの干渉を受けてしまいます。 本機背面のアッテネータのスイッチを切り換えてください。
コンピュータの映像をご覧になっている場合、同期、トラッキングが正しく調整されていますか？ GLシリーズをご使用の場合	決定 を押して自動調整を行います。自動調整を行っても調整しきれない場合は、手動で調整することもできます。(➡P.108)

- 映像が二重、三重になる

高い建物などによる反射電波がありませんか？	アンテナの位置、高さ、向きを調整します。

- 雪が降ったような映像になる

アンテナが外れたり、切れたりしていませんか？	アンテナ線を正しく接続し直します。
アンテナの向きは合っていますか？	アンテナの向きの調整してください。市販のアンテナブースターを使用すると改善されることがあります。

- 画面にはん点が出る

電波の受信状態が悪くなっていませんか？	自動車、オートバイ、電車、高圧線、ネオンサイン、電気掃除機、ヘアードライヤーなどからの妨害が入っています。電波干渉を受けないように、アンテナの位置を変更するか、または原因となる電気器具などの設置場所を変更してください。

- 画面にしま模様が出る

電波が混信していませんか？	他のテレビやパソコン、テレビゲーム、オーディオ機器や無線局などからの電波が混信している可能性があります。アンテナの位置や高さ、向きを調整してください。

■色合いが違う

- 色合いが違う

映像の明るさは正しく調整されていますか？	映像調整の「明るさ」を調整してください。(➡P.103、P.109)
ケーブル類が正しく接続されていますか？	必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。(➡『設置･接続･設定編』「再生機器やゲーム機と接続する」「コンピュータと接続する」)
明るさ、コントラストは正しく調整されていますか？	映像調整の「明るさ」、「コントラスト」を調整してください。(➡P.103、P.109)
適切な映像メニューに設定されていますか？	[映像メニュー]ボタンを押して最適なモードに設定してください。(➡P.102、P.108)
色の濃さ、色合いは正しく調整されていますか？	映像調整の「色の濃さ」、「色合い」を調整してください。(➡P.103)

- 暗い

コントラストは正しく調整されていますか？	映像調整の「コントラスト」を調整してください。(➡P.103、P.109)
投写ランプの寿命ではありませんか？	投写ランプの寿命が近づくと映像が暗くなったり、色合いが悪くなります。新しい投写ランプと交換してください。(➡P.126)
「省エネ設定」の「消費電力」が「省エネ」に設定されていませんか？ GLシリーズをご使用の場合	「省エネ」に設定すると「高輝度」に設定したときよりも、約2割程度、暗くなります。設定を確認してください。(➡P.46)

■映像の音が出ない/小さすぎる

音量調整が最小になっていませんか？	[音量 🔊/🔉]で聞こえる音量に調整してください。
画面にメッセージは出ていませんか？	メッセージに従います。(➡P.119)
外部機器の接続・設定は適切ですか？	外部機器の接続の接続・設定をし直します。
消音になっていませんか？	[🔇]を押して、音を出します。
[ヘッドホン]端子にヘッドホンを差したままにしていませんか？	[ヘッドホン]端子にヘッドホンを差すと、スピーカーからの音声が消えます。ヘッドホンを抜いてください。
ご覧になっている番組は、音声多重放送ですか？	[画面表示]を押して音声多重放送かどうか確認してください。副音声を聞く場合は音声を切り換えます。(➡P.33、P.38)

本機に接続している機器の音声出力の設定は正しいですか？	本機は2ch音声信号に対応しています。接続機器の音声出力の設定がそれ以外になっていると、音声が出力されない場合があります。設定を確認してください。詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。
ご覧になっている映像の音声が5.1ch音声信号ではありませんか？ GLシリーズをご使用の場合	本機は5.1ch音声信号には対応していません。本機と接続機器を市販のHDMIケーブルで接続している場合は、接続方法により、本機から音声が出力されない場合があります。接続機器の音声出力の設定を変更してください。 （➡『設置･接続･設定編』「接続する機器にHDMI端子があるとき」）
音量を上げ過ぎていませんか？	オーディオアンプの内部温度が上昇すると、「内部温度が上昇しています。」というメッセージが表示される場合があります。メッセージが表示されると、自動的に音量を下げるため音量が小さくなります。オーディオアンプの内部温度が下がるとメッセージが消え、音量調整が可能になります。
電波の受信状態が悪くなっていませんか？	アンテナを調整して、正しくつなぎます。
アンテナ線がはずれていませんか？	アンテナ線を正しくつなぎます。（➡『設置･接続･設定編』「アンテナ線の接続と設定」）
アンテナ線の芯線と網線がショートしていませんか？	アンテナ線を確認してください。
アンテナの向きは正しいですか？	アンテナの向きを調整してください。

デジタル放送をご覧になっているときのトラブル

■デジタル放送が映らない/映りが悪い

- アナログ放送は受信できる場合

電波の種類に適合したアンテナを使用していますか？	ご覧になる放送に適合したアンテナを使用してください。
お住まいの地域に合ったサイズ(口径)のアンテナを使用していますか？	衛星デジタル放送の場合、お住まいの地域に合ったサイズのアンテナを使用しないと放送が映りません。アンテナのサイズを確認してください。
アンテナをさえぎる障害物がありませんか？	アンテナの位置、高さ、向きを調整します。
アンテナの電源が供給されていますか？	BS、110度CS放送の場合、アンテナ電源供給を「供給しない」に設定していると、電源が供給されません。設定を変更してください。
アンテナ線が外れていませんか？	テレビとアンテナケーブルの接続部分→アンテナケーブルと壁のアンテナ端子の接続部分→分配器の接続部分といった順に本機からアンテナまでの接続部分がしっかり接続されているか確認してください。
積雪や豪雨、雨などで電波が弱くなっていませんか？	･降雨対応放送の場合、通常の映像より映りが悪くなります。異常ではありません。 ･降雨対応放送か確認し、降雨対応放送の場合はクイックメニューから切り換えてください。（➡P.48）
地上デジタル放送用アンテナは正しく接続されていますか？	テレビとアンテナケーブルの接続部分→アンテナケーブルと壁のアンテナ端子の接続部分→分配器の接続部分といった順に本機からアンテナまでの接続部分がしっかり接続されているか確認してください。
アンテナの向きは正しいですか？	アンテナの向きを確認してください。また、アンテナレベルの数値が小さい場合は、アンテナの方向調整をしてください。
分配器を使用していませんか？	ご使用の分配器がデジタル放送の受信に対応しているか確認してください。 また、分配器から複数のテレビに信号を分配している場合、映りが悪くなることがあります。分配状態を確認してください。

B-CASカードは正しく挿入されていますか？	B-CASカードを挿入していないとデジタル放送をご覧になれません。B-CASカードを挿入してください。（➡『設置･接続･設定編』「B-CAS（ビーキャス）カードを装着する」）
初期スキャンを行いましたか？	初期スキャンでリモコンのダイレクト選局ボタンの設定を変更してください。（➡『設置･接続･設定編』「初期スキャン」）
お住まいの地域で地上デジタル放送は始まっていますか？	もよりの放送局に、地上デジタル放送が行われているかをお問い合わせください。
共聴システムをご使用の場合、共聴システムは地上デジタル放送に対応（パススルー方式）になっていますか？	CATVパススルーモード設定をします。（➡『設置･接続･設定編』「CATVパススルーモード設定」） 設定内容は、ご契約のCATV会社、または共聴システム管理者（マンション管理者や管理組合など）にお問い合わせください。

- 一部の放送が受信できない

放送は行われていますか？	地上デジタル放送が行われているかを最寄りの放送局に、お問い合わせください。
アンテナとの接続にデジタル放送に非対応のケーブルなどを使用していませんか？	アンテナと接続しているケーブルを確認してください。
ご覧になるデジタル放送に対応したケーブルなどを使用していますか？	デジタル放送に対応したケーブルなどをご使用ください。
BSデジタル放送をご覧の場合で、CATVパススルーモードの設定は正しいですか？	衛星直接受信の場合には、「CATVパススルーモード設定」が「標準モードに設定」、「手動設定」のいずれかに設定されていると、一部の放送が受信できなくなります。「設定しない」に設定してください。（➡『設置･接続･設定編』「CATVパススルーモード設定」）

- 引越しをしたら、放送が受信できなくなった

初期スキャンを行いましたか？	県外に引越した場合は、「初期スキャン」でリモコンのダイレクト選局ボタンの設定を変更してください。同一県内で引越しした場合は、「再スキャン」を行ってください。（➡『設置･接続･設定編』「初期スキャン」「再スキャン」）
地上デジタル放送用アンテナは正しく接続されていますか？	テレビとアンテナケーブルの接続部分→アンテナケーブルと壁のアンテナ端子の接続部分→分配器の接続部分といった順に本機からアンテナまでの接続部分がしっかり接続されているか確認してください。
アンテナの向きは正しいですか？	アンテナの向きを確認してください。また、アンテナレベルの数値が小さい場合は、アンテナの方向調整をしてください。
放送は行われていますか？	地上デジタル放送が行われているかをもよりの放送局に、お問い合わせください。
共聴システムをご使用の場合、共聴システムは地上デジタル放送に対応していますか？	ご契約のCATV会社、または共聴システム管理者（マンション管理者や管理組合など）にお問い合わせください。

- 引越しをしたら、データ放送や文字スーパー表示が表示されなくなった

データ放送用の地域設定は正しいですか？	お引越しをされた場合は地域設定をし直す必要があります。「郵便番号と地域の設定」を行ってください。（➡『設置･接続･設定編』「郵便番号と地域の設定」）

- 地上Dアンテナレベル画面では受信できるチャンネルが、それ以外のときには受信できない

再スキャンを行いましたか？	放送に変更が合った場合は再スキャンを行ってください。

■チャンネルの設定がおかしい

- デジタル放送のチャンネルが変えられない

録画予約や一発録画中ではありませんか？	録画予約をしているときや一発録画中はチャンネルを変えることはできません。

- 複数台のテレビで、ダイレクト選局ボタンのチャンネルや、3桁チャンネル番号の枝番が異なっている

初期スキャン、再スキャンなどを同時に行いましたか？	初期スキャンなどを異なる時間に行った場合は、同じにならない場合があります。
ご覧になっているテレビは、異なるメーカーのものではありませんか？	異なるメーカーのテレビの場合は、同じにならない場合があります。

- ダイレクト選局ボタンに設定してあった放送局が別の放送局に変わっている

「本機に関するお知らせ」を確認しましたか？	放送変更があった場合、放送の運用規定などに基づいて、設定内容が変更される場合があります。「本機に関するお知らせ」(➡P.81)をご確認ください。

- チャンネルボタンでの選局時や、お気に入り選局での設定時に同じ 3 桁チャンネル番号のチャンネルが複数選局される

枝番(➡P.17)で区別されているチャンネルではありませんか？	録画予約をしているときや一発録画中はチャンネルを変えることはできません。

- 地上デジタル放送で、リモコンボタンに手動設定したチャンネルが消えている

「初期スキャン」を行いませんでしたか？	「初期スキャン」を行うと、手動で設定したチャンネルの設定は消去されます。再度手動設定してください。(➡『設置･接続･設定編』「初期スキャン」)
「再スキャン」で「設定内容をリセットする」を選択しませんでしたか？	「設定内容をリセットする」を選択すると、設定されていたチャンネルはすべて消去されます。再度手動設定してください。(➡『設置･接続･設定編』「再スキャン」)

■番組表が表示されない/表示内容が実際のものと合っていない

- 番組表など番組の情報を表示させても一部が表示されなかったり、実際の内容と合っていない場合が多い

テレビをご覧にならないときに本機の主電源スイッチを「切」にしていませんか？	毎日2時間以上主電源スイッチを「入」にしておけば、最新の番組情報が取得できます。
「黄 情報取得」が番組表に表示されていませんか？	黄 を押して、情報を取得してください。情報取得には時間がかかる場合があります。(➡P.20)

- 受信できなくなった放送局が番組表表示などから消えない

「初期スキャン」を行いましたか？	「初期スキャン」を行って設定し直してください。(➡『設置･接続･設定編』「初期スキャン」)

■予約録画できない

- ビデオコントロールケーブルを使ってデジタル放送の予約録画ができない

ビデオの入力切換を正しく設定しましたか？	ビデオの入力切換を正しく設定しないと予約ができません。設定を確認してください。
テレビをご覧にならないときに電源プラグをコンセントから抜いていませんか？	予約録画する場合は、本機の電源プラグをコンセント差し、主電源スイッチを「入」にしたままにしておいてください。
本機の主電源スイッチを「切」にしていませんか？	予約録画する場合は、本機の主電源スイッチを「入」にしてください。
ビデオの電源を「切(待機状態)」にしていましたか？	予約録画する場合は、ビデオの電源を「切(待機状態)」にしてください。
ビデオ本体での予約設定が行われていて、予約待機状態になっていたり、予約が実行されていませんでしたか？	ビデオ本体の予約状況を確認してください。
ビデオ機種設定が正しく行われていますか？	ビデオ機種設定を確認してください。(➡『設置･接続･設定編』「ビデオ機種設定」)
ビデオコントロールケーブルの接続と設置が正しく行われていますか？	ビデオコントロールケーブルの接続と設置が正しく行われているか確認してください。また、「ビデオ動作確認」で動作を確認してください。正しく動作しない場合は、ビデオコントロールケーブルを使っての予約録画はできません。
録画を開始したばかりではありませんか？	ビデオによっては、電源が入ってから録画が開始されるまで、しばらく時間がかかる場合があります。
ビデオテープの録画防止用のツメは折れていませんか？	録画防止用のツメが折れているビデオテープでは録画できません。

- 録画予約で、予約した番組が放送時間を繰り上げて放送されたが、「放送時間変更」を「連動する」に設定していたのに、連動して予約が行われなかった

予約した番組の放送時間が、予定より繰り上がって放送されませんでしたか？	本機は放送時間の繰上げには対応していません。

■有料放送が視聴できない/「お知らせ」が見られない

- 有料放送が視聴できない

B-CASカードは正しく挿入されていますか？	B-CASカードを挿入していないと有料放送をご覧になれません。B-CASカードを挿入してください。（➡『設置・接続・設定編』「B-CAS（ビーキャス）カードを装着する」）
有料放送を視聴するための手続きはされていますか？	有料放送を視聴するための手続きをしてください。
電話回線の接続や設定は正しいですか？	「電話回線の接続」および「電話回線設定」で、接続・設定の状態を確認してください。（➡『設置・接続・設定編』「電話回線の接続」「電話回線設定」）

- 「放送局からのお知らせ」が見られない

B-CASカードは正しく挿入されていますか。	B-CASカードを挿入していないと「放送局からのお知らせ」をご覧になれません。B-CASカードを挿入してください。

- 未読の「お知らせ」がなくなっている

「放送局からのお知らせ」、「本機に関するお知らせ」を最大数を超えて受信していませんか？	記憶できる数を超えて受信した場合は、古いものから順に削除されます。
「ボード」ではありませんか？	「ボード」では、そのとき受信したものしか表示されません。（➡P.81）
「設定の初期化」をしませんでしたか。	初期化を行うと「お知らせ」は消去されます。（➡『設置・接続・設定編』「お買い上げ時の状態に戻す（設定内容を初期化する）」）

■電話回線での通信速度が遅い/不安定

接続ケーブルが必要以上に長くありませんか？	接続ケーブルが長すぎる場合、通信速度が遅くなる場合があります。
送信しようとしているデータのデータ量は多くないですか？	データ量が多い場合など、接続機器の使用状況によっては、通信速度が遅くなる場合があります。
回線が混んでいるためではありませんか？	しばらくたってからご使用ください。

■映像の端が切れている/横伸びしている

画面サイズを「ワイド」「ズーム」「字幕ズーム」のいずれかに切り換えていませんか？	「オート」に切り換えます。（➡P.32）

■ダイヤルアップ通信ができない

電話回線は正しく接続されていますか？	電話回線が確実に接続されているか確認します。（➡『設置・接続・設定編』「電話回線の接続」）
「通信接続設定」は適切ですか？	「通信接続設定」をし直します。（➡『設置・接続・設定編』「通信接続設定」）
「接続テスト」で、正しく通信できましたか？	通信接続設定の接続テストの結果を確認し、設定し直す（➡『設置・接続・設定編』「接続テスト」）

■ダイヤルアップ通信がすぐに切断される/通信が勝手に切れてしまう

「通信自動切断設定」が設定されていませんか？ また、設定時間が短くはありませんか？	「通信自動切断設定」をし直します。（➡『設置・接続・設定編』「通信自動切断設定」）

メッセージ一覧

ここでは、本機をご使用中に画面に表示される代表的なメッセージと対処法を説明します。本機の状態を確認して、接続、設定などを行ってください。

本機をご使用になっているとき

画面に表示されるメッセージ	対処法
受信できません。コード：E202	・デジタル放送用アンテナが放送に適合したものであるかをご確認ください。アンテナの接続や設定が合っているかをご確認ください。（➡『設置・接続・設定編』「アンテナ線の接続と設定」） ・アンテナ線が外れていないか、ショートしていないかをご確認ください。 ・アンテナの向きをご確認ください。 ※選局しているチャンネルでの放送が休止中の場合も表示することがあります。
映像信号が入力されていません。	・外部機器からの信号を確認して、接続・設定をし直してください。 ・入力切換を何度か押して、入力映像を切り換えてください。
この信号はサポートされていません。	外部機器からの信号を確認して、接続・設定をし直してください。
本機能を使用することができません。	映像信号が入力されているか確認してください。
このチャンネルはご覧になれません。コード：E210	部分受信サービスを受信したためです。本機では受信できません。
電波の受信状態が良くありません。クイックメニューから降雨対応放送に切り換えられます。コード：E201	気象条件などにより受信状態がよくない場合は降雨対応放送に切り換えることができます。映像の状態によって切り換えてください。（➡P.48）
現在放送されていません。コード：E203	選局したチャンネルでの放送が休止されているか、放送時間が終了しています。 ・番組表などで放送時間をご確認ください。 ・放送中のチャンネルを選局してください。 ※雨や雷などの気象条件により、一時的に受信できない場合も表示することがあります。
放送チャンネルではないためご覧になれません。コード：E200	通常の放送形態でないチャンネルを選局しているか、特定の視聴者向けのサービスとして放送しているチャンネルを選局しています。通常の放送チャンネルを選局してください。
ご案内チャンネルに切り換えますか？	未契約の有料チャンネル(放送事業者)を選局しています。契約のしかたなどをご覧になる場合は、「ご案内チャンネル」に切り換えてください。
表示するチャンネルがありません。	放送切換ボタンやメディアで表示できるチャンネルを選んでください。
B - CASカードが正しく挿入されていません。B - CASカードをご確認ください。	・カードを抜き差ししてみてください。 ・B - CASカードが正しく挿入されているかをご確認ください。 （➡『設置・接続・設定編』「B-CAS（ビーキャス）カードを装着する」）
B - CASカードの交換が必要です。B - CASカスタマーセンターへご連絡ください。コード：6400または6581	カードを抜き差ししてみてください。それでも正常にならない場合は、B - CASカスタマーセンターにお問い合わせください。
このB - CASカードはご使用になれません。B - CASカスタマーセンターへご連絡ください。コード：A104またはA105またはA106またはA107	デジタル放送をご覧になる場合は、B - CASカードの登録を行ってください。登録方法は、B - CASカスタマーセンターにお問い合わせください。
このICカードはご使用になれません。使用可能なB - CASカードを挿入してください。	本機では付属のB-CASカードを以外はご使用いただけません。付属のB - CASカードを挿入してください。
このICカードはご使用になれません。使用可能なカードを挿入してください。コード：EC01	本機では付属のB-CASカードを以外はご使用いただけません。付属のB - CASカードを挿入してください。
このB - CASカードはご使用になれません。コード：A1FFまたはA102	本機では付属のB-CASカードを以外はご使用いただけません。付属のB - CASカードを挿入してください。
B - CASカードが故障しています。	B-CASカードを交換してください。B - CASカードの交換は、B - CASカスタマーセンターへご連絡ください。

メッセージ一覧

画面に表示されるメッセージ	対処法
次の設定をしてください。 ・暗証番号設定 ・視聴年齢制限設定 設定の方法は取扱説明書をご覧ください。	番組をご覧になる場合は、暗証番号の設定『設置・接続・設定編』「暗証番号の設定」や視聴年齢制限の設定『設置・接続・設定編』「視聴年齢制限の設定」を行ってください。
この番組には視聴制限があります。	番組をご覧になる場合は、0～9（11/0 ～ 9）で暗証番号(4桁)を入力してください。
番組に視聴制限があるためご覧になれません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。 コード：8903または8503または8303	選んだチャンネル(番組)は視聴地域が限定されているため視聴できません。詳しくはご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。
番組購入情報がいっぱいのため、新たに購入ができません。電話回線の接続をご確認の上、カスタマーセンターへご連絡ください。コード：8109	B‐CASカード内のペイ・パー・ビュー購入履歴メモリがいっぱいになっています。「番組購入情報の送信」を行ってください。(➡P.80)
購入受付時刻を過ぎたためご覧になれません。コード：8108	番組によっては、購入できる時間が限られている場合があります。時間外には購入できませんのでご注意ください。別の時間帯で同じ番組の放送が予定されていて、購入できる場合があります。詳しくはご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご確認ください。
データが受信できません。 コード：E400	データ放送の情報が取得できません。選局し直してください。
データを表示できません。 コード：E401	ご覧になっている番組のデータ放送には対応していないため、データは受信できません。
データの表示に失敗しました。 コード：E402	データ放送を表示中に何らかのエラーが生じました。選局し直してください。
ダイヤルトーンの検出ができませんでした。電話機コードが正しく接続されているかをご確認ください。	「電話回線の接続」および「電話回線設定」で、接続・設定の状態を確認してください。(➡『設置・接続・設定編』「電話回線の接続」「電話回線設定」)
接続に失敗しました。電話回線の設定をご確認ください。	「電話回線の接続」および「電話回線設定」で、接続・設定の状態を確認してください。(➡『設置・接続・設定編』「電話回線の接続」「電話回線設定」)
サーバに接続できませんでした。	回線が混んでいるため接続できません。しばらくたってからご使用ください。
内部温度が上昇しています。	エアーフィルターを掃除してください。
	エアーフィルターや排気の周りを確認して空気の通りがよくなるように設置し直してください。
	オーディオアンプの内部温度が上昇するとメッセージが表示される場合があります。メッセージが表示されると自動的に音量を下げるため、音量が小さくなります。オーディオアンプの内部温度が下がるとメッセージが消え、音量調整が可能になります。メッセージが表示されている間は、音量を上げることができません。
ランプの交換時期になりました。	投写ランプの寿命が近づいています。新しい投写ランプと交換してください。 注意 内部の投写ランプが切れると映像が表示されなくなります。投写ランプは切れる前に交換してください。切れるまで使い続けると、内部で投写ランプが破裂するおそれがあります。



ポイント

■デジタル放送を受信中にメッセージが表示された場合

- メッセージ表示の中に、「【画面表示】を押し続けると消去」という文章が表示された場合は、〔画面表示〕ボタンを数秒間押し続けることにより、メッセージ表示を消すことができます。
- 「【画面表示】を押し続けると消去」の文章は、メッセージが表示されてから数秒後に自動的に消えます。この文章が消えた後も同様に、〔画面表示〕ボタンを数秒間押し続けることにより、メッセージ表示を消すことができます。

i.LINKをご使用になっているとき(代表的なもの)

画面に表示されるメッセージ	対処法
選ばれた機器はi.LINK接続されていません。	i.LINKケーブルが接続されているかを確認してください。 (➡『設置・接続・設定編』「i.LINK端子付き機器と接続する」)
選ばれた機器にi.LINK接続できません。	i.LINK機器の接続を確認してください。(➡『設置・接続・設定編』「i.LINK端子付き機器と接続する」) ・操作パネルで選び直してください。(➡P.92) ・接続機器の電源を入れ直してください。 ・接続機器のi.LINK設定をご確認ください。(➡『設置・接続・設定編』「i.LINKの設定」)
i.LINK機器が登録されていません。	i.LINK接続、設定を行ってください。(➡『設置・接続・設定編』「i.LINKの設定」)
ブロードキャスト出力機器はありません。	ブロードキャスト出力している機器があるかi.LINK接続機器をご確認ください。(➡『設置・接続・設定編』「その他のi.LINK設定」)
現在入力されているブロードキャスト信号には対応していません。	この機器から出力されている信号は本機では受信できません。本機が対応する信号を出力するi.LINK機器を接続してください。
i.LINK機器の接続に変更がありました。接続状態を確認しています。	i.LINK接続に変更があった場合などは接続状態を確認します。1分たっても確認が終了しない場合は、[決定]で中止し、i.LINK機器の接続、設定を確認ください。(➡『設置・接続・設定編』「i.LINKの設定」)
i.LINK機器の接続を確認してください。	・i.LINK機器はループ状態に接続できません。正しく接続してください。(➡『設置・接続・設定編』「i.LINK接続方法/接続できる機器の数」) ・64台以上のi.LINK機器接続はできません。63台以下にしてください。
外部機器から接続されています。	i.LINK機器を操作するには、外部機器から本機へのi.LINK接続を終了させてください。
使用可能な帯域を超えているため操作できません。他の機器の接続をはずしてご使用ください。	使用する帯域が確保できないため信号の通信ができません。 ・使用していないi.LINK機器でブロードキャスト出力設定されている場合は、ブロードキャスト出力を「切」にしてください。 ・同時使用する機器の数を少なくしてください。 ・接続機器の電源プラグを抜き差ししてください。
対応したデジタル信号が入力されていません。	DV機器などフォーマットの異なる機器は、接続してもデータのやりとりなどはできません。
i.LINK制御機能が正しく動作していません。番組を正常に送受信できない場合があります。詳しくは取扱説明書をご覧ください。	i.LINK処理に用いる内部情報が壊れています。エプソンダイレクトリビングステーションサポートセンターにエラー表示をご説明のうえ、修理の相談をしてください。(➡P.123)
i.LINKモードでは切り換えられません。	静止画や番組表、番組チェック、選局プラス、2画面などのリモコン操作をしている場合は、選局などの操作はできません。i.LINKモードを終了してから操作してください。
録画機器が操作を受け付けません。録画機器を確認してください。	録画機器側が外部制御できない設定になっていないか確認してください。録画機器の取扱説明書を確認してください。
接続機器の電源を入れてください。	接続機器本体の操作で電源を入れてください。
録画実行中はコピーできません。	録画中のため、コピーできません。録画終了後に操作してください。
コピー先の録画機器が登録されていません。	コピー先のD-VHSビデオを本機にi.LINK接続し、手動操作でi.LINK登録をしてください。(➡『設置・接続・設定編』「i.LINK機器の登録」)
この番組はコピーできません。	コピー制限によって、この番組はコピーできません。

通信(電話回線や使った通信)をご使用になっているとき(代表的なもの)

画面に表示されるメッセージ	対処法
「本機にルート証明書が設定されていないため、サーバに接続できません。」	ルート証明書が設定されているか確認してください。(➡『設置･接続･設定編』「ルート証明書番号を確認する」) 設定されている場合は、正しいルート証明書であるかをエプソンダイレクトリビングステーションサポートセンターへお問い合わせください。(➡P.123) ルート証明書が設定されていない場合、一定時間経過後にもう一度、ルート証明書の確認を行ってください。それでも設定されない場合は、エプソンダイレクトリビングステーションサポートセンターにお問い合わせください。(➡P.123)
「現在設定されているルート証明書ではサーバの安全性を確認できないため、接続できません。」	ルート証明書番号を確認し、正しいルート証明書であるかをエプソンダイレクトリビングステーションサポートセンターにお問い合わせください。(➡『設置･接続･設定編』「ルート証明書番号を確認する」)
「現在設定されているルート証明書の有効期限が切れているため、サーバに接続できません。」	ルート証明書番号を確認し、正しいルート証明書であるかをエプソンダイレクトリビングステーションサポートセンターにお問い合わせください。(➡『設置･接続･設定編』「ルート証明書番号を確認する」)
「サーバの証明書の有効期限が切れているため、接続できません。」	接続先の安全性に問題があります。本機は、一部の接続先については、安全性の確認ができない場合、接続を行いません(本機の動作は正常です)。
「サーバの証明書には表示するページの名前が含まれていないため、接続できません。」	接続先の安全性に問題があります。本機は、一部の接続先については、安全性の確認ができない場合、接続を行いません(本機の動作は正常です)。
「サーバの証明書の不正が検出されたため、接続を中断します。」	接続先の安全性に問題があります。本機は、一部の接続先については、安全性の確認ができない場合、接続を行いません(本機の動作は正常です)。
「サーバの証明書に問題があるため、接続を中断します。」	接続先の安全性に問題があります。本機は、一部の接続先については、安全性の確認ができない場合、接続を行いません(本機の動作は正常です)。
「接続できません。通信環境設定をご確認ください。」	本機の「通信接続設定」を正しく設定し直してください。(➡『設置･接続･設定編』「通信接続設定」)

サポートのご案内

取り扱いなどのご相談

本製品の操作方法などについてご不明な場合は、LIVINGSTATIONホームページをご覧ください。
また、エプソンダイレクトリビングステーションサポートセンターでもご相談を承ります。
お問い合わせの際には、あらかじめ製造番号をご確認ください。製造番号をおたずねする場合があります。
(➡P.124)

■LIVINGSTATION　ホームページ
http://livingstation.jp/

■エプソンダイレクトリビングステーションサポートセンター
TEL　0120-545-044(通話料無料)
FAX　0263-85-6001
営業時間：月～金曜日 9:00～19:00
土曜日、日曜日、祝日 9:00～18:00
※当社指定休日は除く

オプション品・消耗品のご購入

交換用ランプなどのオプション品、消耗品のご購入については、LIVINGSTATIONホームページもしくはエプソンダイレクトリビングステーションコールセンターよりご注文ください。
お問い合わせの際には、あらかじめ製造番号をご確認ください。製造番号をおたずねする場合があります。
(➡P.124)

■LIVINGSTATION　ホームページ
http://livingstation.jp/

■リビングステーションお問い合わせ先
(エプソンダイレクトリビングステーションコールセンター)
TEL　0120-545-013(通話料無料)
FAX　0263-85-6001
営業時間：月～金曜日 9:00～19:00
土曜日、日曜日、祝日 9:00～17:00
※当社指定休日は除く

リモコンやマニュアルなど付属品のご購入については、エプソンダイレクトリビングステーションコールセンターにご相談ください。

保証とアフターサービス

保証書

- 本製品には保証書が添付されています。所定事項の記入および記載されている内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、当社出荷日から1年間です。

修理を依頼される前に・・・

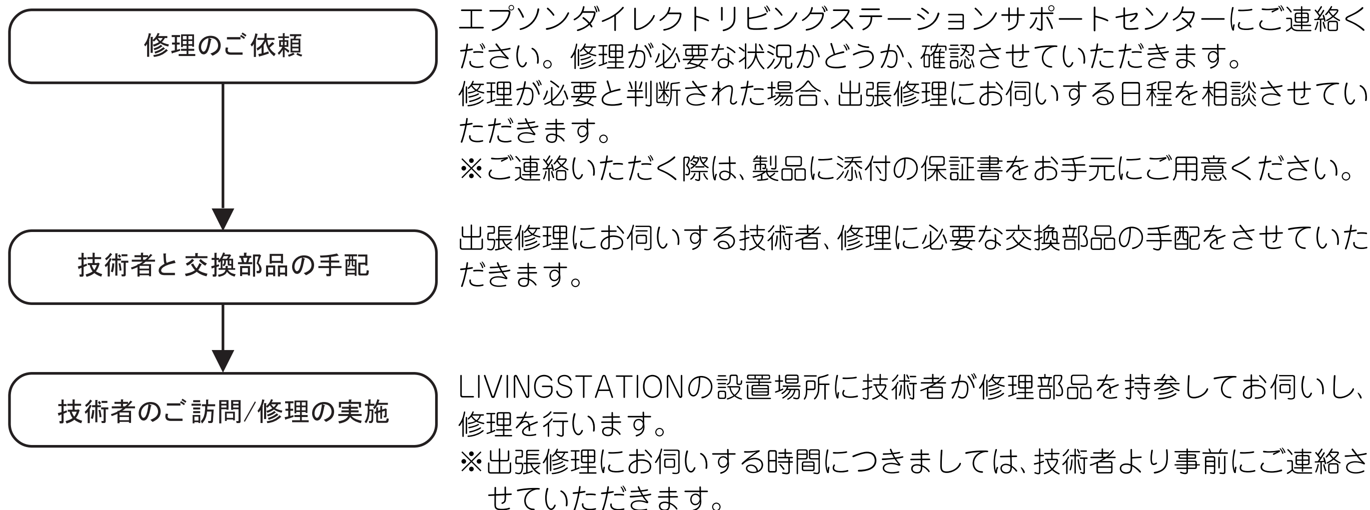
故障と思われるときは、「故障かなと思ったら」をご覧いただき、接続や設定に間違いがないことをご確認ください。それでも直らないときは、エプソンダイレクトリビングステーションサポートセンターにご相談ください。


注 意

ご自分での修理は、大変危険ですので絶対にしないでください。

修理のご依頼

本製品の修理が必要になった場合には、出張修理にて修理を行います。修理までの流れは次のとおりです。修理はすべて出張修理となります。お預かりしての修理、持ち込み修理などは行っておりませんので、あらかじめご了承ください。お問い合わせの際には、あらかじめ製造番号をご確認ください。製造番号をおたずねする場合があります。(➡ 以下)



エプソンダイレクトリビングステーションサポートセンターにご連絡ください。修理が必要な状況かどうか、確認させていただきます。
修理が必要と判断された場合、出張修理にお伺いする日程を相談させていただきます。
※ご連絡いただく際は、製品に添付の保証書をお手元にご用意ください。

出張修理にお伺いする技術者、修理に必要な交換部品の手配をさせていただきます。

LIVINGSTATIONの設置場所に技術者が修理部品を持参してお伺いし、修理を行います。
※出張修理にお伺いする時間につきましては、技術者より事前にご連絡させていただきます。

修理のご依頼は・・・

■エプソンダイレクト リビングステーションサポートセンター

TEL 0120-545-044(通話料無料)
FAX 0263-85-6001
営業時間：月～金曜日 9:00～19:00　土曜日、日曜日、祝日 9:00～18:00
※当社指定休日は除く

部品の保有期間

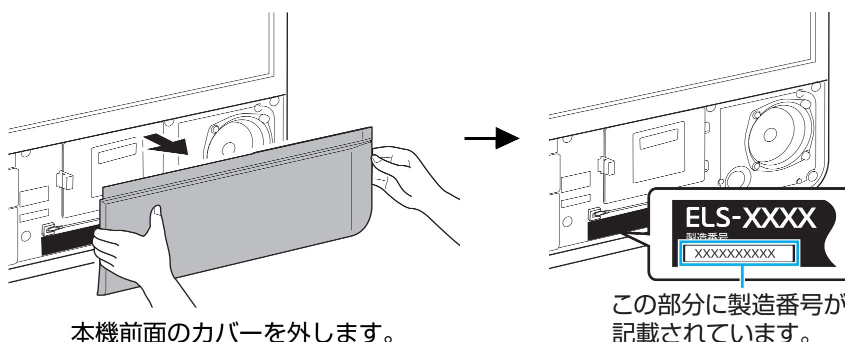
当社は、本製品の補修用性能部品(本製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後8年保有しています。この期間は通商産業省(現・経済産業省)の指導(昭和49年通達)によるものです。

愛情点検	長年ご使用の液晶プロジェクションテレビの点検を！		
	こんな症状はありませんか	➡	**ご使用中止**
	・電源を入れても映像や音が出ない。 ・煙が発生したり、変な臭いがする。 ・電源を切っても映像や音が消えない ・内部に異物や水が入った。		故障や事故の防止のため、電源を切り主電源スイッチを「切」にして、コンセントから電源プラグを抜いてください。その後エプソンダイレクトリビングステーションサポートセンターにご連絡ください。

製造番号について

以下の位置に製造番号が記載されています。

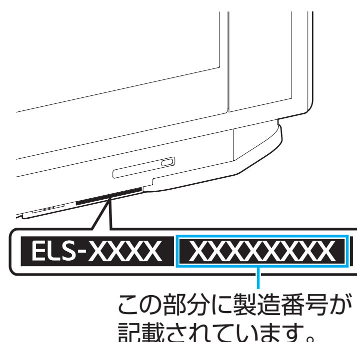
Sシリーズをご使用の場合



本機前面のカバーを外します。

この部分に製造番号が記載されています。

GLシリーズをご使用の場合



この部分に製造番号が記載されています。

お手入れのしかた

ここでは、お手入れの方法や消耗品の交換などのメンテナンスについて説明します。

ご注意

お手入れは、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。
掃除を行う前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。（『設置・接続・設定編』「安全上のご注意」）

スクリーンの掃除

スクリーンが汚れた場合は掃除してください。

ご注意

- スクリーンの表面には特殊な加工をしてあります。傷つきやすいので、硬いもので叩いたり、強くこすったりしないでください。
- スクリーンをふくとき、ティッシュペーパーは使用しないでください。スクリーンが傷つく恐れがあります。
- ベンジン、シンナー、アルコールなどの揮発性の薬品や、アセトン、キシレン、トルエンなどの溶剤、アルカリ性洗剤、酸性洗剤、アルコール系洗剤、みがき粉、粉石鹸、カーワックス類などは使用しないでください。表面の特殊な加工がはがれる恐れがあります。
- 市販の OA クリーニングクロスや OA クリーナーなどをお使いになる場合は、上記の溶剤や洗剤などが含まれていないことをご確認のうえ、お使いください。
- お手入れの際には、内部に水気が入らないように注意してください。

- ほこりは、乾いた柔らかい布で、軽くふき取ってください。
- 汚れがひどいときは、中性洗剤を少量入れた水に柔らかい布を浸し、よく絞ってからふいてください。そして最後に、乾いた柔らかい布で水気をふいてください。

本体操作パネル、キャビネットの掃除

本体が汚れた場合は掃除してください。

ご注意

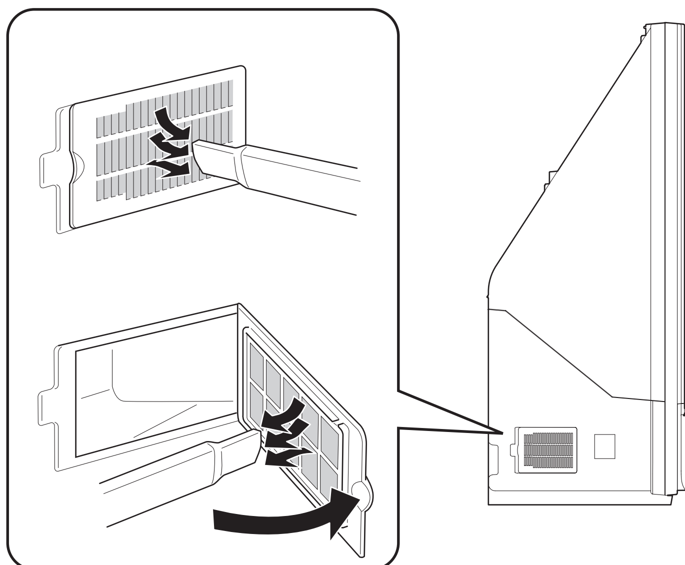
ベンジン・アルコールなど揮発性のものは使わないでください。キャビネットが変質したり、塗料がはげたりすることがあります。

柔らかい布で汚れを軽くふき取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その説明書の指示に従ってください。
キャビネットの汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を布に含ませてよく絞ったあと、汚れをふき取ってください。さらに、乾いた布で拭いてください。

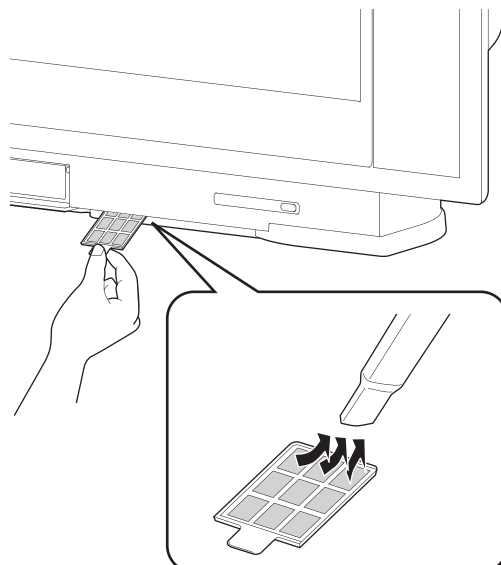
エアーフィルターの掃除

エアーフィルターのほこりを定期的に掃除機で吸い取ってください。エアーフィルターにほこりがたまると、空気の通りが悪くなり内部の温度が上昇して故障の原因になります。

Sシリーズをご使用の場合



GLシリーズをご使用の場合



投写ランプの交換

投写ランプの交換時期

テレビ画面に「ランプの交換時期になりました。」と表示されたときは投写ランプを交換してください。
投写ランプの寿命は、通常使用で約1万時間です(1日5時間テレビを見ると約6年)。
投写ランプの交換時期を過ぎると映像が暗くなります。交換時期になる前にスペアの交換用ランプを購入しておくことをおすすめします(お買い上げ時には、本機に交換用ランプが1つ収納されています)。(➡P.133)
交換用ランプの購入については、「サポートのご案内」(➡P.123)をご覧になり、エプソンダイレクト受注センターへご連絡ください(スペアの交換用ランプは本機内部に収納しておくことができます)。

⚠ 警 告

内部の投写ランプが切れると映像が表示されなくなります。投写ランプは切れる前に交換してください。切れるまで使い続けると、内部で投写ランプが破裂する恐れがあり、けがや故障の原因になります。

投写ランプの交換方法

投写ランプの寿命が近づいたら投写ランプを交換します。取り付けには付属のドライバを使います。
お買い上げ時には、本機に交換用ランプが1つ収納されています。初回の交換時にご使用ください。

⚠ 注 意

- **投写ランプを交換するときは、必ず投写ランプの取っ手の部分を持ってください。投写ランプ部分に手を触れると、けがや故障の原因になります。また、投写ランプが割れている可能性があります。取り扱いに十分注意してください。**
- **電源を切った直後は投写ランプが熱くなっていますので、約30分以上待って投写ランプが十分冷えてから作業してください。熱い投写ランプに触れるとやけど・けがの原因になります。**
- **交換時に引き出した投写ランプは、二度と使用しないでください。また、いったんセットした投写ランプは交換時以外は引き出さないでください。投写ランプの使用時間が不正確になり、投写ランプ交換のお知らせと実際の使用時間が合わなくなります。**

Sシリーズをご使用の場合

1 電源を切りクールダウンが終了(約1分間)するまで待ち、主電源スイッチを「切」にして電源プラグをコンセントから抜く(電源プラグを抜いてから投写ランプが冷えるまで30分待つ)

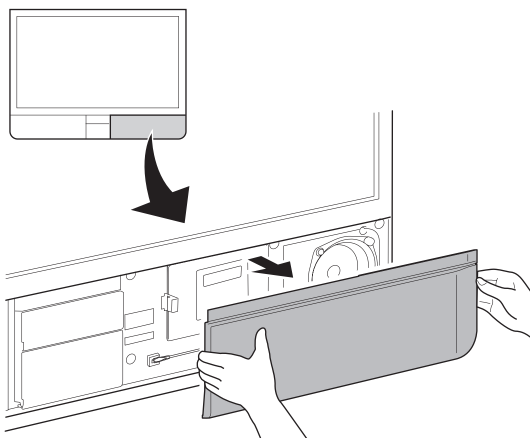
本機前面の電源ランプは、次のように変わります。



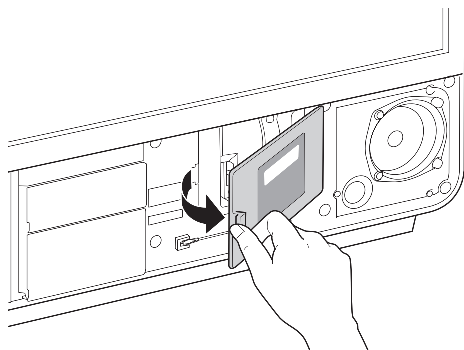
ご注意

録画中は電源を切ってもクールダウンを開始しません。録画終了後、クールダウンを開始します。クールダウンが終了してから主電源スイッチを「切」にして電源プラグをコンセントから抜いてください。クールダウンが終了したかどうかはファンの回転音でわかります。

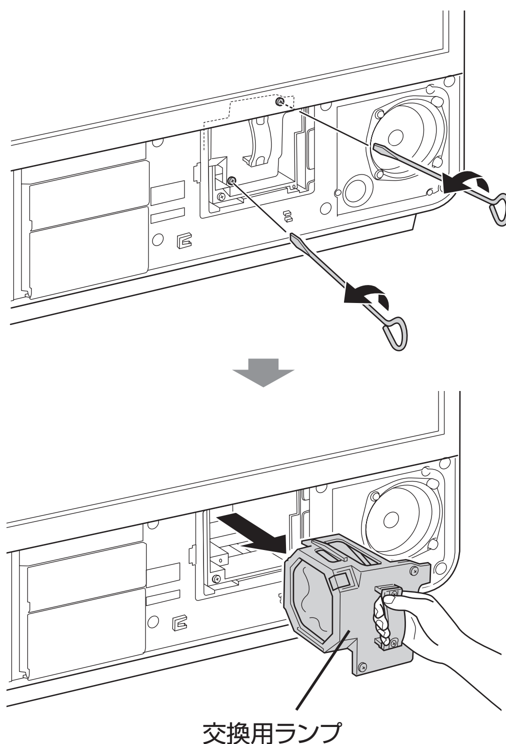
2 前面のカバーを取り外す



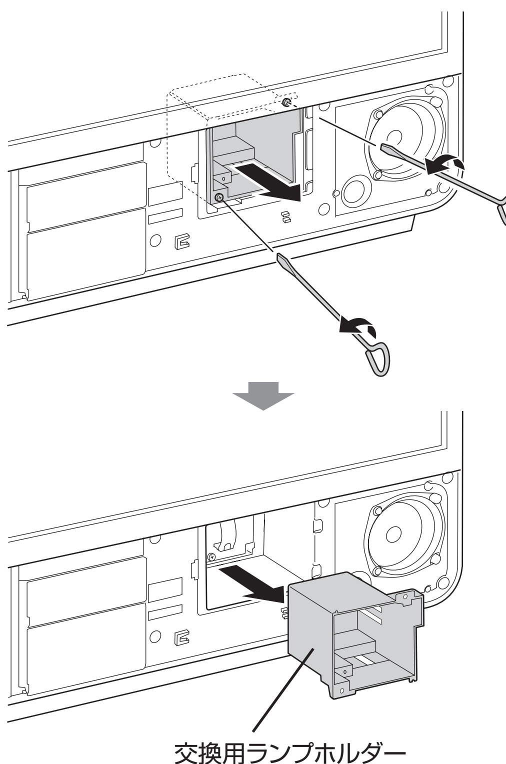
3 投写ランプカバーを取り外す



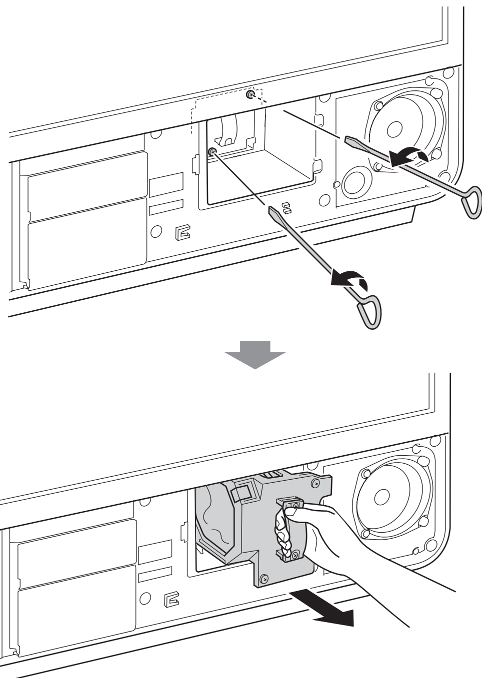
4 付属のドライバで交換用ランプの固定ネジ2本をゆるめ、交換用ランプを交換用ランプホルダーから取り外す



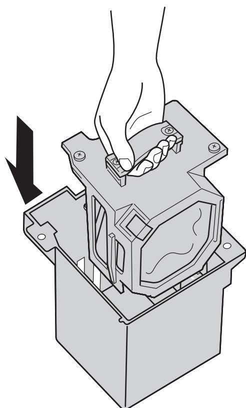
5 交換用ランプホルダーのネジ2本をドライバでゆるめ、交換用ランプホルダーを取り外す



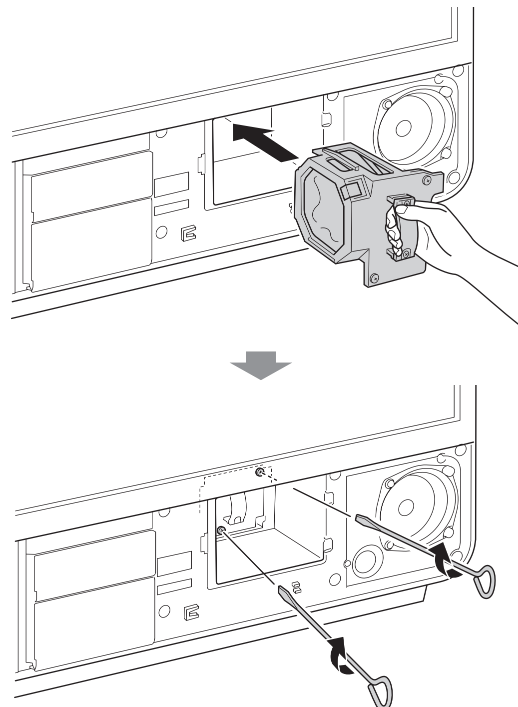
6 奥にあるネジを2本ゆるめ、古い投写ランプを引き出す



7 古い投写ランプを交換用ランプホルダーに一時的に入れておく



8 新しい投写ランプを奥まで押し入れ、ネジ2本を締める



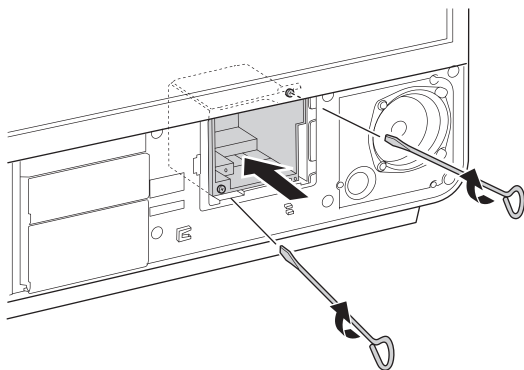


注 意

交換用ランプと使用済みの投写ランプを間違えないようにしてください。

9 交換用ランプホルダーに入れた古い投写ランプを取り出して、廃棄する

10 交換用ランプホルダーのネジ2本を締め、交換用ランプホルダーを取り付ける

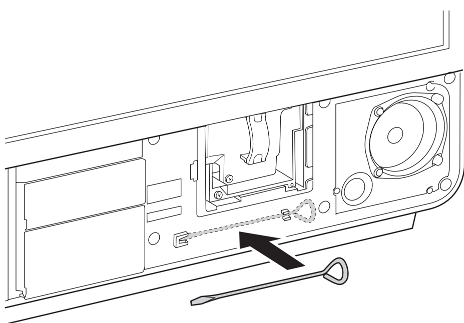


ポイント

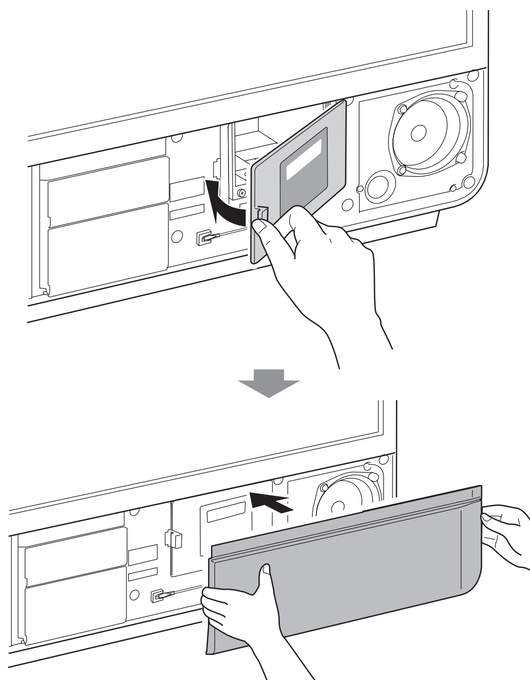
スペアの交換用ランプを購入されている場合は、交換用ランプホルダーに、ランプを収納します。
(➡P.132)

11 付属のドライバを図のように本機に取り付ける

次回、ランプ交換するときに使用します。



12 投写ランプカバー、前面のカバーを取り付ける



警告

■内部で投写ランプが割れているときは！

投写ランプ内部のガスには水銀が含まれているので、ガスを吸い込んだり目や口に入れないように注意し、すみやかに部屋を換気してください。
本機内部にガラス破片が散乱しているときは、エプソンダイレクトリビングステーションサポートセンターに投写ランプの交換を依頼してください。(➡P.123)

- 投写ランプや投写ランプカバーは確実に取り付けてください。取り付けに不備があると火災の原因になります。
- 投写ランプには水銀が含まれています。使用済みの投写ランプは、地域の蛍光管の廃棄ルールに従って廃棄してください。

GLシリーズをご使用の場合

ポイント

ここでは65V型のイラストで説明しています。カバー周辺の形状が異なりますが、55V型での交換方法も同様です。55V型では、ランプ交換時に使用するドライバは本機の背面右側に取り付けられています。

1 電源を切りクールダウンが終了(約1分間)するまで待ち、主電源スイッチを「切」にして電源プラグをコンセントから抜く(主電源スイッチをOFFにしてから投写ランプが冷えるまで30分待つ)

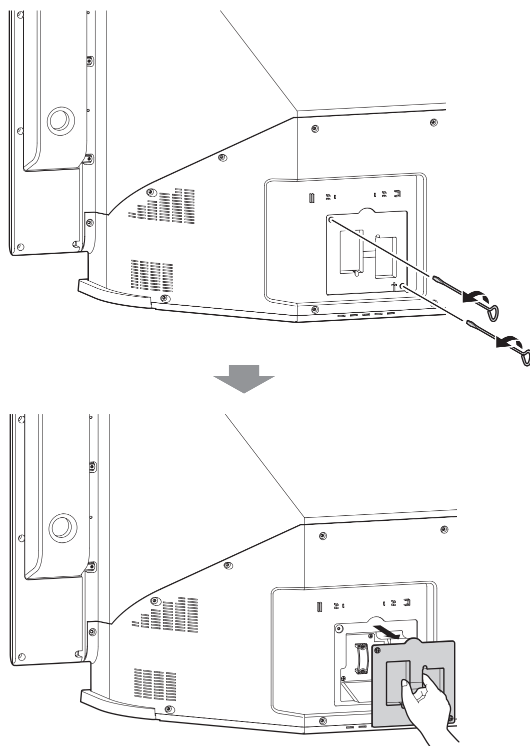
本機前面の電源ランプは、次のように変わります。



ご注意

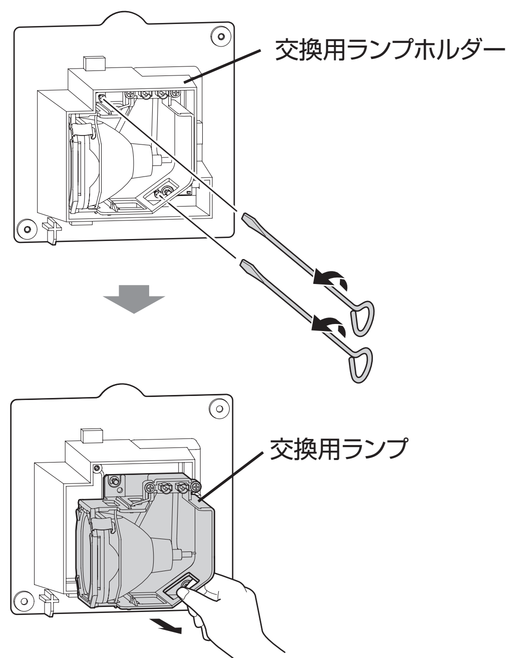
録画中は電源を切ってもクールダウンを開始しません。録画終了後、クールダウンを開始します。クールダウンが終了してから主電源スイッチを「切」にしてください。クールダウンが終了したかどうかはファンの回転音でわかります。

2 付属のドライバでランプカバーのネジ2本をゆるめ、投写ランプカバーを取り外す

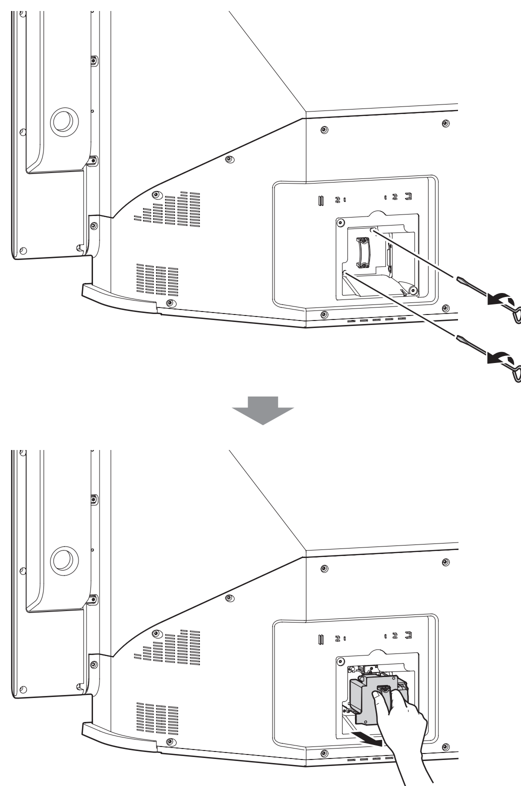


3 ドライバで交換用ランプの固定ネジ2本をゆるめ、交換用ランプを交換用ランプホルダーから取り外す

交換用ランプは、投写ランプカバー裏面の交換用ランプホルダーに収納されています。
投写ランプや内部の部品を持たずに、図のようにプラスチックの枠をつまんで交換用ランプを引き出してください。

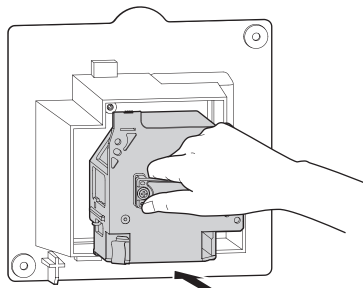


4 投写ランプのネジ2本をゆるめ、古い投写ランプを引き出す

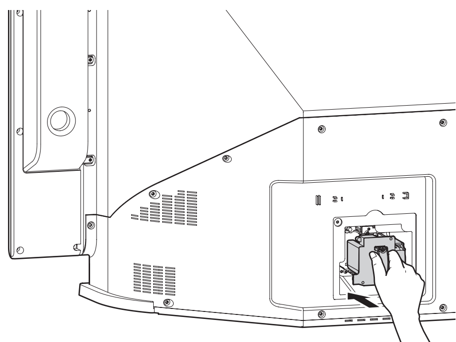


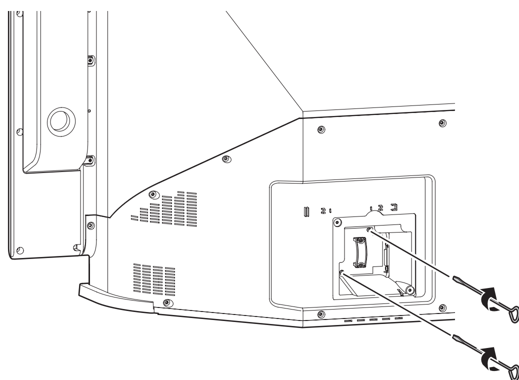
5 古い投写ランプを交換用ランプホルダーに一時的に入れておく

図のような向きで古い投写ランプを入れてください。



6 新しい投写ランプを奥まで押し入れ、ネジ2本を締める



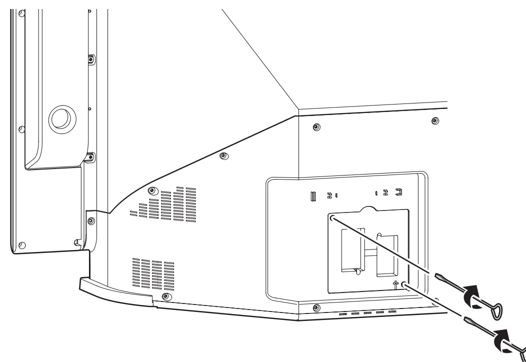


> **注意**
>
> 交換用ランプと使用済みの投写ランプを間違えないようにしてください。

7 交換用ランプホルダーに入れた古い投写ランプを取り出して、廃棄する

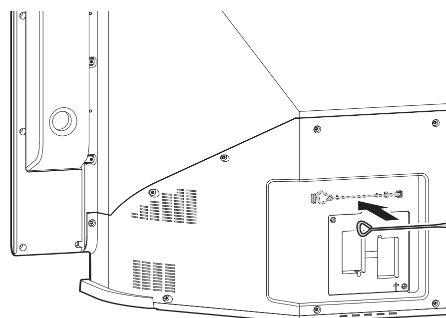
> **ポイント**
>
> スペアの交換用ランプを購入されている場合は、交換用ランプホルダーにランプを収納します。（P.132）

8 投写ランプカバーのネジ2本を締め、投写ランプカバーを取り付ける



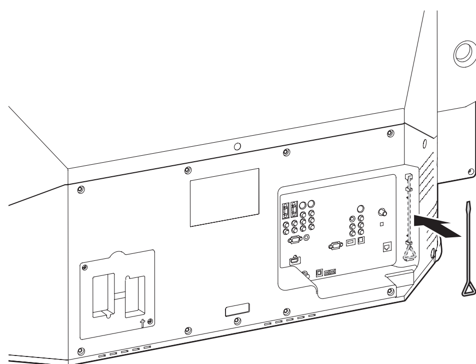
9 付属のドライバを本機に取り付ける

次回、ランプ交換するときに使用します。



●55V型をご使用の場合

図の位置にドライバを取り付けます。



> **警告**
>
> **■内部で投写ランプが割れているときは！**
>
> - 投写ランプ内部のガスには水銀が含まれているので、ガスを吸い込んだり目や口に入れないように注意し、すみやかに部屋を換気してください。
> - 本機内部にガラス破片が散乱しているときは、エプソンダイレクトリビングステーションサポートセンターに投写ランプの交換を依頼してください。
> - 投写ランプや投写ランプカバーは確実に取り付けてください。取り付けに不備があると火災の原因になります。
> - 投写ランプには水銀が含まれています。使用済みの投写ランプは、地域の蛍光管の廃棄ルールに従って廃棄してください。

スペアの交換用ランプを本機に収納する

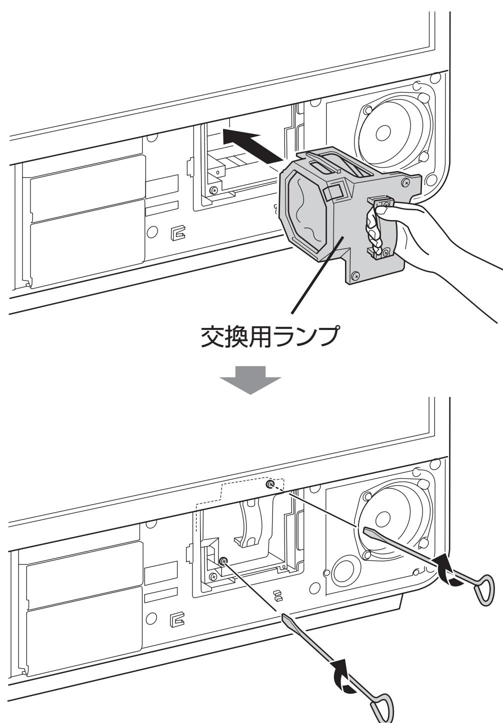
投写ランプカバー内部にある交換用ランプホルダーにスペアの交換用ランプを固定して、本機に収納することができます。お買い上げ時には交換用ランプが収納されています。
はじめて投写ランプを交換したあとは、交換用の投写ランプをご購入いただき、あらかじめ本機に収納しておくことをおすすめします。(➡P.133)

Sシリーズをご使用の場合

1 「投写ランプの交換方法」(➡P.126)手順1～3を行い、投写ランプカバーを取り外す

投写ランプの交換時に交換用ランプホルダーを取り外している場合はあらかじめ取り付けてください。

2 付属のドライバで、ランプ固定ネジ2本をしめ、交換用ランプを交換用ランプホルダーに固定する

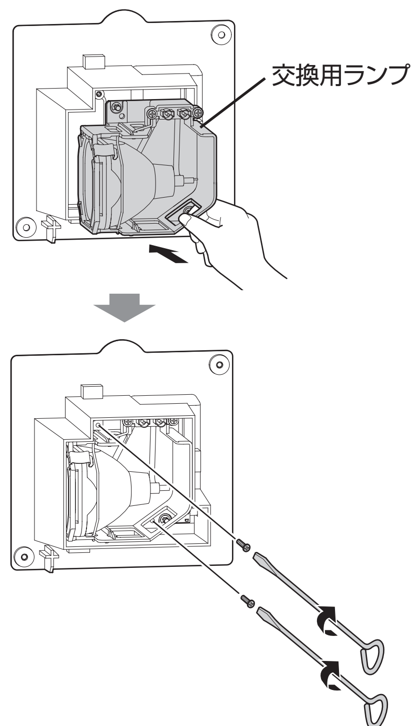


3 「投写ランプの交換方法」(➡P.129)手順11、12を行い、ドライバ、投写ランプカバー、前面のカバーを取り付ける

GLシリーズをご使用の場合

1 「投写ランプの交換方法」(➡P.126)手順1～2を行い、投写ランプカバーを取り外す

2 付属のドライバで、ランプの固定ネジ2本をしめ、交換用ランプを交換用ランプホルダーに固定する



3 「投写ランプの交換方法」(➡P.131)手順8、9を行い、投写ランプカバー、ドライバを取り付ける

オプション品/消耗品

以下のオプション品を用意しています。本機のご使用方法に合わせてご購入ください。ご購入については、「サポートのご案内」をご覧になり、エプソンダイレクトリビングステーションコールセンターへご連絡ください。(➡P.123)
これらのオプション品類は2005年11月15日現在のものです。予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

ラック	ELSRA3	47V型ラック	Sシリーズ	
	ELSRA4	57V型ラック	Sシリーズ	
	ELSRA5	専用テレビ台	Sシリーズ	GLシリーズ
業務用ラック	ELSBURA1	47V型業務用ラック	Sシリーズ	
	ELSBURA2	57V型業務用ラック	Sシリーズ	
	ELSBURA3	業務用ラック		GLシリーズ
背面スタンド	ELSHS 1	本機に固定して、スピーカーなどを置く台	Sシリーズ	GLシリーズ
消耗品	ELSLP1	交換用ランプ	Sシリーズ	GLシリーズ

情報アイコン一覧

番組についてのアイコン

アイコン	説明	アイコン	説明	アイコン	説明
テレビ	テレビ放送	4:3	画面の横と縦の比が4：3の信号	SD	デジタル標準テレビ放送
ラジオ	ラジオ放送	ステレオ	ステレオ音声放送	字幕	字幕放送
データ	データ放送	二重音声	二重音声放送	信号切換	複数の映像、または音声またはデータがある場合
d	番組連動データ放送がある場合	サラウンド	サラウンド音声放送	ペイパービュー	ペイ・パー・ビュー番組
16:9	画面の横と縦の比が16：9の信号	HD	デジタルハイビジョン放送	年令	視聴年齢制限が設定されている番組の場合

お知らせ、予約、録画、ライブラリ、その他についてのアイコン

アイコン	説明	アイコン	説明	アイコン	説明
	未読の「お知らせ」	Dコピー	デジタル録画できます		ライブラリの番組に保護をかけた場合
	既読の「お知らせ」	D¥コピー	録画購入すればデジタル録画できます		地上デジタル放送選局時または画面表示ボタンを押したときで再スキャン操作をおすすめする場合(➡P.31、P.90)
	予約	D1コピー	1回のみデジタル録画できます		
重複	予約が重なっています	D×コピー	デジタル録画できません		非リンク型サービス(通信番組)(➡P.69)
コピー	アナログ録画できます	G→コピー	光デジタル録音できます		SSLなどの暗号通信をしている場合(➡P.69)
¥コピー	録画購入すればアナログ録画できます	G→¥コピー	録画購入すれば光デジタル録音できます		登録発呼の予約設定時(➡P.71)
×コピー	アナログ録画できません	G→×コピー	光デジタル録音できません		登録発呼の予約設定で3回接続に失敗した場合(➡P.71)

用語解説

●英数字順

110度CSデジタル放送	Communications Satellite(通信衛星)から送られてくるデジタル放送。ニュースや映画などの専門の有料チャンネルが多い。
BSデジタル放送	Broadcasting Satellite(放送衛星)から送られてくるデジタル放送。ハイビジョン放送やデータ放送が特長。
CATV(ケーブルテレビ)放送	特定の地域で放送されている有線テレビ放送です。
D4映像端子	デジタルチューナーやD-VHSビデオＤＶＤプレーヤーなどをつないで、高画質を楽しめる業界統一の映像端子です。
ＧＲ (ゴースト・リダクション)	テレビ放送受信時でゴースト(2重、3重の映像)がある場合、チャンネルのゴーストを軽減します。(放送に「ゴースト除去信号(ＧＣＲ信号)」が含まれているときのみ)
i.LINK(アイリンク)	デジタルの映像、音声、データ信号を双方向で通信できるシステム。i.LINKケーブル１本で接続できます。
MPEG-2AAC音声	日本のデジタルテレビ音声として採用されている方式です。
SRS TruSurround XT	SRS TruSurround技術は頭部伝達関数理論を応用し、視聴者の前方に配置したステレオスピーカーだけで頭を覆い包むようなマルチチャンネルサラウンド音場を作り出します。さらにXTバージョンでは台詞の明瞭感を高めるSRS Dialog Clarity技術と小型のスピーカーから豊かな低音を無理なく再生するSRS TruBass技術を搭載しています。このSRS TruSurround XT技術により、6本のスピーカーを配置する必要が不要となります。

●アイウエオ順

アイコン	各種の情報を簡単な図などで、シンボルとして表示します。
暗証番号	ペイ・パー・ビュー番組を購入する際や、視聴制限のかかった番組を視聴するときなどに使われます。
域外(放送)	域内以外の地域で放送されている地上デジタル放送のことです。
域内(放送)	「はじめての設定」や「初期スキャン」で設定した地域(お住まいの地域)で放送されている地上デジタル放送のことです。
枝番	３桁チャンネル番号が重複している場合に、それぞれの放送局を区別するための番号のことです。
お気に入り	あらかじめ登録しておけば、簡単操作で選局できます。
カーソル	文字の入力位置を表示したり、入力待ちであることを表示する記号のことです。
外線発信番号	外部に電話をかける際に、電話番号の前に０や＃などの入力が必要な場合があり、これを外線発信番号といいます。
簡易確認テスト	BS・110度CS受信、B-CASカード、電話回線について、まとめてテストする機能です。
寒色系	青緑、青、青紫などの冷たさを感じさせる色のことです。
緊急警報放送	災害に関する警報で、放送があると自動的に選局されます。
クールダウン	投写によって高温になっているランプを冷却する処理のことです。リモコンの ⏻ 、または本体の[電源]ボタンを押し電源を切ると自動的に行われます。
ゲイン(RGB)	映像の明るい部分の明度を調整することができます。本機の映像メニューで調整することができます。
個人情報	地上デジタル放送での視聴者個人の情報(視聴ポイント数など)。
コピー	ファイルなどのデータを複製することです。
ご案内チャンネル	未契約の有料チャンネルを受信したとき、放送についてや契約のしかたなどを説明している別のチャンネルを簡単操作でご覧になれる場合があります。この別のチャンネルのことをご案内チャンネルといいます。
視聴年齢制限	大人向けの番組などで、視聴できる年齢を制限する機能です。
視聴予約	ビデオへの録画は行わせずに、視聴のみをする予約です。

ジャンル	洋画、邦画、音楽などのような、番組の分野のことです。
周波数アップコンバーター	BSデジタル放送は周波数が高いため、そのままケーブルで送ると信号が弱くなってしまいます。そのためケーブルで送る際に低い周波数に変換されています。その信号を、もとに戻すため機器のことです。
ダイヤルアップ通信	一般の電話回線を通してデータのやりとりをすることです。電話回線を使用しているので、ダイヤルアップ接続時は通話料金が発生します。
ダウンロード	本機のソフトウェアを書き換えて更新する機能です。
ダビング	すでに録音、録画されている磁気テープやディスクから、新たなテープなどに再録音、再録画することです。
暖色系	赤、だいだい、黄などの暖かさを感じさせる色のことです。
地上アナログ放送	各放送局からVHF/UHF帯で送られてくる従来からある放送のことです。
地上デジタル放送	各放送局からUHF帯で送られてくるデジタル放送。現在は地上アナログ放送と同じ、またはハイビジョン化したものが多い。高品質な画質と音声、またデータ放送が特長です。
チャンネル一覧	今放送されている番組の３桁番号と放送局のリストを表示して選局できます。
データ放送用メモリ	地上デジタル放送の場合、放送局ごとに視聴者個人情報(例えば、視聴ポイント数や視聴者参加型クイズ番組の解答など)を利用したサービスが行われる場合があります。その個人情報を本機内のメモリに放送局ごとに記憶しています。
転送レート	デジタルデータを送り出す速度のことです。１秒間あたりのビット量(bps)で表されます。
登録発呼	本機から送信する内容を本機内に一時的に保存しておき、後から送信する機能のことです。
バージョン	ソフトウェアの改訂番号のことです。不具合修正や機能の追加などによりソフトウェアを変更した場合に、ソフトウェアの違いを示します。
はじめての設定	設置、接続後、必要な設定をまとめて行います。
番組購入限度額	ペイ・パー・ビュー番組の１番組ごとの購入限度額を設定する機能です。
番組チェック	今放送されている番組のリストを表示して選局できます。次に放送される番組のリストで予約したり、放送局名リストから選局することもできます。
ビデオ機種設定	ご使用になるビデオのメーカーなどを本機に設定します。 ビデオコントロールケーブルを使って録画予約するには、あらかじめこの設定が必要です。
ビデオコントロールケーブル	ビデオなどに予約録画や一発録画をするときに使います。例えば、予約録画の場合、予約時間になるとビデオのリモコン信号を出し、ビデオをコントロールして予約を実行します。
プレビュー	ペイ・パー・ビュー番組を購入する前に、しばらくの間視聴できる場合があり、これをプレビューと言います。
ブックマーク	「しおり」のことです。デジタル放送のデータ放送を視聴中にブックマークがあることが画面に表示されると、そのデータ放送のチャンネルを登録しておくことができます。登録後は呼び出し機能を使って簡単にお気に入りのデータ放送をご覧いただけます。
プログレッシブ	ちらつきの少ない、滑らかな高画質映像にしたものです。
ペイ・パー・ビュー番組	番組単位で購入する有料番組のことです。
ライブラリ(操作パネル)	HDDレコーダなどに録画されている番組の情報などを一覧で表示させるものです。
録画	再生を目的として、映像を磁気テープやディスクなどに記録することです。

索引

●英数字順

●アイウエオ順

ア行

カ行

サ行

ふろく

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

ワ行

MEMO

MEMO

MEMO

商標と規制

■商標、ロゴについて

i.LINKとi.LINKロゴ「i」は、ソニー株式会社の商標です。
SRS TruSurround XT はSRS Labs, Inc.の商標です。
TruSurround XT技術はSRS Labs,Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。商用目的で録音することは禁止されています。
Pixelworks DNX は、Pixelworks 社の商標です。
スマートメディアは(株)東芝の商標です。
コンパクトフラッシュは、サンディスク社の商標です。
メモリースティック、メモリースティック Duo、メモリースティック PRO Duo、およびMEMORY STICK PRO、Memory Stick ロゴはソニー株式会社の登録商標または商標です。
SDメモリーカード、SDロゴは、(株)東芝、松下電器産業(株)、米国SanDisk社の商標です。
Multi MediaCardは、ドイツInfineon Technologies AG社の商標であり、MMCA(MultiMediaCard Association)へライセンスされています。
xD-ピクチャーカード™ は、富士写真フイルム(株)の商標です。
Portions of this software are based in part on the work of the Independent JPEG Group.
3LCDロゴはセイコーエプソン株式会社の商標です。
EPSONはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。
GRは、放送信号に含まれるGCR信号を利用して、ゴーストを軽減する機能を内蔵した機器であることを示すものです。

■本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意

本製品は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

■著作権

写真、絵画、音楽、映像、プログラムなどの他人の著作物は、個人的にまたは家庭内その他これに準ずる限られた範囲内において使用することを目的とする以外、著作権者の承認が必要です。

■電源高調波

本機は、「JISC 61000-3-2適合品」です。
JISC 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性-第3-2部：限度値-高調波電流発生限度値(1相当たりの入力電流が20A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

■本製品の不具合に起因する付随的損害

万一、本製品の不具合によって、データを正常に記録できなかったり、記録データを破損したりした場合、そのことから生じた付随的な損害(本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の喪失等)は、補償致しかねます。

■本書に対するご注意

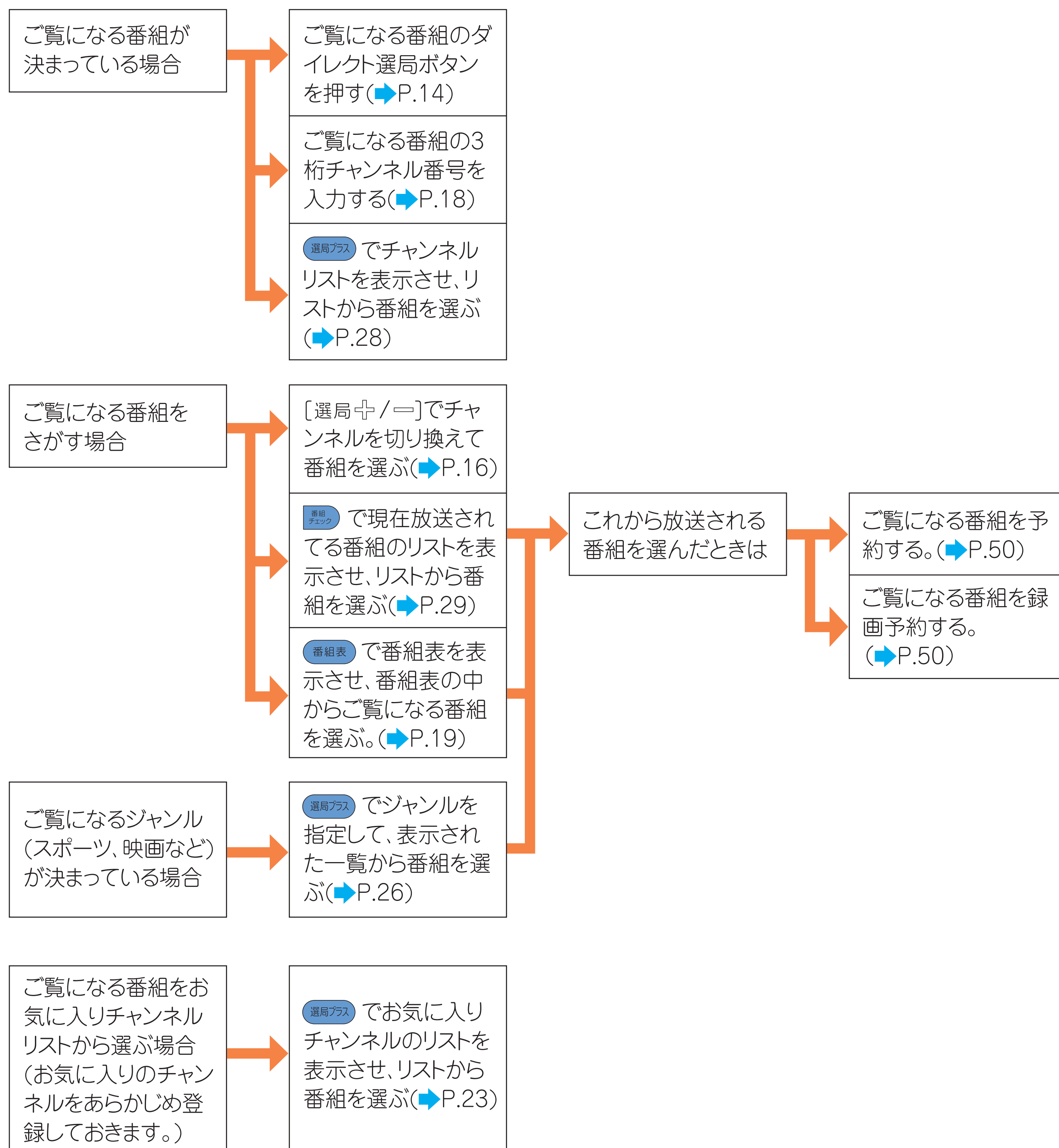
(1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
(4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(5) 本書中のイラスト・画像と、実際の形状・画像は異なる場合があります。

- 意匠・仕様・ソフトウェアは製品改良のため予告なく変更することがあります。
- 本機を使用できるのは日本国内だけです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
  (This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)
- 本商品は、ご愛用終了時の再資源化の一助として、主なプラスチック部品に材質名表示をしています。
- 本商品の改造は感電、火災などのおそれがありますので行わないでください。
- 本書内に掲載しているイラスト、画面表示などは、見やすくするために誇張や省略などしており、実際とは多少異なります。
- リモコンで電源を切っても本機にわずかな電流が流れています。完全に電源を切る場合には、本体前面の主電源スイッチを「切」にしてください。長時間テレビを見ないときは電源プラグを抜いてください。ただし、主電源スイッチを「切」にしている場合や電源プラグを抜いている間は、番組情報の取得やソフトウェアの自動ダウンロードなどは行われません。

※本製品は、マクロヴィジョン社ならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用は、マクロヴィジョン社の許可が必要で、また、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。テレビの録画出力をビデオを経由して先の機器へ繋がないでください。コピー・プロテクトのために画像の乱れを生じることがあります。
※この製品に含まれているソフトウェアをリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル、分解またはその他の方法で解析、及び変更することは禁止されています。
※国外で本品を使用して有料放送サービスを享受することは有料放送約上禁止されています。
(It is strictly prohibited, as outlined in the subscription contract, for any party to receive the services of scrambled broadcasting through use of this television set in any country other than Japan and its geographic territory as defined by international law.)

操作早わかり

番組をご覧になる場合に、次のような選局方法があります。
これから放送される番組を視聴予約、録画予約する場合は、番組リストや番組表から選択することができます。
ご覧になる放送によって、選局できない場合があります。詳しくは、各機能の説明ページをご覧ください。



- 上記のほかにも、選んだ番組の情報(P.31)や、番組の説明(P.31)を見ることができます。
- 番組表などから録画予約する方法のほかに、録画したい番組が決まっている場合には日時を指定して予約できます。(P.54)
- ご覧になっている番組を録画することもできます。(P.64)

エプソンダイレクト株式会社 本社/〒399-8703 長野県松本市芳川村井町1059番地
セイコーエプソン株式会社 本社/〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

Printed in China
410462100 C77412000 05.11-.XA(P04)